

性別による無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス)に関する実態調査

令和6年(2024年)3月



東京都生活文化スポーツ局

I 調査概要

● **調査名** : 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する実態調査

● **調査目的**

進路や職業の選択への「性別による思い込み」の影響を明らかにし、効果的な普及啓発手法や子供の進路・職業の選択肢拡大に向けた施策検討につなげていく。

● **調査概要**

様々な場面で女性の活躍が進んでいるものの、社会全体の意識が変わるまでには至っていない。この背景として、過去の経験や見聞きしてきたことにより形成されている、「性別による無意識の思い込み」（アンコンシャス・バイアス）が影響している可能性がある。

令和4年度に実施した児童（小学5・6年生）、保護者、教員を対象とした調査では、大人だけではなく、児童でも「教科の得意・不得意」、「仕事の向き・不向き」に性別が関係していると考えられる傾向があることが判明した。

本調査では、このような意識の形成の要因や、進路や職業の選択への影響を明らかにするため、高校生及び教員を対象として、「性別による無意識の思い込み」に関する実態調査を実施した。

調査に当たっては、令和4年度調査との比較が可能となるよう調査票の設計を行うとともに、仮説を設定し、これに基づき結果の分析を行った。

● **調査対象** : 都立高等学校 全日制・定時制生徒（1・2年生）、教員

● **標本数（有効回答数）** : 生徒43,210人（10,763人）、教員 9,467人（2,549人）

● **標本抽出** : 生徒については、都立高校生全日制・定時制1・2年生83,906人のうち、学校名簿から学科別に割当法で抽出した学校に在籍している課程の生徒を対象とした。教員は都立高校に在籍している全教員を対象とした。

● **調査方法** : インターネットを利用しWeb画面から直接回答を得た。

● **調査期間** : 令和5年9月1日（金）から9月21日（木）まで

● **調査実施機関（委託先）** : 株式会社リサーチワークス

※報告書作成にあたっての集計・検定方法については、「Ⅲ 資料の見方（P60～62）」参照

II 調査結果

目次

1. 生徒……………P3

- (1) 回答者属性
- (2) 「男性/女性だから」と思う意識について
- (3) 進路・職業選択に対する意識について
- (4) 周囲からの影響による「男性/女性だから」と思う意識の形成について
- (5) 家事・育児に対する性別役割分担意識について
- (6) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について
- (7) 分析結果まとめ

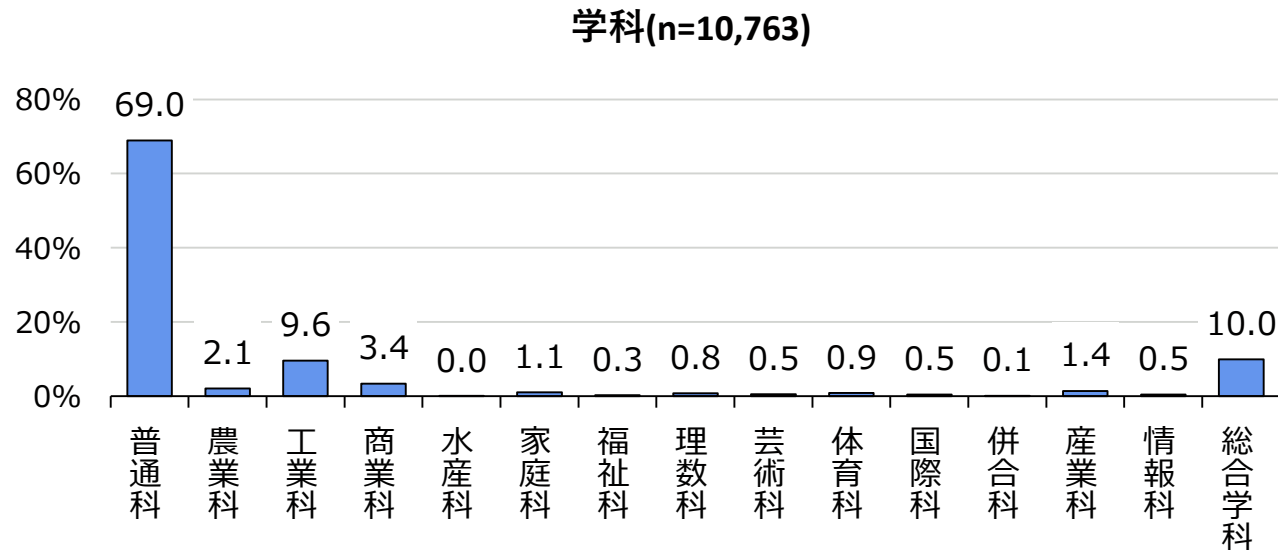
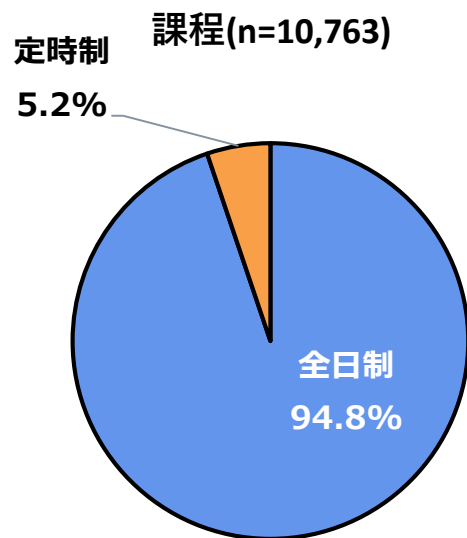
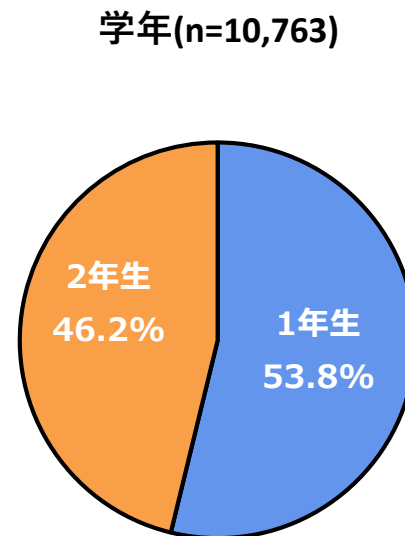
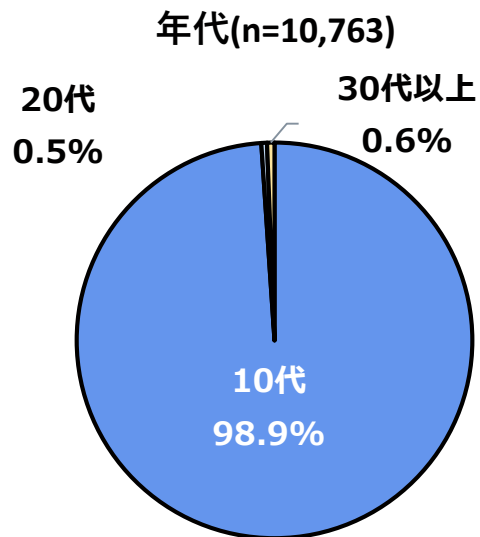
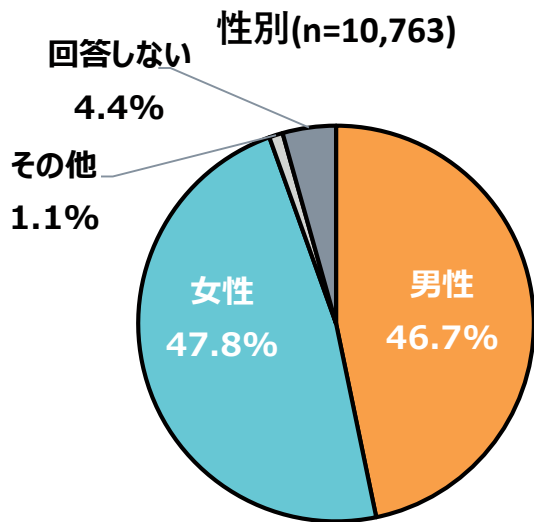
2. 教員……………P29

- (1) 回答者属性
- (2) 「男性/女性だから」と思う意識について
- (3) 自身のキャリアについて
- (4) 校務など教員の職務に関することについて
- (5) 生徒の進路・職業選択に関することについて
- (6) 保護者に関することについて
- (7) 周囲からの影響による「男性/女性だから」と思う意識の形成について
- (8) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について
- (9) 分析結果まとめ

II-1 生徒調査結果

(1) 回答者属性	P5
(2) 「男性/女性だから」という意識について	P6
(3) 進路・職業選択に対する意識について	P10
(4) 周囲からの影響による「男性/女性だから」という意識の形成について	P22
(5) 家事・育児に対する性別役割分担意識について	P24
(6) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について	P25
(7) 分析結果まとめ	P27

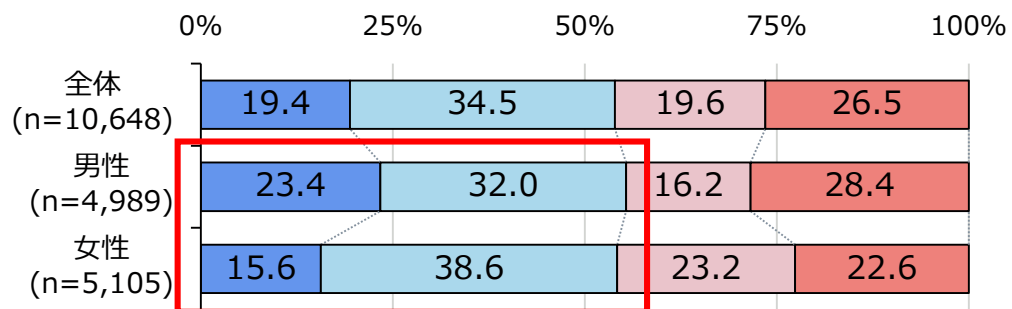
(1) 回答者属性



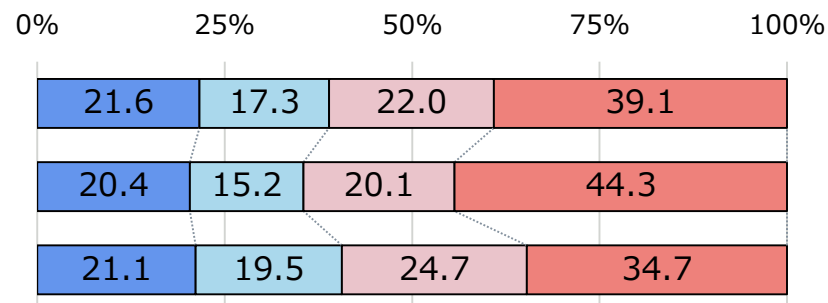
- 初めての進路選択期における、「性別による無意識の思い込み」に関する調査を目的としているため、属性（年代）で「10代」と回答したものに絞り分析を行った。
- 学科による分析では、属性（学科）を、「普通科」と、在校生の性別の偏りの大きい「工業科」「商業科」、その他の学科を「その他」とし分析を行った。

(2) 「男性/女性だから」という意識について

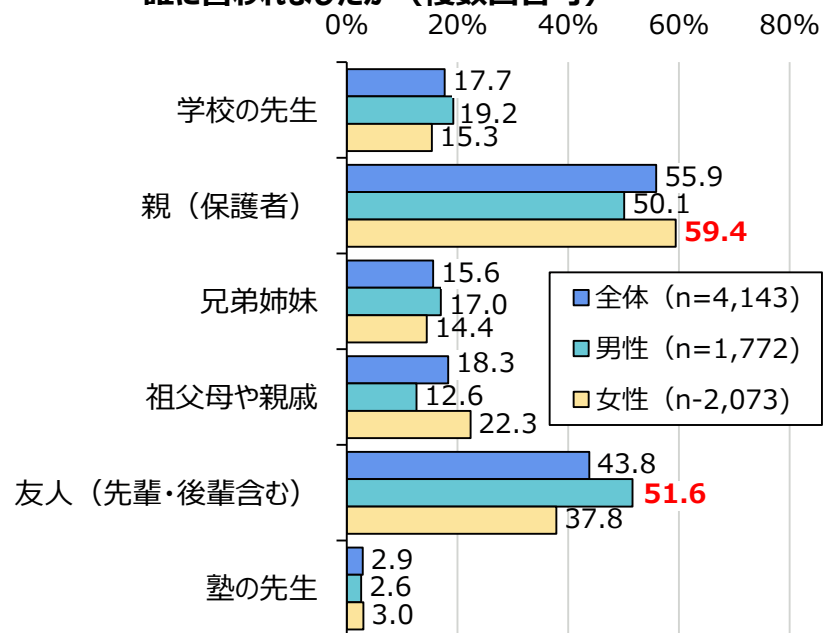
1. 「男性だから」「女性だから」と思うことがある



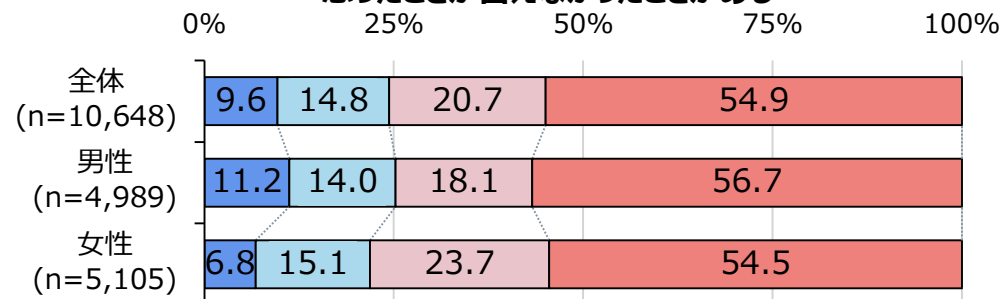
2. (直近1年間で)「男性だから」「女性だから」と周りの人に言われたことがある



3. (前問で「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した方) 誰に言われましたか (複数回答可)



4. (直近1年間で) 性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある



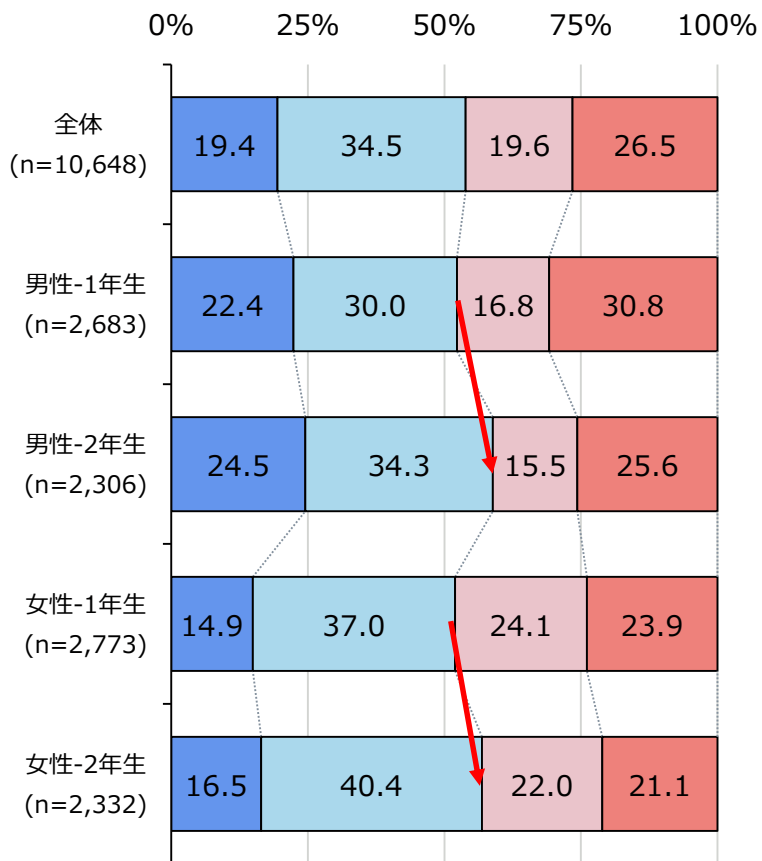
- そう思う/あてはまる
- どちらかというと思う/どちらかというにあてはまる
- どちらかというと思わない/どちらかというにあてはまらない
- そう思わない/あてはまらない

● 半数以上の生徒が、「男性/女性だから」と性別を意識している。

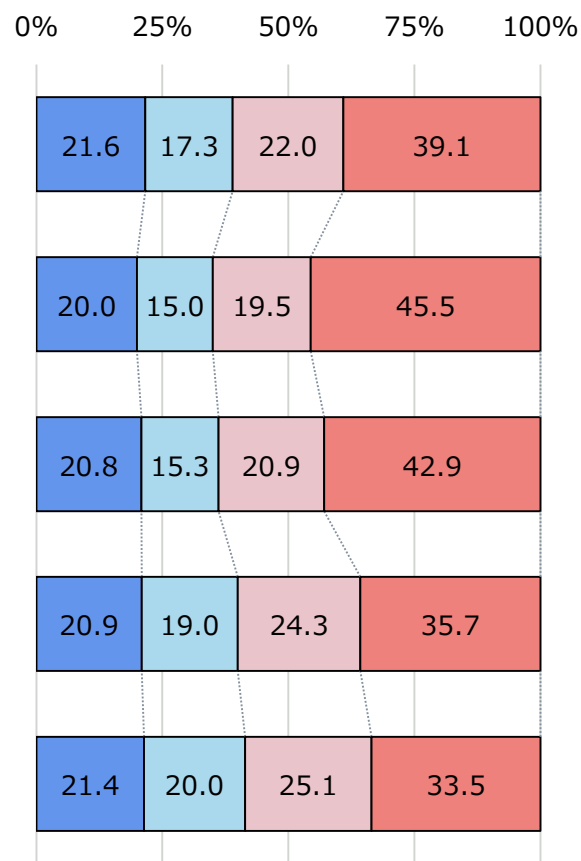
● 周囲からの影響では、男性は友人から、女性は保護者が最多となった。

(2) 「男性/女性だから」という意識について（学年での比較）

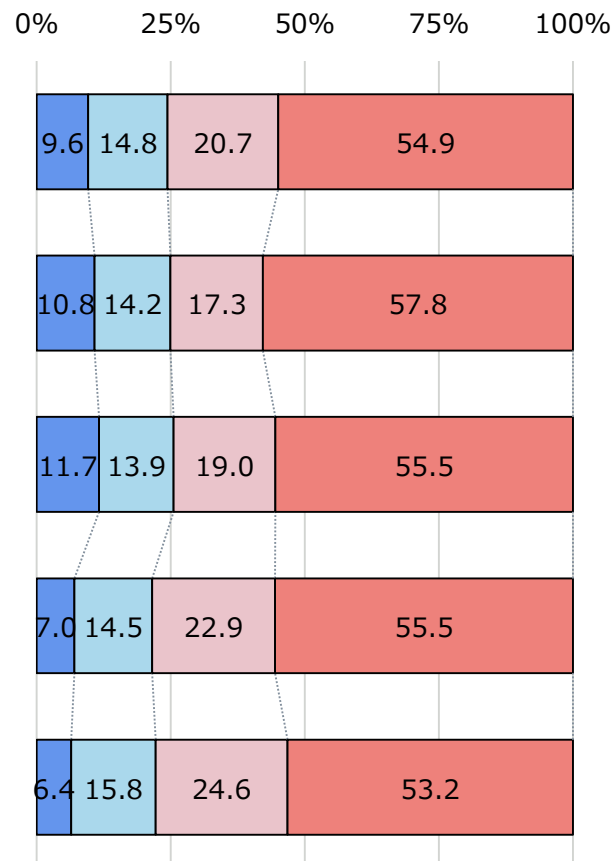
1. 「男性だから」「女性だから」と思うことがある



2. (直近1年間で)「男性だから」「女性だから」と周りの人に言われたことがある



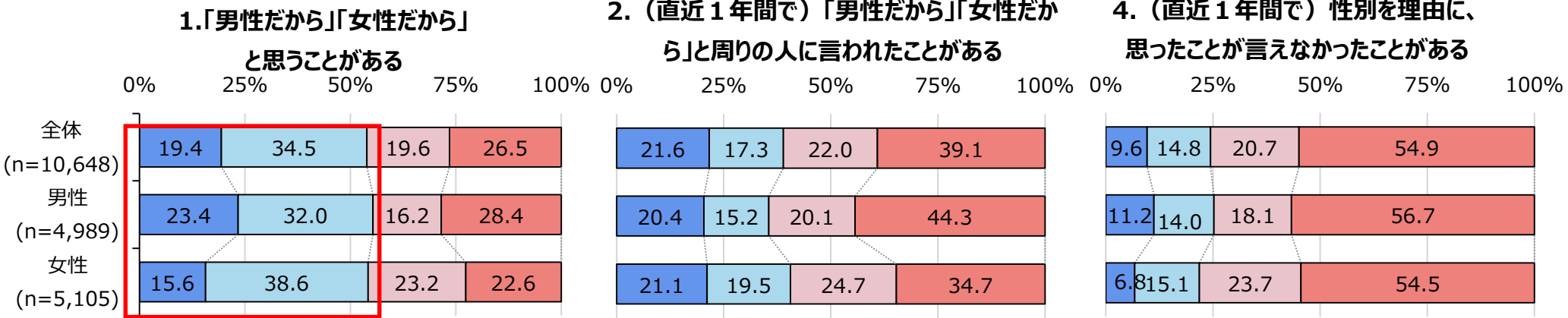
4. (直近1年間で)性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある



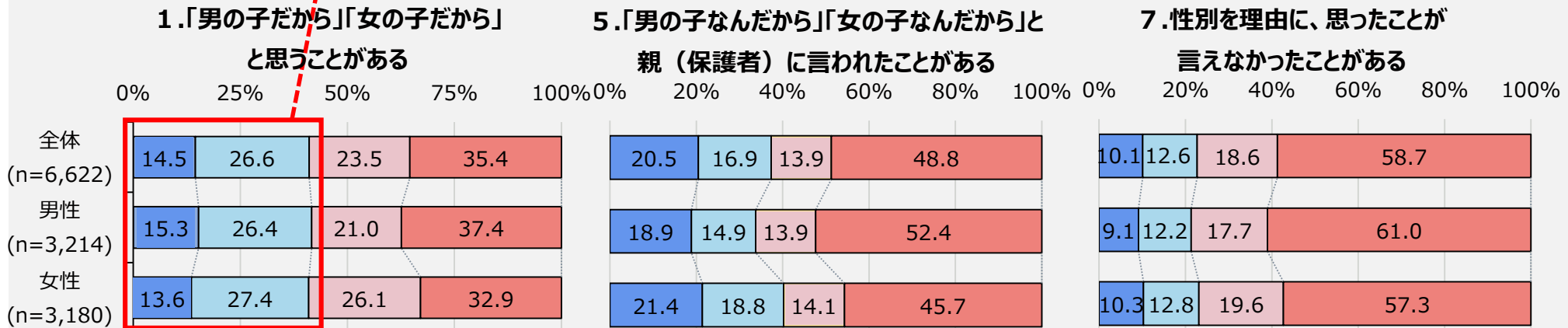
■ そう思う/あてはまる
 ■ どちらかというと思う/どちらかというにあてはまる
 ■ どちらかというと思わない/どちらかというにあてはまらない
 ■ そう思わない/あてはまらない

● 学年が上がるごとに、「男性/女性だから」と思う割合が増加した。

(2) 「男性/女性だから」という意識について（小学生との比較）



小学生調査



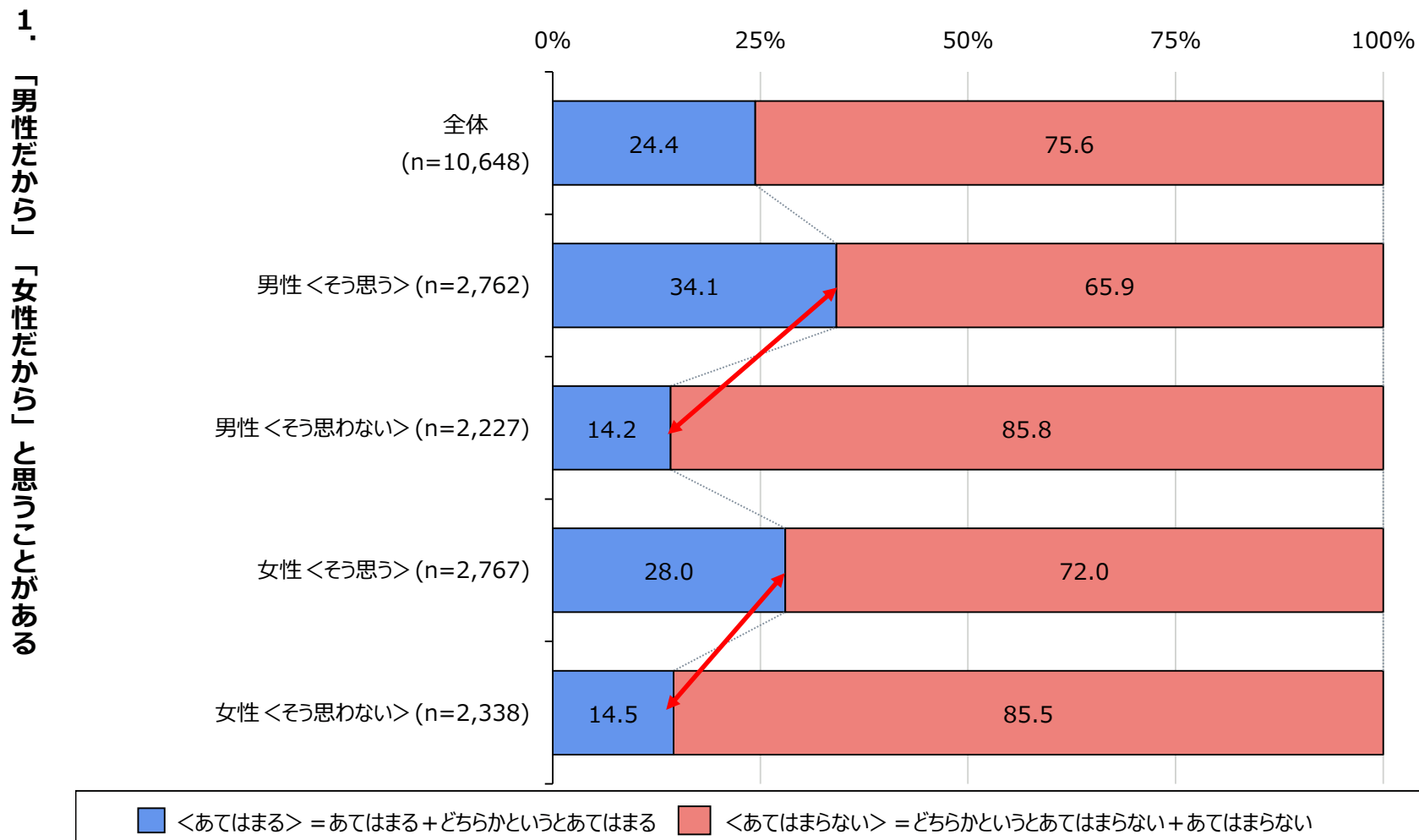
※東京都生活文化スポーツ局「性別による「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に関する実態調査」（令和5年3月）

■ そう思う/あてはまる □ どちらかというと思う/どちらかというにあてはまる ▨ どちらかというと思わない/どちらかというにあてはまらない ■ そう思わない/あてはまらない

●小学生より高校生の方が、「男性/女性だから」と思う傾向がある。

(2) 「男性/女性だから」という意識について (「男性/女性だから」という意識の影響)

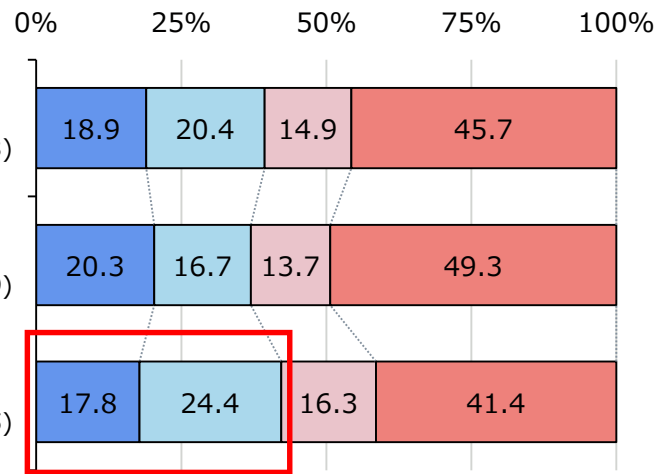
4. (直近1年間で) 性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある



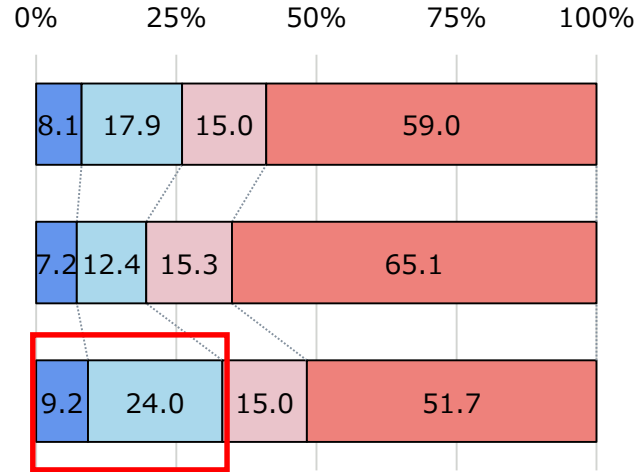
●「男性/女性だから」と思う人の方が、「性別を理由に、思ったことが言えなかった」割合が高い。

(3) 進路・職業選択に対する意識について

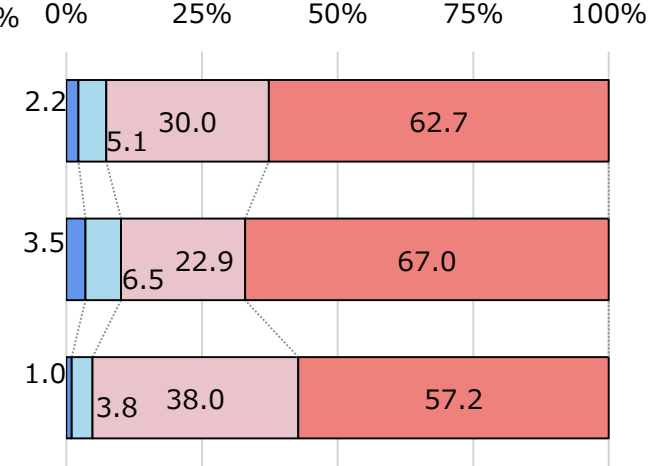
7.性別で教科の得意、不得意があると思う



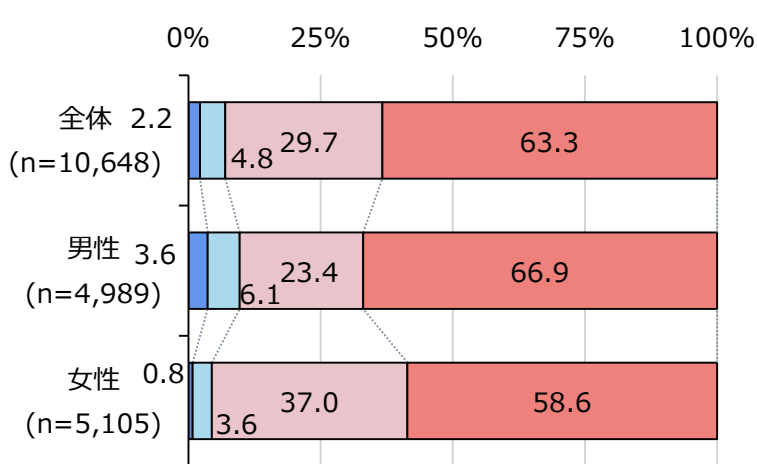
8.理系科目は男性の方が得意だと思う



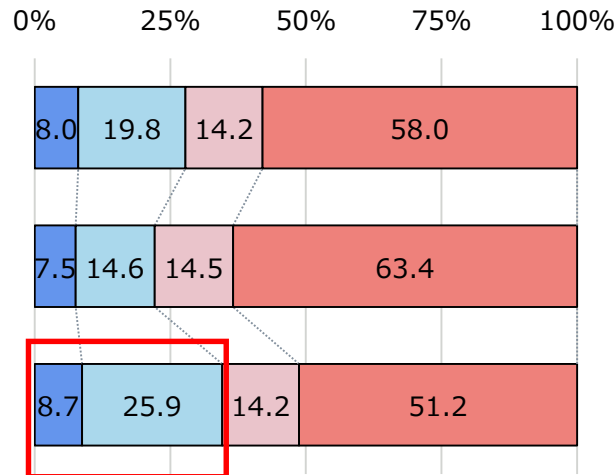
9.理系科目は女性の方が得意だと思う



10.文系科目は男性の方が得意だと思う



11.文系科目は女性の方が得意だと思う



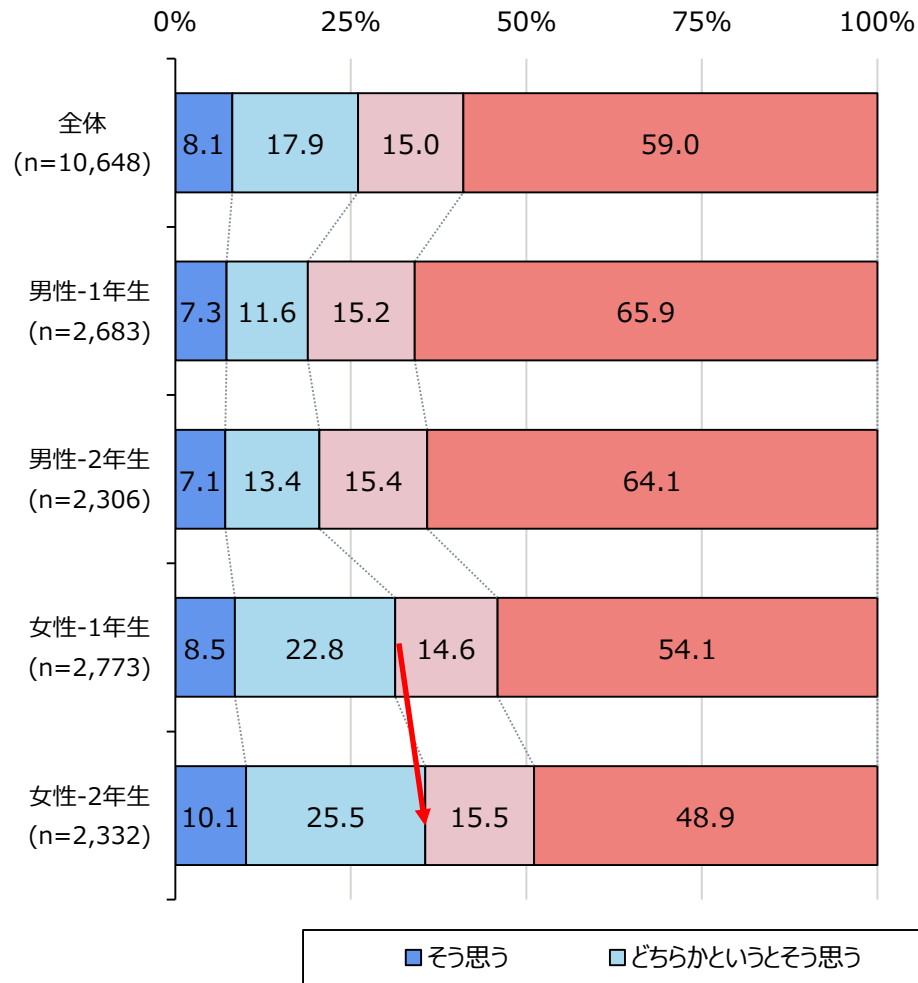
■ そう思う
■ どちらかというと思う
■ どちらかというと思わない
■ そう思わない

● 女性の方が、「性別で教科の得意/不得意がある」と思う傾向がある。

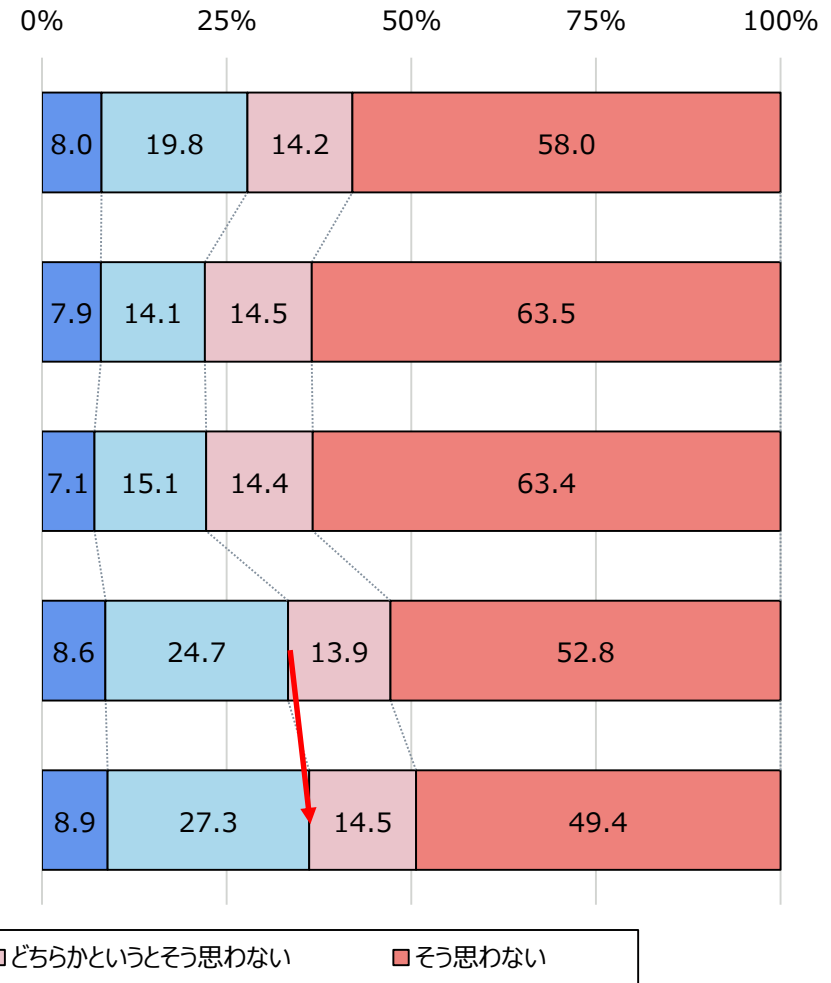
● 女性の3割以上が「理系科目は男性/文系科目は女性の方が得意だと思う」と回答した。

(3) 進路・職業選択に対する意識について（学年での比較）

8. 理系科目は男性の方が得意だと思う

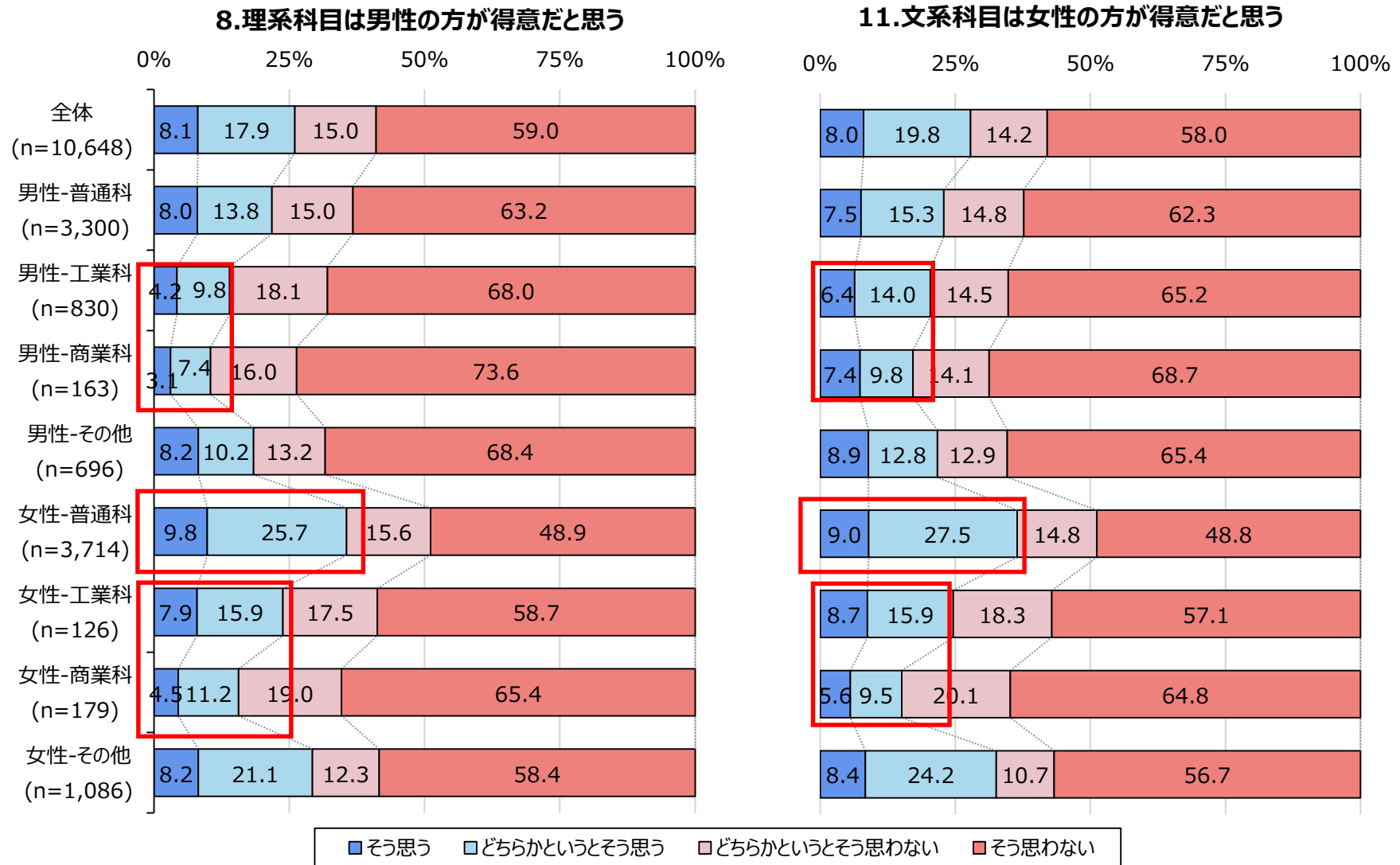


11. 文系科目は女性の方が得意だと思う



●特に女性は学年が上がるごとに、「理系科目は男性/文系科目は女性の方が得意」と思う割合が増加した。

(3) 進路・職業選択に対する意識について（学科での比較）



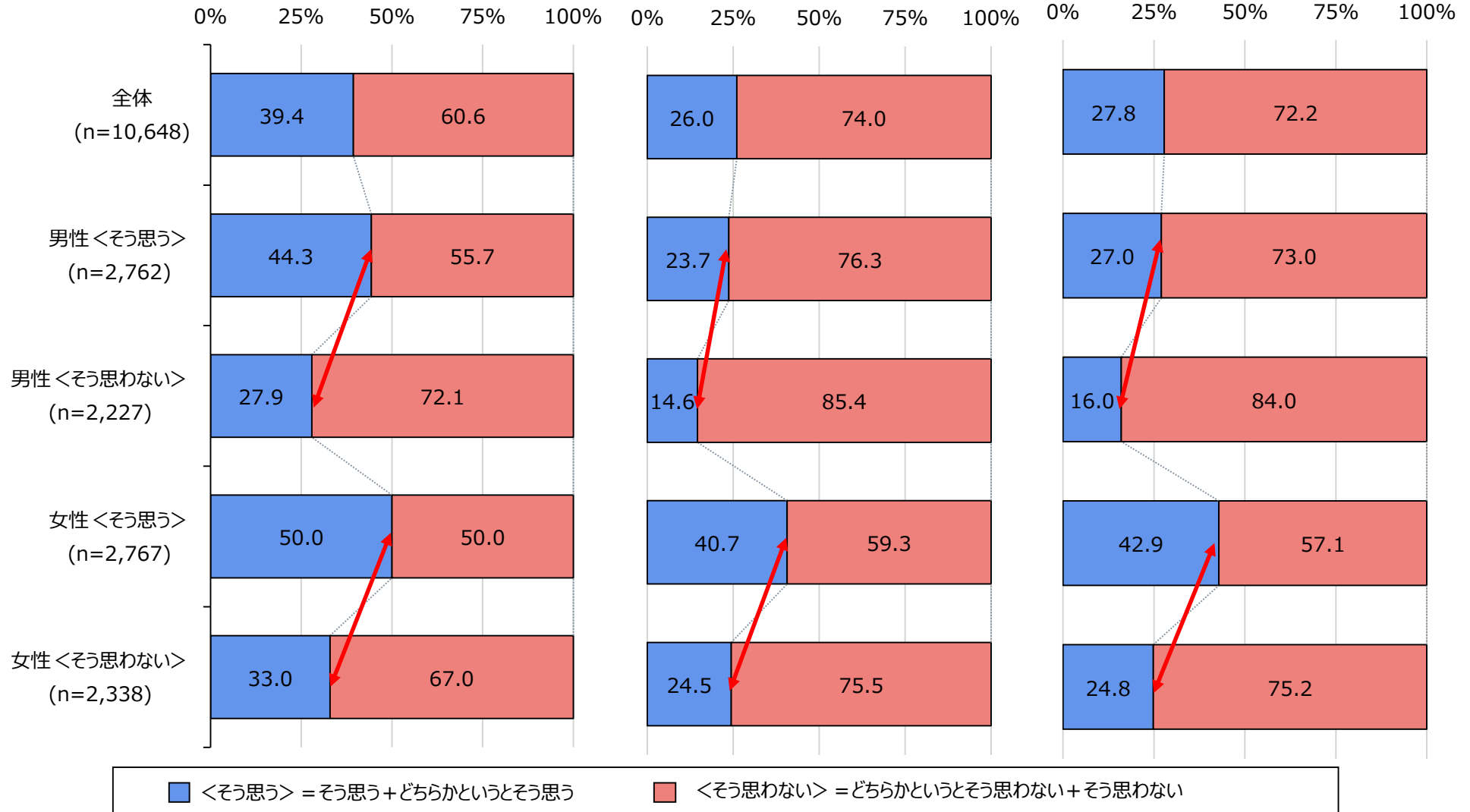
- 男女ともに工業科・商業科は、「理系科目は男性/文系科目は女性の方が得意」と思う割合は低い。
- 特に普通科の女性は、「理系科目は男性/文系科目は女性の方が得意」と思う傾向にある。

(3) 進路・職業選択に対する意識について（「男性/女性だから」という意識の影響）

7.性別で教科の得意、不得意があると思う

8.理系科目は男性の方が得意だと思う

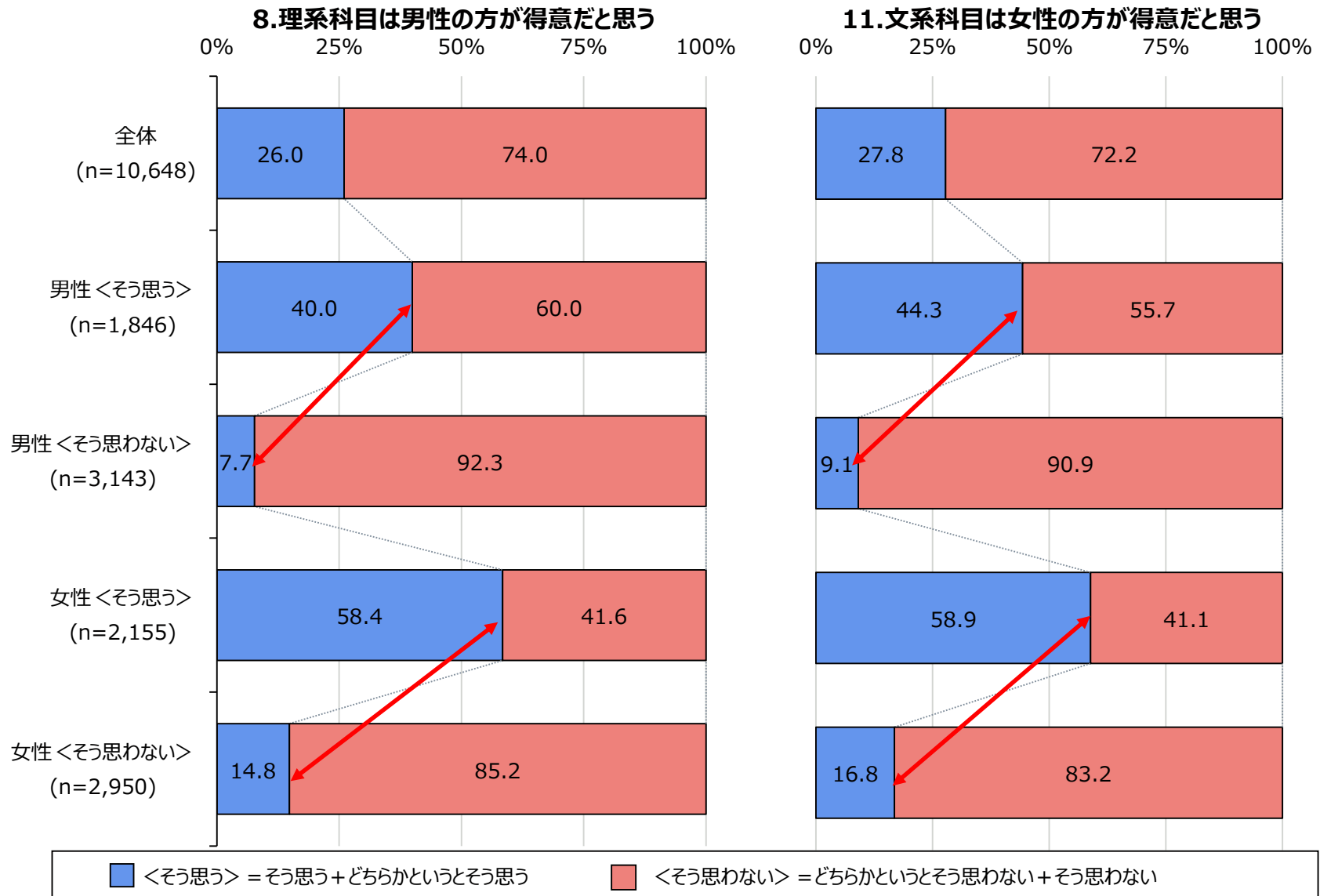
11.文系科目は女性の方が得意だと思う



●「男性/女性だから」と思う人は、教科に対しても性別を意識する傾向にある。

(3) 進路・職業選択に対する意識について（性別で教科の得意/不得意があると思う意識の影響）

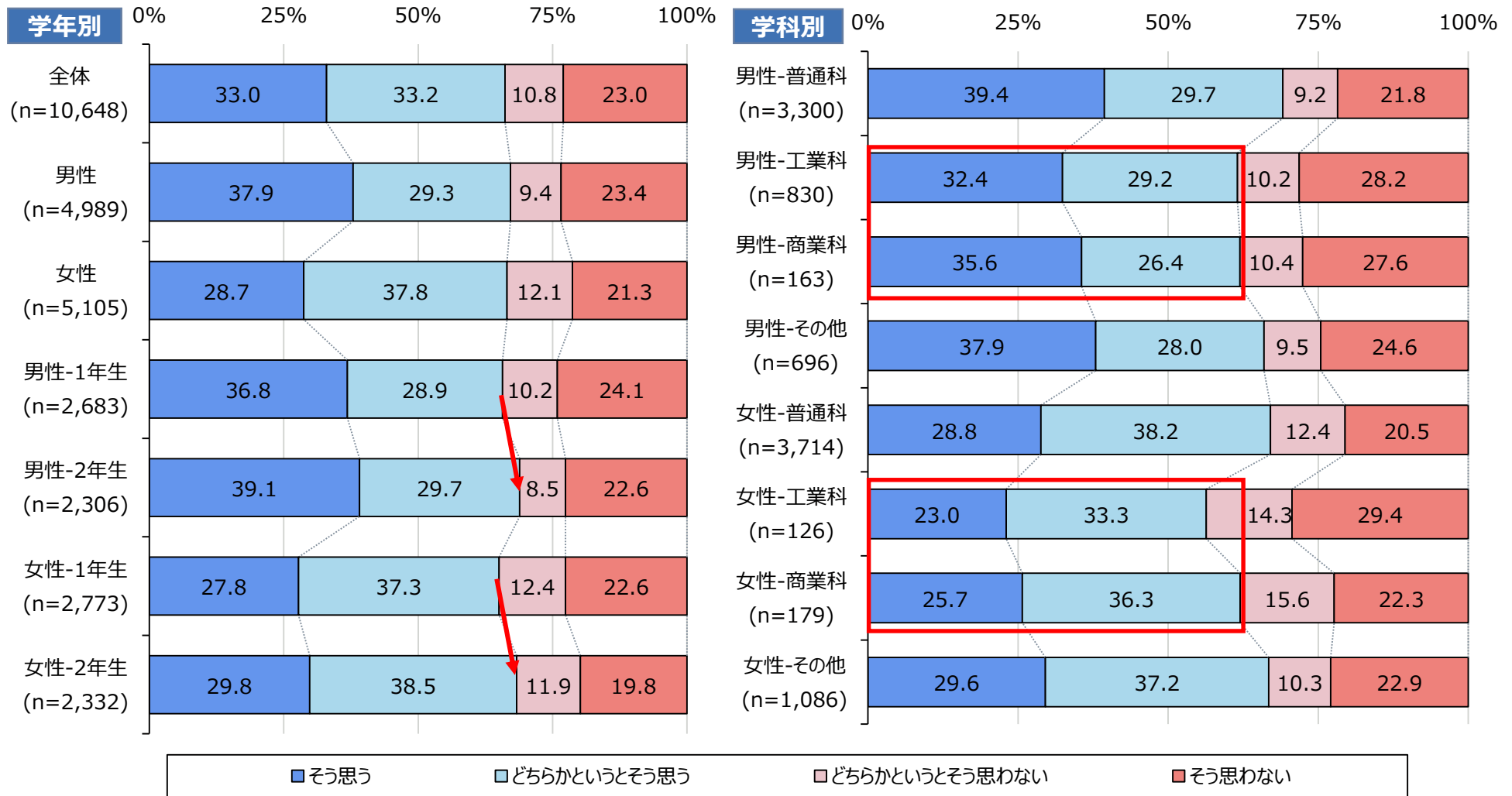
7. 性別で教科の得意、不得意があると思う



●「性別で教科の得意・不得意がある」と思う人は、理系・文系への性別の影響を意識する傾向にある。

(3) 進路・職業選択に対する意識について（学年/学科別での比較）

12. (将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う



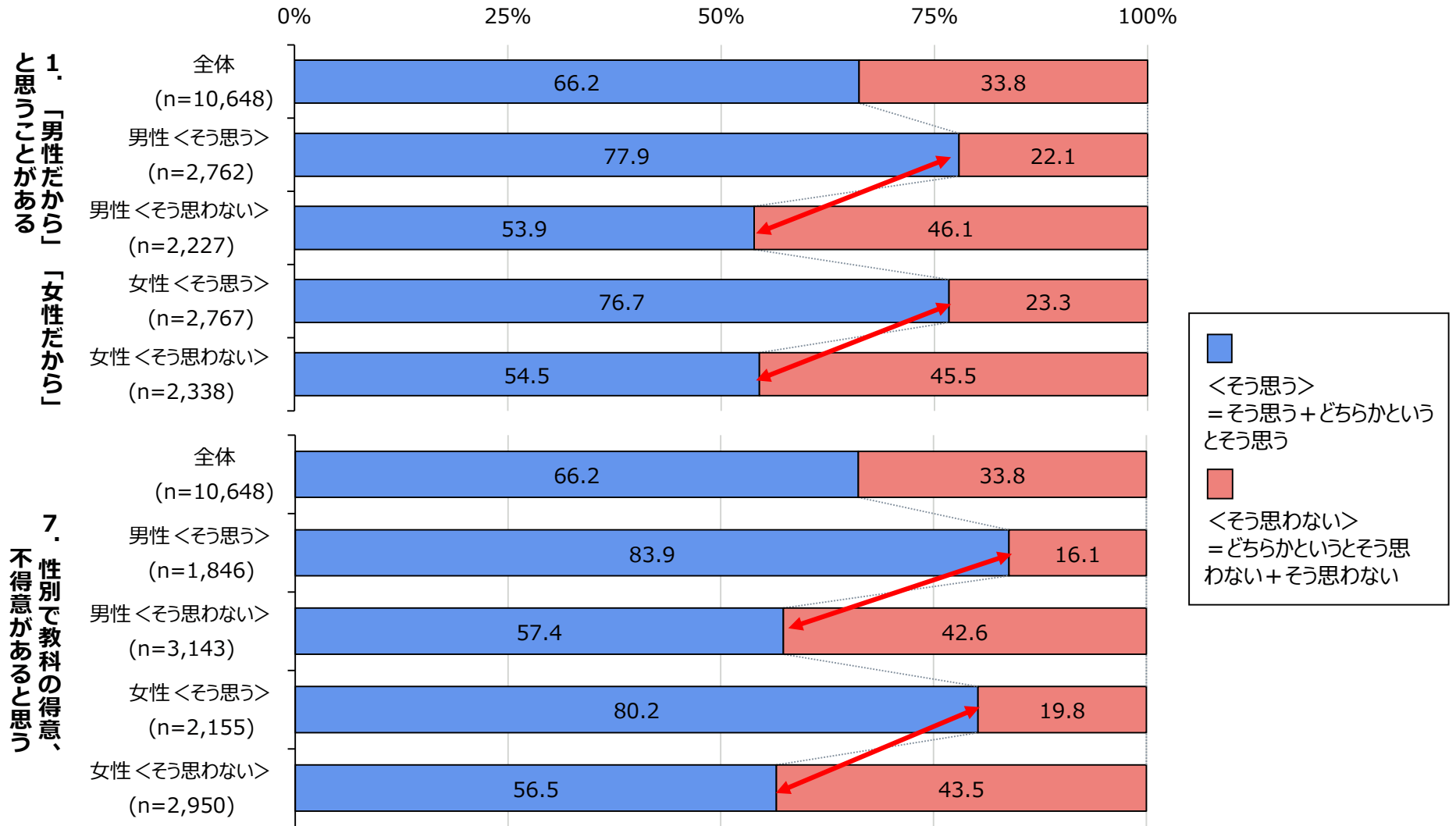
● 6割以上が仕事の向き不向きに性別の影響があると回答した。

● 男女ともに学年が上がるほど<そう思う>の割合が高くなり、工業科・商業科では比較的<そう思う>の割合は低い。

※ <そう思う> = 「そう思う」+「どちらかというと思う」

(3) 進路・職業選択に対する意識について

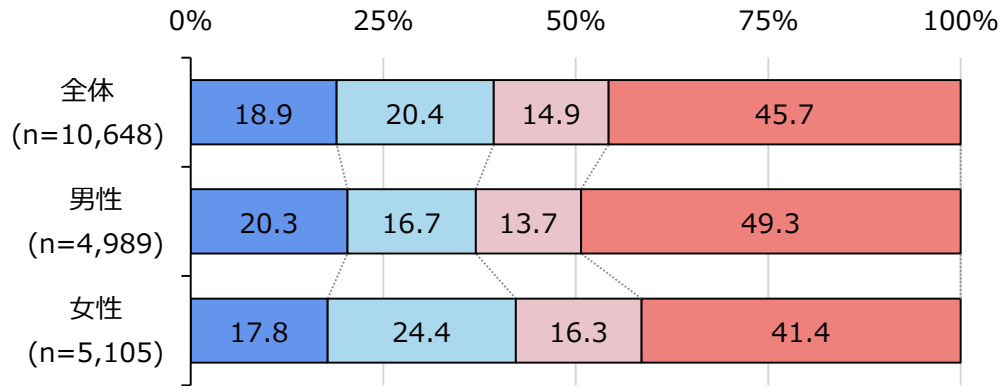
12. (将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う



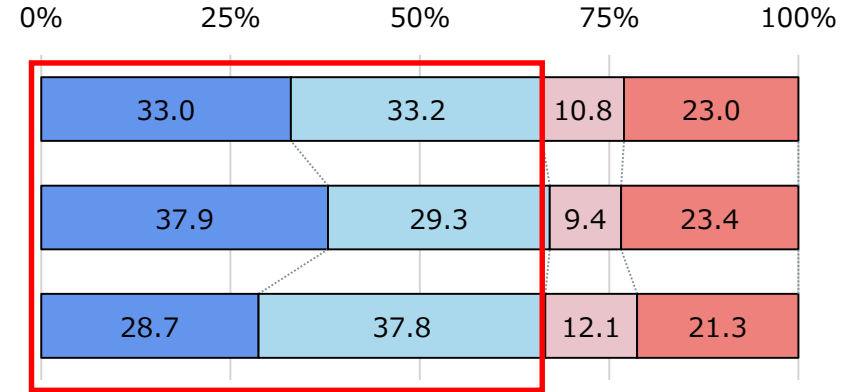
- 「男性/女性だから」と思う人の方が、仕事の向き不向きへの性別の影響を意識する傾向にある。
- 「性別で教科の得意、不得意がある」と思う人の方が、仕事の向き不向きへの性別の影響を意識する傾向にある。

(3) 進路・職業選択に対する意識について（小学生との比較）

7.性別で教科の得意、不得意があると思う

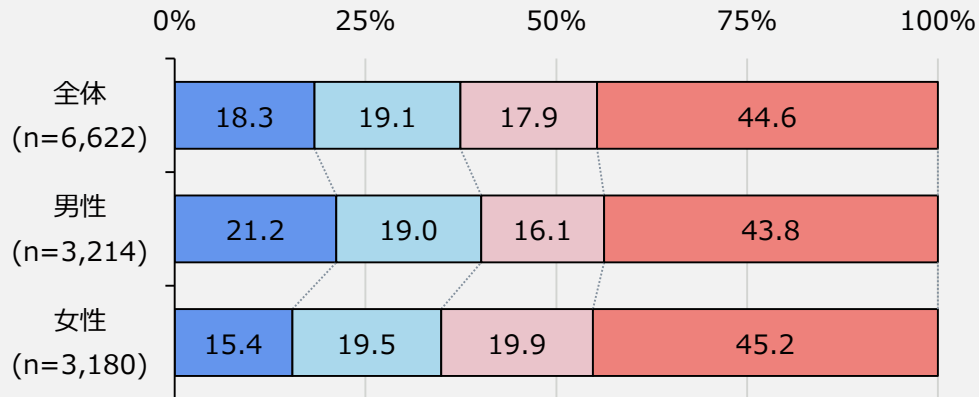


12.（将来の仕事について）性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

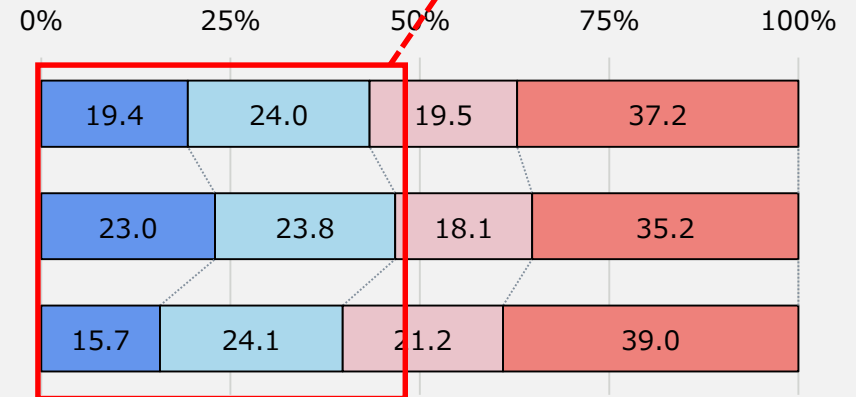


小学生調査

2.性別で教科の得意、不得意があると思う



3.（将来の仕事について）性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う



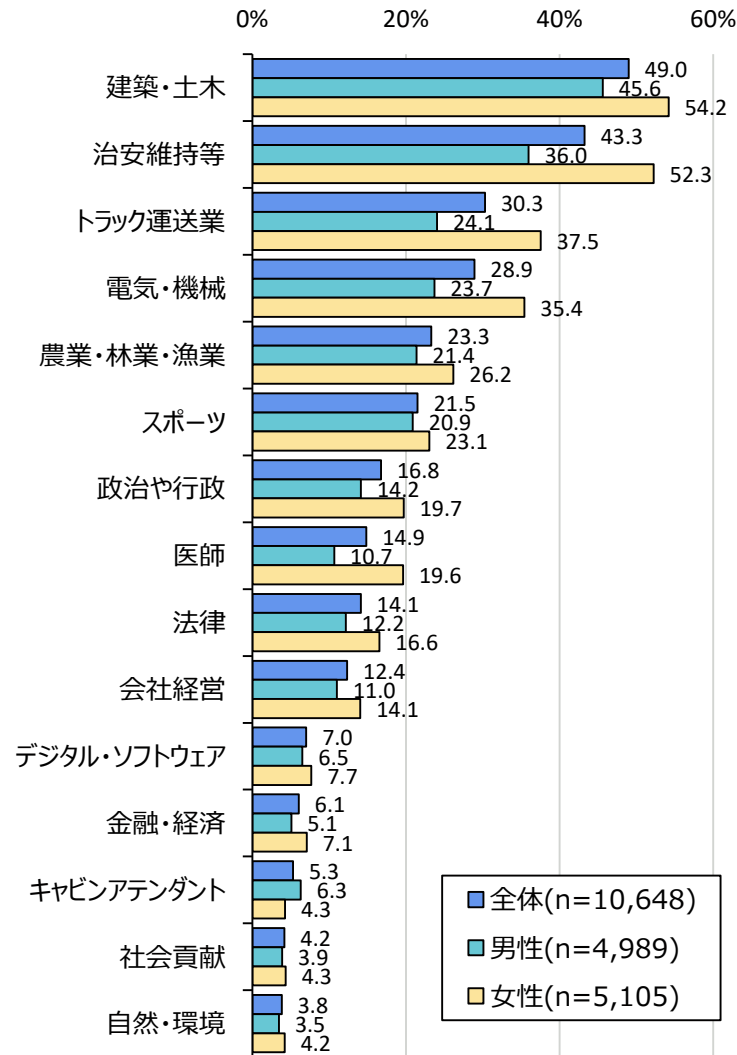
※東京都生活文化スポーツ局「性別による「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に関する実態調査」（令和5年3月）

■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ■ そう思わない

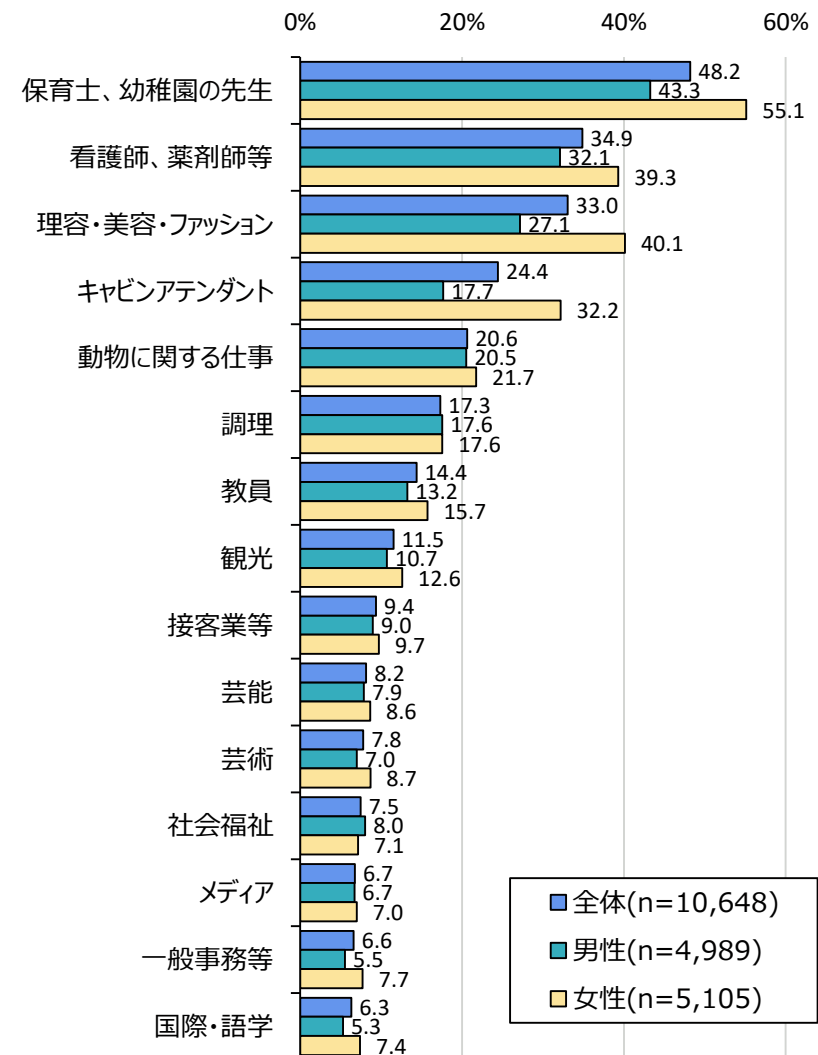
- 「性別で教科の得意、不得意がある」と思う割合は小学生と高校生で大きな差は見られなかった。
- 一方、小学生より高校生の方が「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う傾向にある。

(3) 進路・職業選択に対する意識について

13.次の中で「男性らしい」と思う職業はありますか（複数選択可）【上位15位】



14.次の中で「女性らしい」と思う職業はありますか（複数選択可）【上位15位】



- 男女ともに、「男性/女性らしいと思う職業」は同じ職業を連想した。
- 多くの職業で、「男性/女性らしいと思う」に女性の方が「そう思う」傾向にある。

(3) 進路・職業選択に対する意識について（「男性/女性らしい」と思う職業と将来就きたい職業）

※「どれでもない」「わからない」は省略

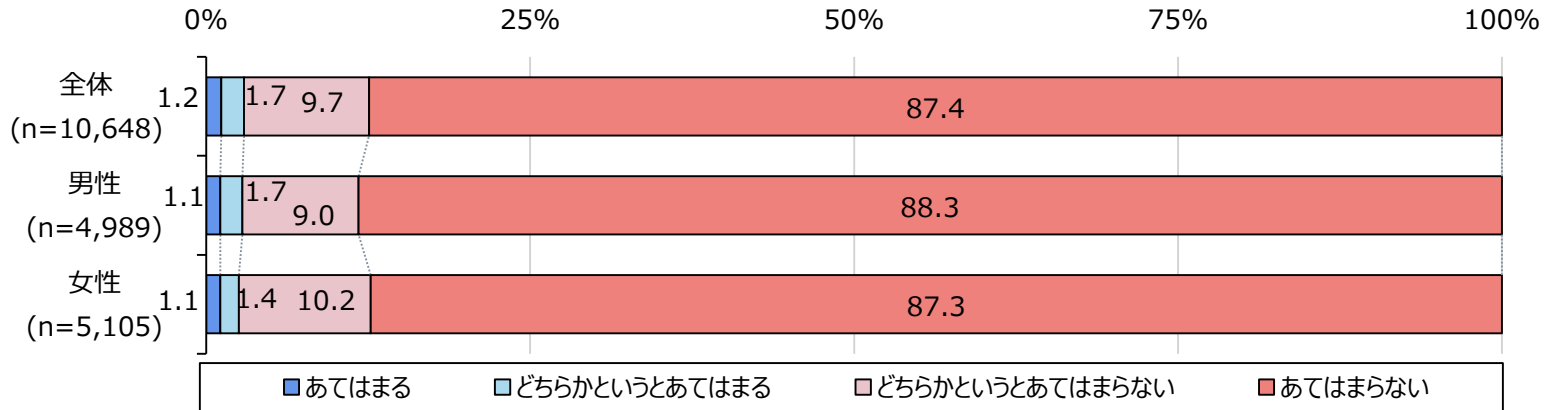
男性回答	将来就きたい職業		「男性らしい」と思う職業		「女性らしい」と思う職業	
	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位
会社経営	14.0	2位	11.0	9位	2.7	21位
社会貢献	4.0	19位	3.9	14位	4.7	17位
政治や行政	5.5	11位	14.2	7位	2.3	22位
治安維持等	4.7	14位	36.0	2位	1.4	25位
法律	2.6	25位	12.2	8位	2.7	20位
金融・経済	6.5	8位	5.1	13位	3.1	19位
一般事務等	5.6	10位	2.5	20位	5.5	15位
医師	2.4	26位	10.7	10位	6.6	14位
看護師、薬剤師等	4.4	15位	1.6	28位	32.1	2位
動物に関する仕事	5.2	12位	2.3	22位	20.5	4位
保育士、幼稚園の先生	4.4	15位	1.2	29位	43.3	1位
教員	8.1	6位	3.0	18位	13.2	7位
理容・美容・ファッション	4.3	17位	2.1	23位	27.1	3位
スポーツ	13.2	3位	20.9	6位	1.9	23位
デジタル・ソフトウェア	14.2	1位	6.5	11位	1.8	24位
社会福祉	1.7	27位	1.9	25位	8.0	10位
建築・土木	6.7	7位	45.6	1位	0.9	28位
電気・機械	11.8	4位	23.7	4位	0.9	28位
自然・環境	2.8	23位	3.5	15位	3.6	18位
農業・林業・漁業	3.5	21位	21.4	5位	1.2	26位
トラック運送業等	3.7	20位	24.1	3位	1.0	27位
キャビンアテンダント	0.5	29位	6.3	12位	17.7	5位
国際・語学	2.9	22位	1.8	26位	5.3	16位
メディア	1.7	27位	2.9	19位	6.7	13位
芸術	8.6	5位	3.1	16位	7.0	12位
芸能	5.6	9位	3.1	17位	7.9	11位
調理	4.9	13位	2.5	21位	17.6	6位
接客業等	4.1	18位	2.0	24位	9.0	9位
観光	2.7	24位	1.7	27位	10.7	8位

女性回答	将来就きたい職業		「女性らしい」と思う職業		「男性らしい」と思う職業	
	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位
会社経営	5.3	13位	2.0	22位	14.1	10位
社会貢献	3.1	19位	3.9	16位	4.3	13位
政治や行政	3.3	18位	1.5	24位	19.7	7位
治安維持等	1.7	24位	1.0	25位	52.3	2位
法律	1.9	23位	3.0	19位	16.6	9位
金融・経済	3.1	20位	2.5	21位	7.1	12位
一般事務等	7.3	9位	7.7	12位	2.3	22位
医師	2.2	21位	3.3	17位	19.6	8位
看護師、薬剤師等	14.0	3位	39.3	3位	1.4	27位
動物に関する仕事	8.8	6位	21.7	5位	2.4	21位
保育士、幼稚園の先生	13.0	4位	55.1	1位	0.9	29位
教員	8.8	5位	15.7	7位	3.5	17位
理容・美容・ファッション	16.1	1位	40.1	2位	1.8	24位
スポーツ	4.8	14位	1.6	23位	23.1	6位
デジタル・ソフトウェア	4.7	15位	2.5	20位	7.7	11位
社会福祉	4.3	16位	7.1	14位	2.1	23位
建築・土木	2.0	22位	0.8	27位	54.2	1位
電気・機械	0.9	28位	0.7	29位	35.4	4位
自然・環境	1.7	26位	3.1	18位	4.2	15位
農業・林業・漁業	1.7	25位	1.0	26位	26.2	5位
トラック運送業等	0.3	29位	0.7	28位	37.5	3位
キャビンアテンダント	1.5	27位	32.2	4位	4.3	14位
国際・語学	6.3	11位	7.4	13位	1.3	28位
メディア	4.2	17位	7.0	15位	4.0	16位
芸術	15.5	2位	8.7	10位	3.0	19位
芸能	8.4	7位	8.6	11位	3.3	18位
調理	7.7	8位	17.6	6位	2.6	20位
接客業等	6.9	10位	9.7	9位	1.5	26位
観光	6.1	12位	12.6	8位	1.6	25位

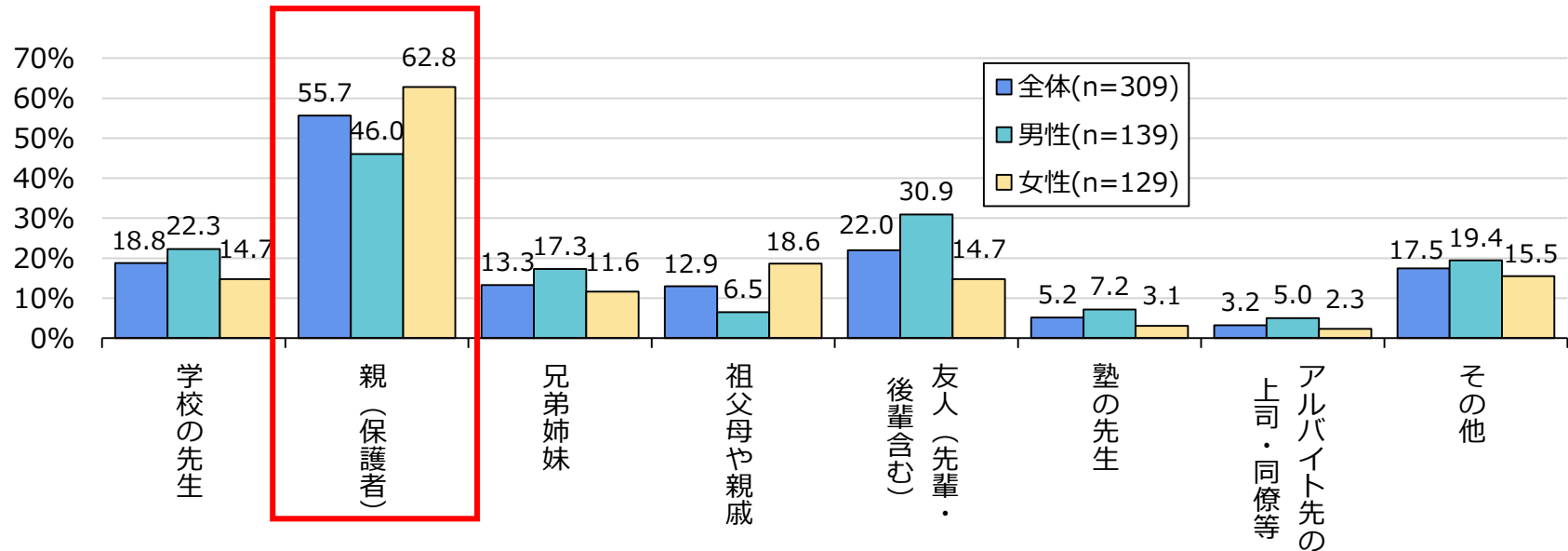
- 男性は「男性らしい」と思う職業を将来の選択肢に選ぶ傾向があるが、「女性らしい」と思う職業は将来の選択肢に入りづらい。
- 女性は「男性らしい」と思う職業が選択肢に入りづらく、「女性らしい」と思う職業を、将来の選択肢に選ぶ傾向が顕著となった。

(3) 進路・職業選択に対する意識について

15. 将来進みたい進路について、性別を理由に否定的な意見を受けたことがある



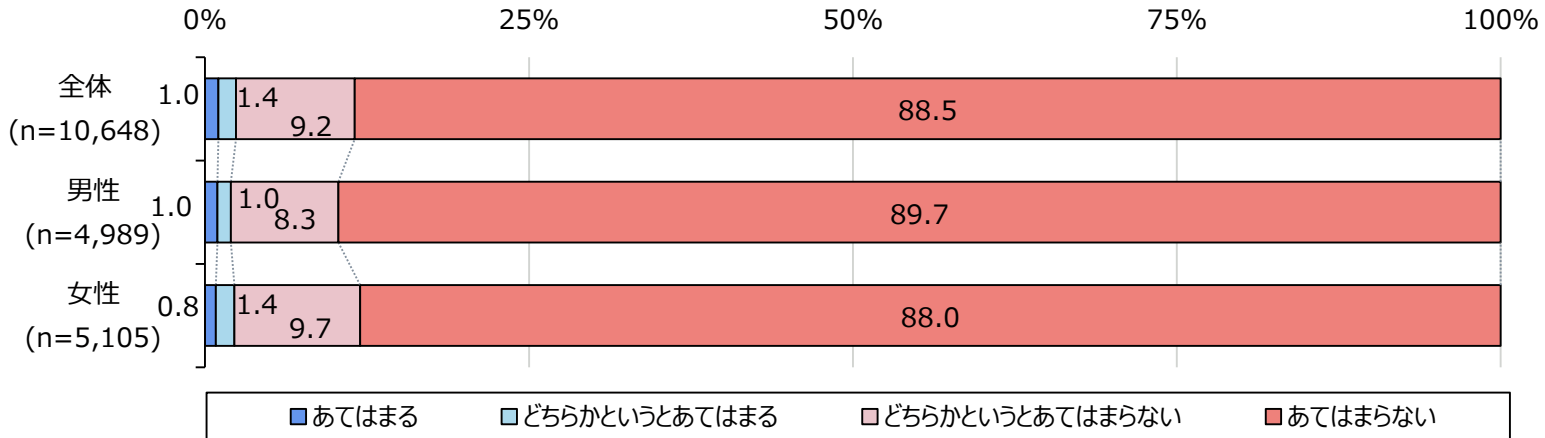
16. (前問で「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した方) 誰に言われましたか (複数回答可)



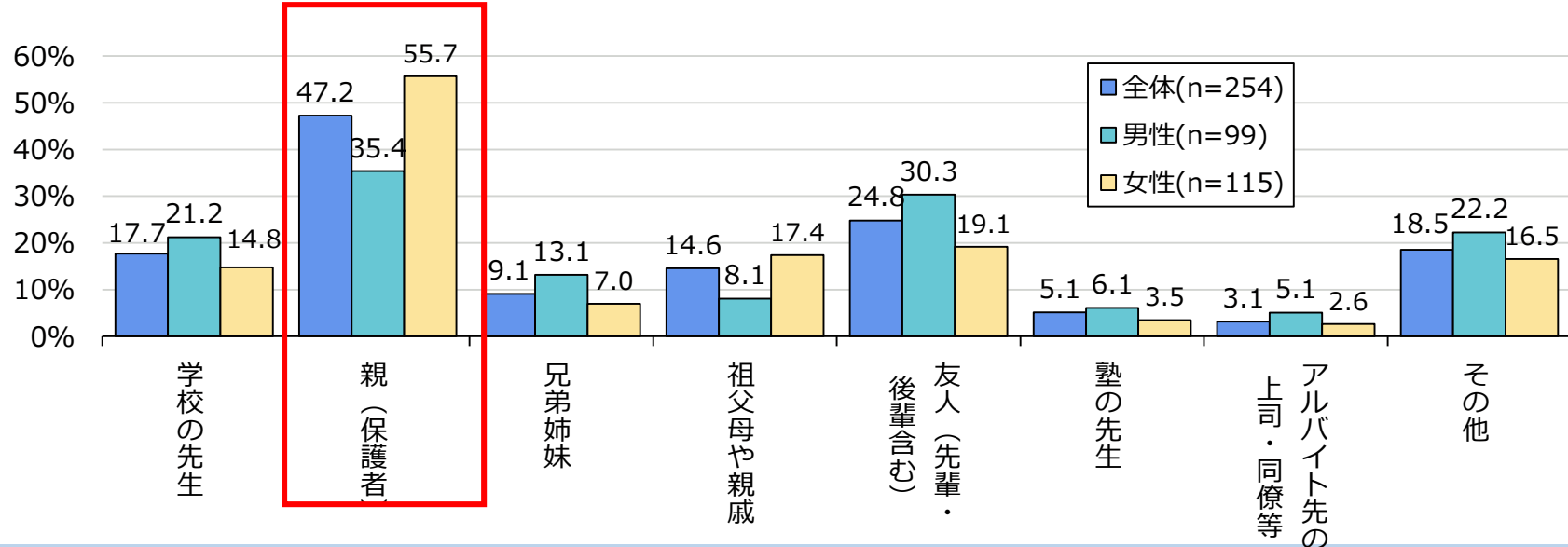
- 男女ともに進路について、「性別を理由に否定的な意見を受けた経験がある」割合は低い。
- 否定的な意見を受けたことがある場合には、男女とも親（保護者）が最多となった。

(3) 進路・職業選択に対する意識について

17. 将来就きたい職業について、性別を理由に否定的な意見を受けたことがある



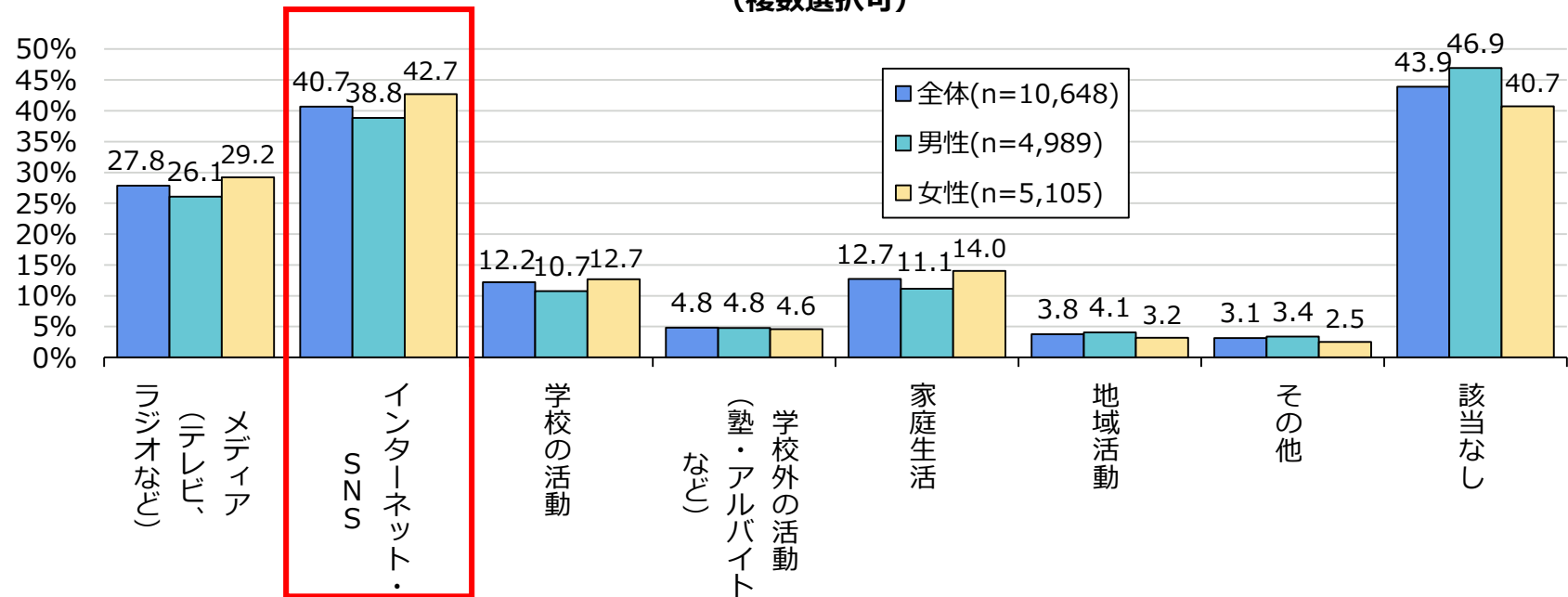
18. (前問で「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した方) 誰に言われましたか (複数回答可)



- 男女ともに職業について、「性別を理由に否定的な意見を受けた経験がある」割合は低い。
- 否定的な意見を受けたことがある場合には、男女とも親（保護者）が最多となった。

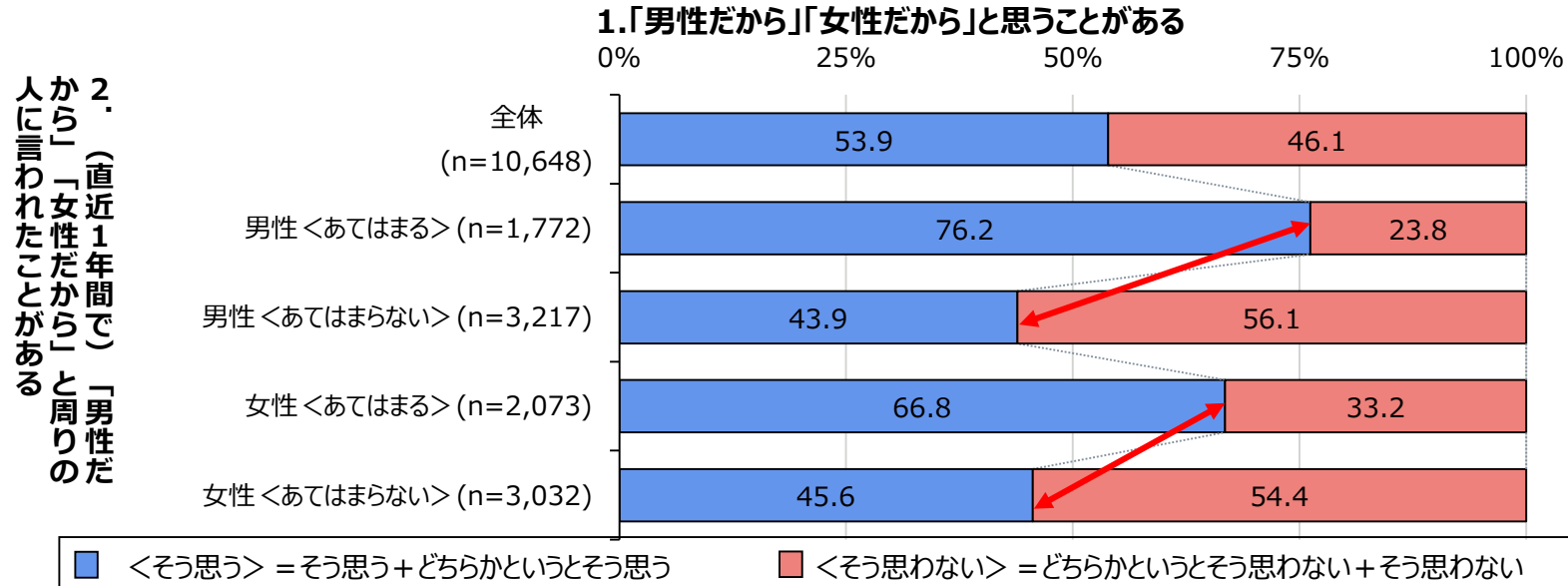
(4) 周囲からの影響による「男性/女性だから」という意識の形成について

23. (直近1年間で) 次の中から「男性らしい」「女性らしい」という情報発信を感じたことがあるものを選んでください
(複数選択可)

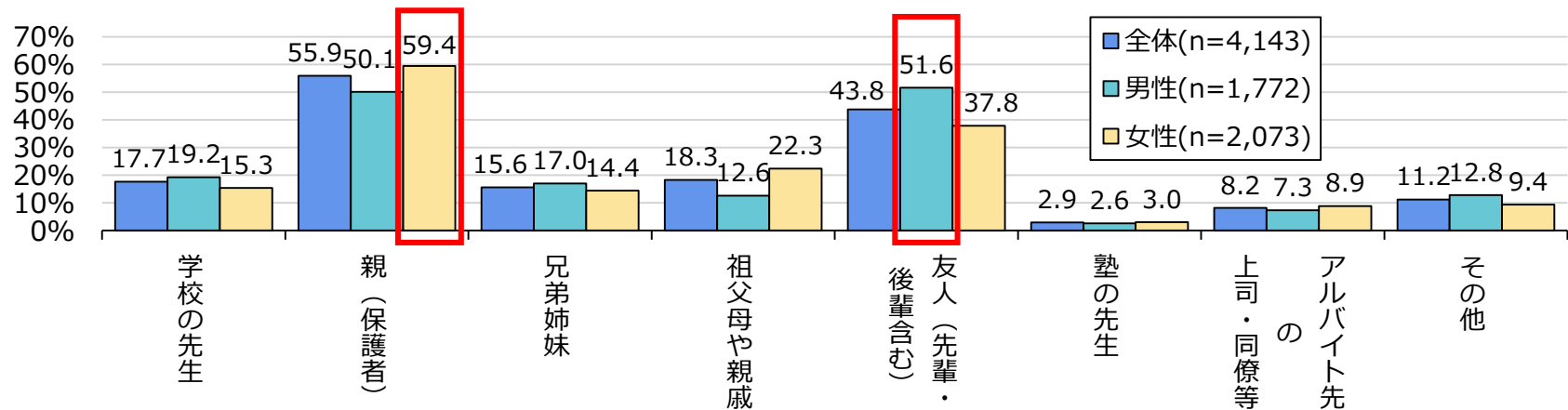


- 男女ともに、インターネット・SNSが最多となった。
- 男女で発信媒体に対する差はほとんどなかった。

(4) 周囲からの影響による「男性/女性だから」という意識の形成について



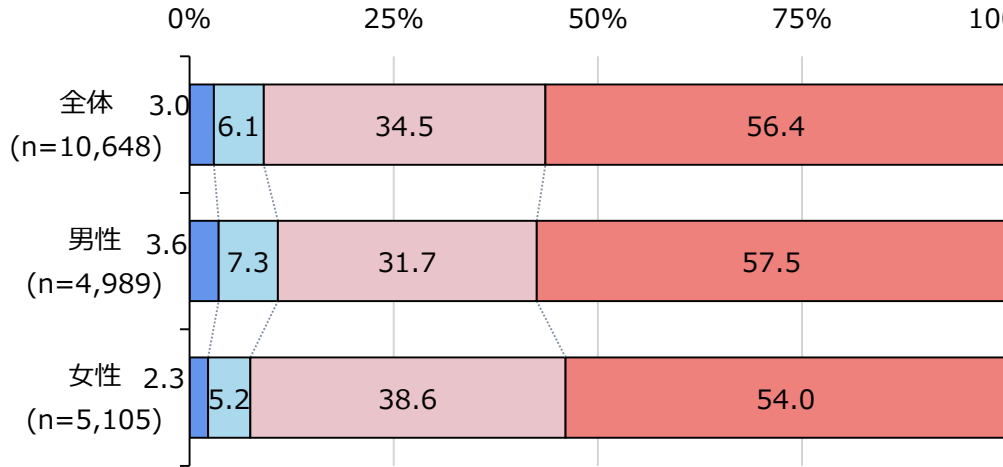
3. (前問で「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した方) 誰に言われましたか (複数回答可)



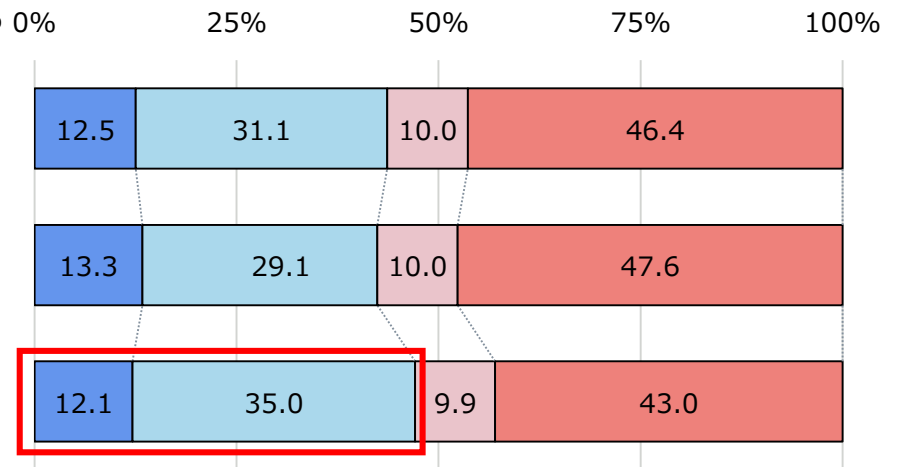
- 「男性/女性だから」と言われた経験がある人の方が、「男性/女性だから」と思う傾向にある。
- 男性は友人、女性は親 (保護者) から言われた経験が最多となった。

(5) 家事・育児に対する性別役割分担意識について

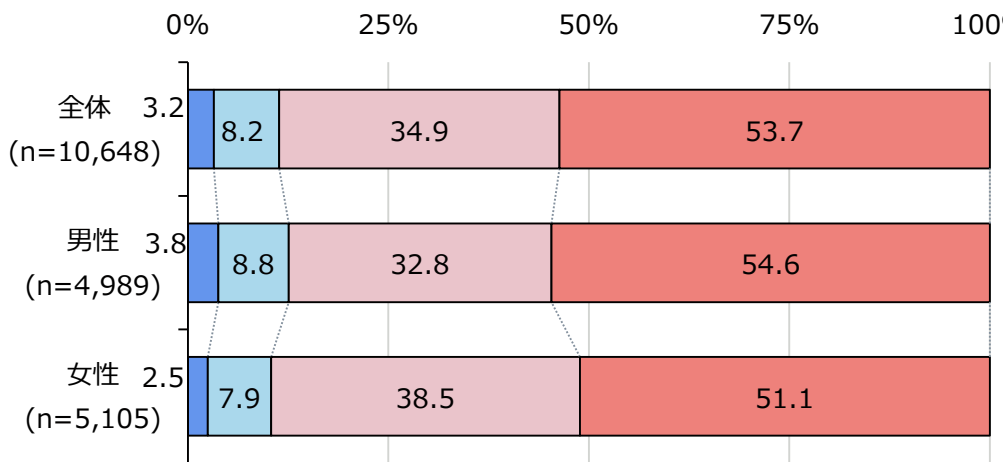
19. 家事は男性の方が向いていると思う



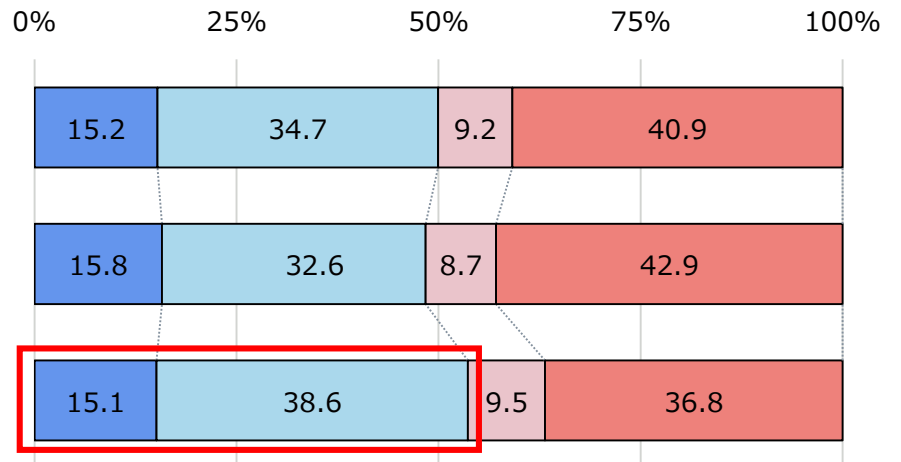
20. 家事は女性の方が向いていると思う



21. 育児は男性の方が向いていると思う



22. 育児は女性の方が向いていると思う

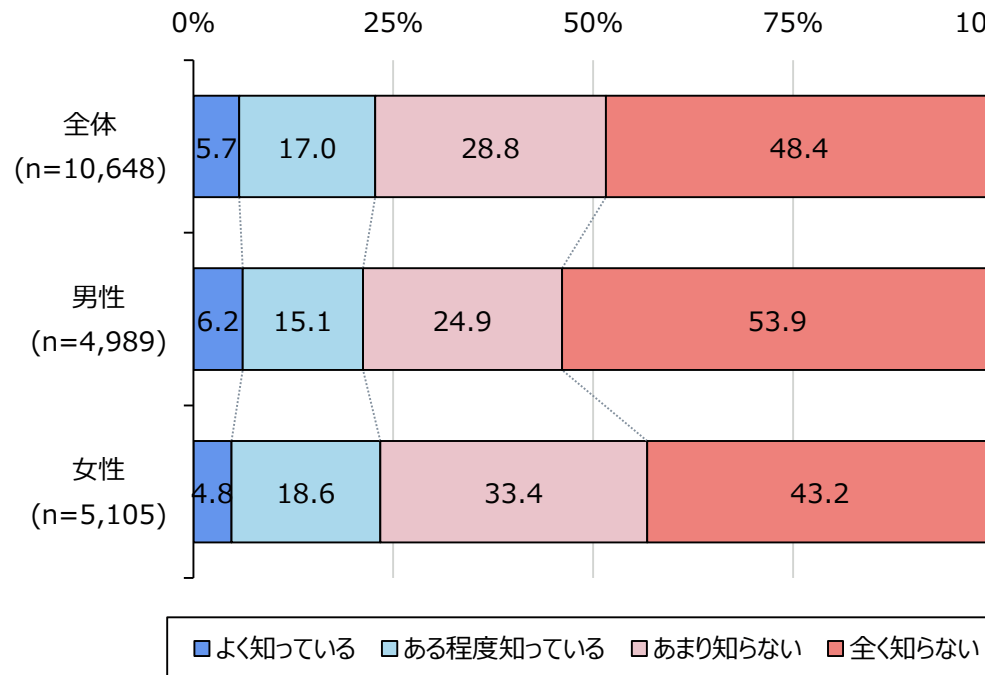


■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ■ そう思わない

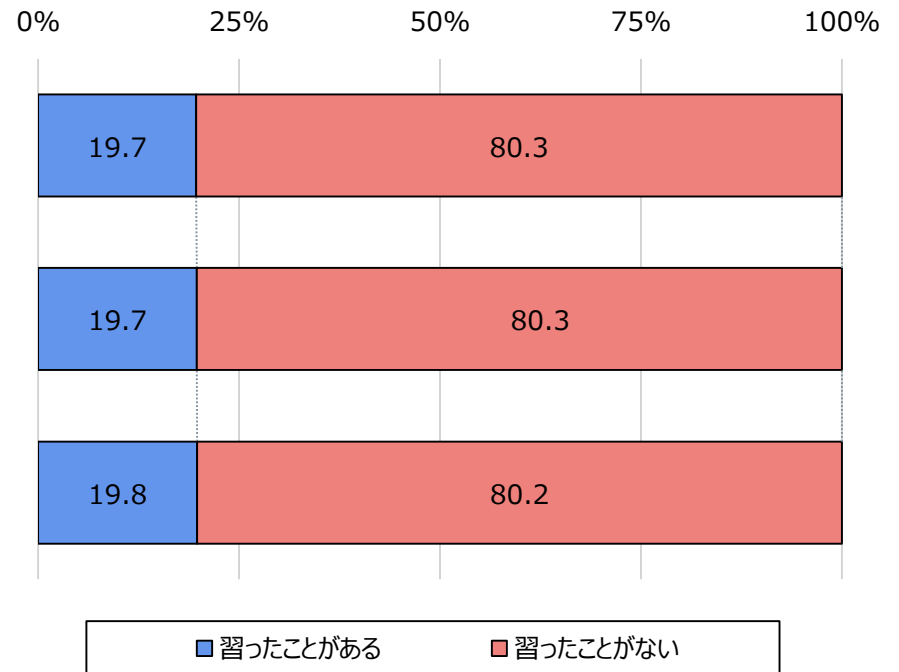
● 男女ともに「家事・育児は女性の方が向いている」と思う割合が高く、特に女性の方がその傾向が強い。

(6) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について

24.無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）
について知っていますか



25.無意識の思い込みについて、学校で習ったことはありますか



● 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度は約 2 割に留まっている。

(6) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について

無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度合い等と、自身の性別に対する意識や言動との関係を分析

- ①質問24、25の回答結果を以下の4つのカテゴリに分類
②カテゴリによって各設問項目の回答に影響があるかを分析

		25.無意識の思い込みについて、学校で習ったことはありますか	
い シ ヤ ス ・ バ イ ア ス の 思 い 込 み に つ い て 知 っ て い ま す か		1. 習ったことがある	2. 習ったことがない
	1. よく知っている	カテゴリ1 男性：7.9%(393人) 女性：8.8%(451人)	カテゴリ2 男性：13.3%(665人) 女性：14.5%(742人)
	2. ある程度知っている		
	3. あまり知らない	カテゴリ3 男性：11.8%(591人) 女性：11.0%(559人)	カテゴリ4 男性：66.9%(3,340人) 女性：65.7%(3,353人)
	4. 全く知らない		

質問項目
1. 「男性だから」「女性だから」と思うことがある
4. (直近1年間のことを思い浮かべながらご回答ください) 性別を理由に、思ったことが言えなかったことがある
7. 性別で教科の得意、不得意があると思う
8. 理系科目は男性の方が得意だと思う
9. 理系科目は女性の方が得意だと思う
10. 文系科目は男性の方が得意だと思う
11. 文系科目は女性の方が得意だと思う
12. (将来の仕事について) 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う
19. 家事は男性の方が向いていると思う
20. 家事は女性の方が向いていると思う
21. 育児は男性の方が向いていると思う
22. 育児は女性の方が向いていると思う

●無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について知っていること・学校で習ったことと意識や言動とは明確な相関関係は見られなかった。

(7) 分析結果まとめ

【分析にあたっての仮説】

調査結果の分析にあたっては、令和4年度に実施した児童（小学5・6年生）、保護者、教員を対象とした調査結果を踏まえて、「性別による無意識の思い込み」は自身の年齢に比例して強くなること、また、様々な媒体からの影響を受けることなど、以下の仮説を設定し、次ページに分析結果を示した。

調査結果分析にあたっての仮説

1. 小学生に比べ高校生、また、高校生の中でも上の学年の生徒に、進路・職業に対する「性別による思い込み」のある人が多い。
2. 自身の性別と職業に対する「男性/女性らしい」と思う意識は、将来の職業選択に影響を与える。
3. 将来就きたい職業について、性別を理由に否定的な意見を受けたことがあると仕事への向き不向きに性別が関係あると思いきむ傾向がある。
4. 「性別による思い込み」は、周囲の大人からの影響に限らず、マスメディアなどからの情報、友人、同僚などの言動による影響が見られる。

(7) 分析結果まとめ

仮説① 小学生に比べ高校生、また、高校生の中でも上の学年の生徒に、進路・職業に対する「性別による思い込み」のある人が多い。

小学生に比べ高校生、また、高校生の中でも上の学年の生徒の方が、「男性/女性だから」と思う割合・「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う割合が高く、**職業に対する「性別による思い込み」を持つ人が多くなる**ことが認められた。

<P7、8、15、17>

仮説② 自身の性別と職業に対する「男性/女性らしい」と思う意識は、将来の職業選択に影響を与える。

男性は「女性らしい」、女性は「男性らしい」と思う職業は、自身の将来の選択肢に入りにくい。特に女性は、「男性らしい」と思う職業を「将来就きたい職業」に選ばない傾向が顕著であった。男女ともに、**職業の選択肢が性別に影響を受けている**ことがわかった。<P19>

仮説③ 将来就きたい職業について、性別を理由に否定的な意見を受けたことがあると仕事への向き不向きに性別が関係あると思込む傾向がある。

将来就きたい職業について、性別を理由に否定的な意見を受けたことがある人の割合は低い。「否定的な意見を受けた経験」と「仕事への向き不向きに性別が関係がある」と思込むことの相関関係は見られなかった。<P20、21>

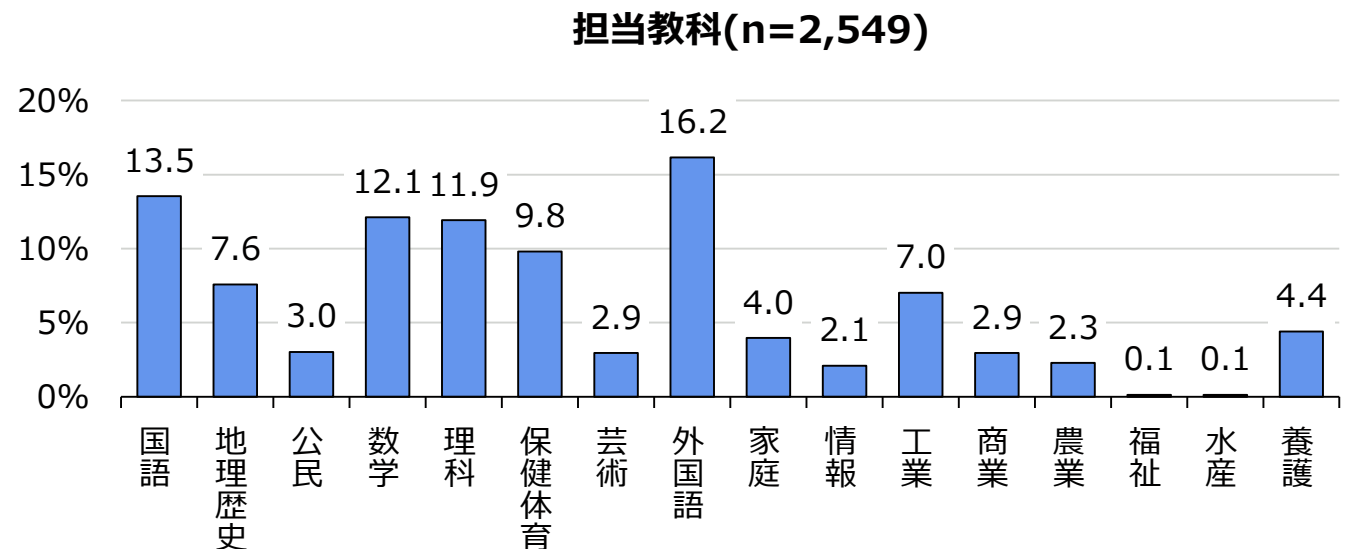
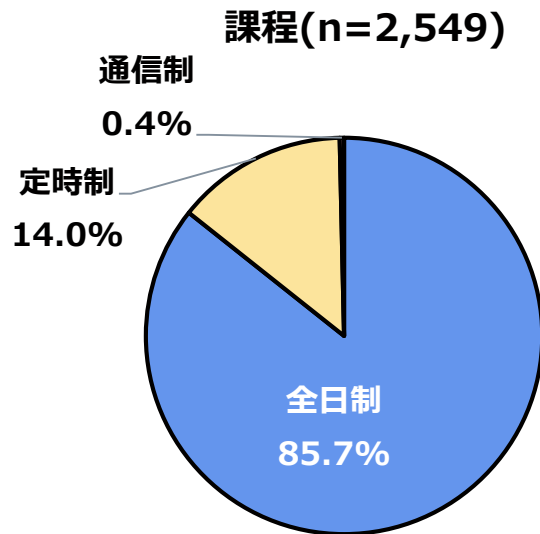
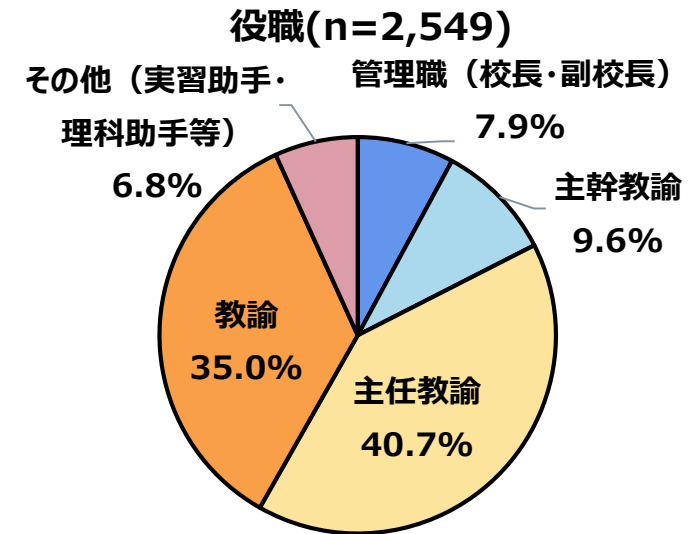
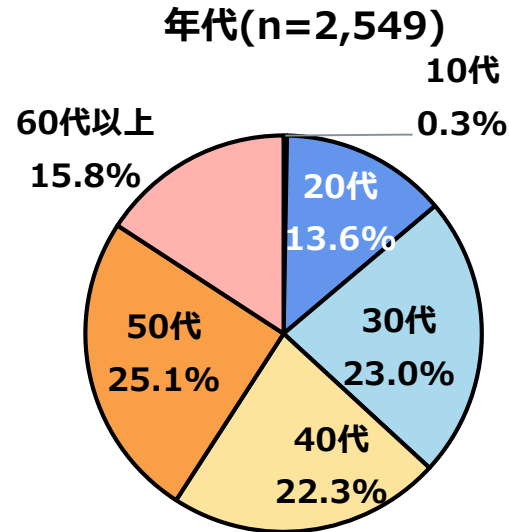
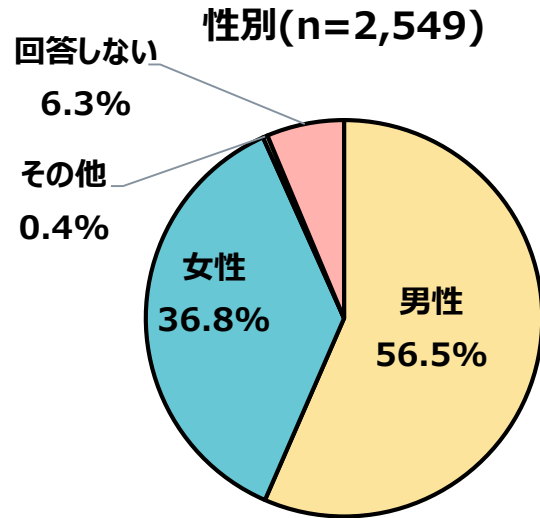
仮説④ 「性別による思い込み」は、周囲の大人からの影響に限らず、マスメディアなどからの情報、友人、同僚などの言動による影響が見られる。

男女ともに親や友人、インターネットやSNSなど、**多様な人々・多様な媒体から「男性/女性らしい」という情報発信を感じており、影響を受けている蓋然性がある**と認められた。<P22、23>

II-2 教員調查結果

(1) 回答者属性	P31
(2) 「男性/女性だから」という意識について	P32
(3) 自身のキャリアについて	P36
(4) 校務など教員の職務に関することについて	P40
(5) 生徒の進路・職業選択に関することについて	P43
(6) 保護者に関することについて	P53
(7) 周囲からの影響による「男性/女性だから」という意識の形成について	P54
(8) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について	P55
(9) 分析結果まとめ	P57

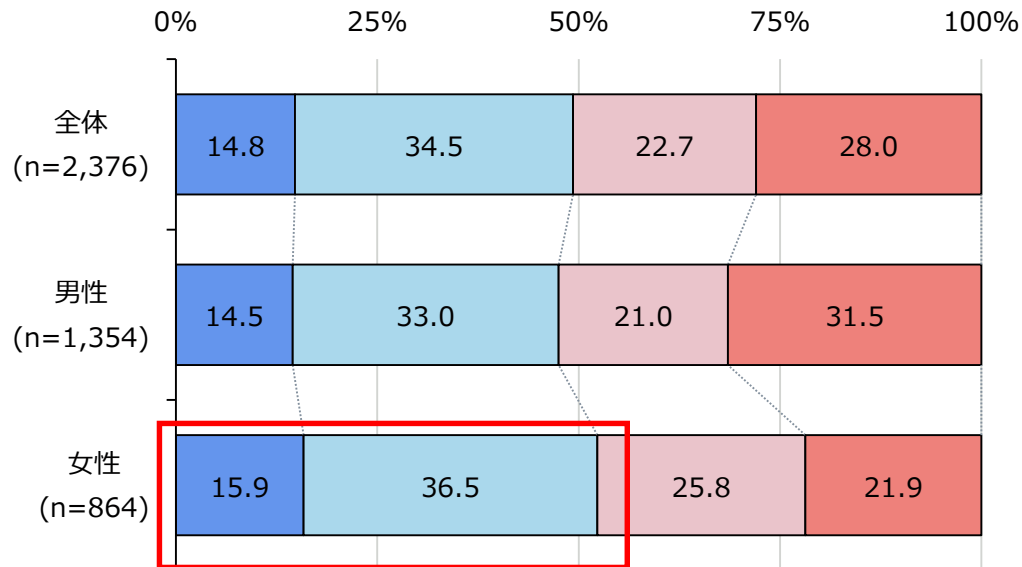
(1) 回答者属性



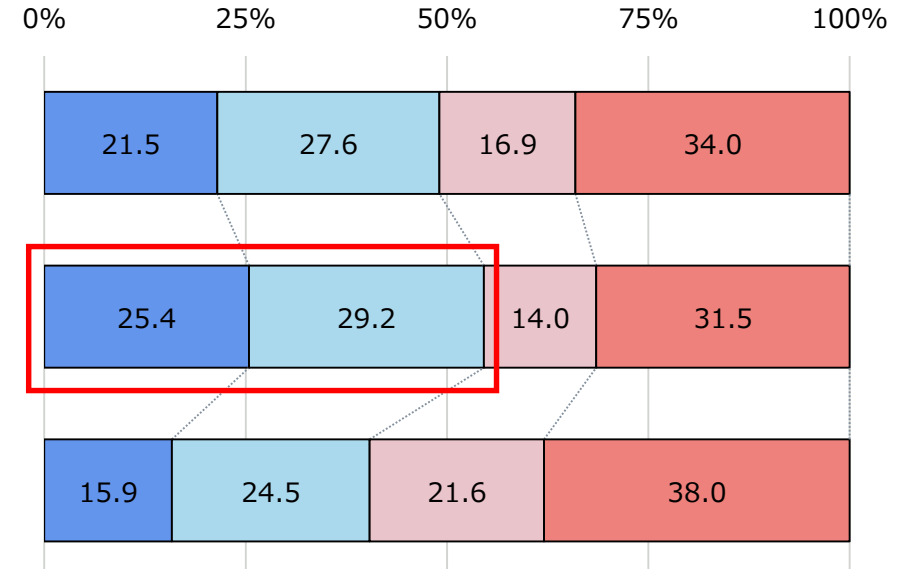
- 生徒への指導による影響の調査を目的としているため、属性(役職)で「その他(実習助手・理科助手等)」と回答したものを省き分析を行った。
- 担当科目による分析では、数学と理科を「理系教科」、国語・地理歴史・公民・外国語を「文系教科」、その他の科目を「その他」とし分析を行った。

(2) 「男性/女性だから」という意識について

4. 「男性だから」「女性だから」と思うことがある



5. 性別を理由に、思ったことを言えなかったことがある



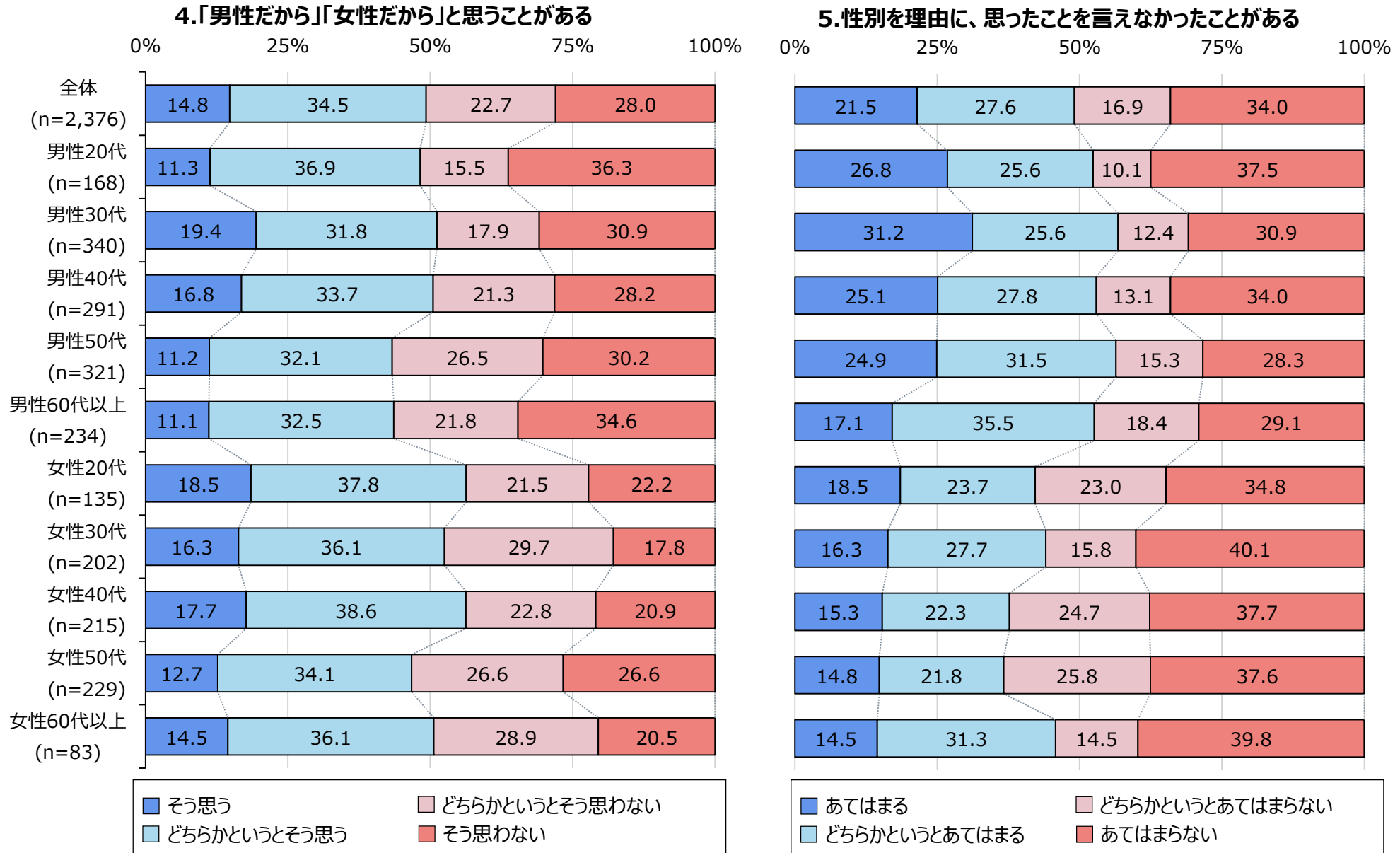
■ そう思う/あてはまる ■ どちらかというと思わない/どちらかというにあてはまらない
■ どちらかというと思う/どちらかというにあてはまる ■ そう思わない/あてはまらない

● 女性の方が性別を意識する傾向にある。

● ただし、「性別を理由に思ったことを言えなかった」経験は、男性の方が<あてはまる>割合が高い。

※ <あてはまる> = 「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」

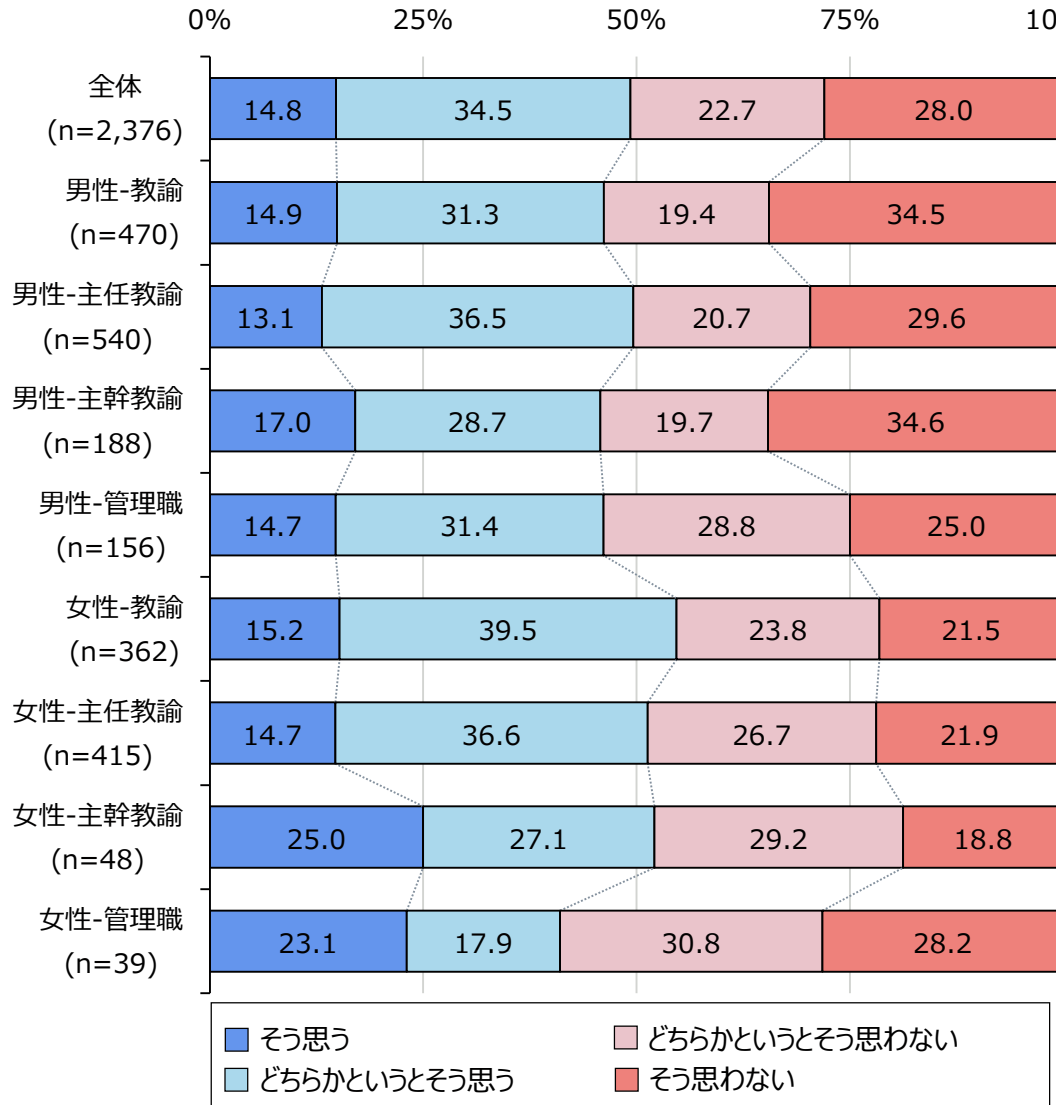
(2) 「男性/女性だから」という意識について（年代別の比較）



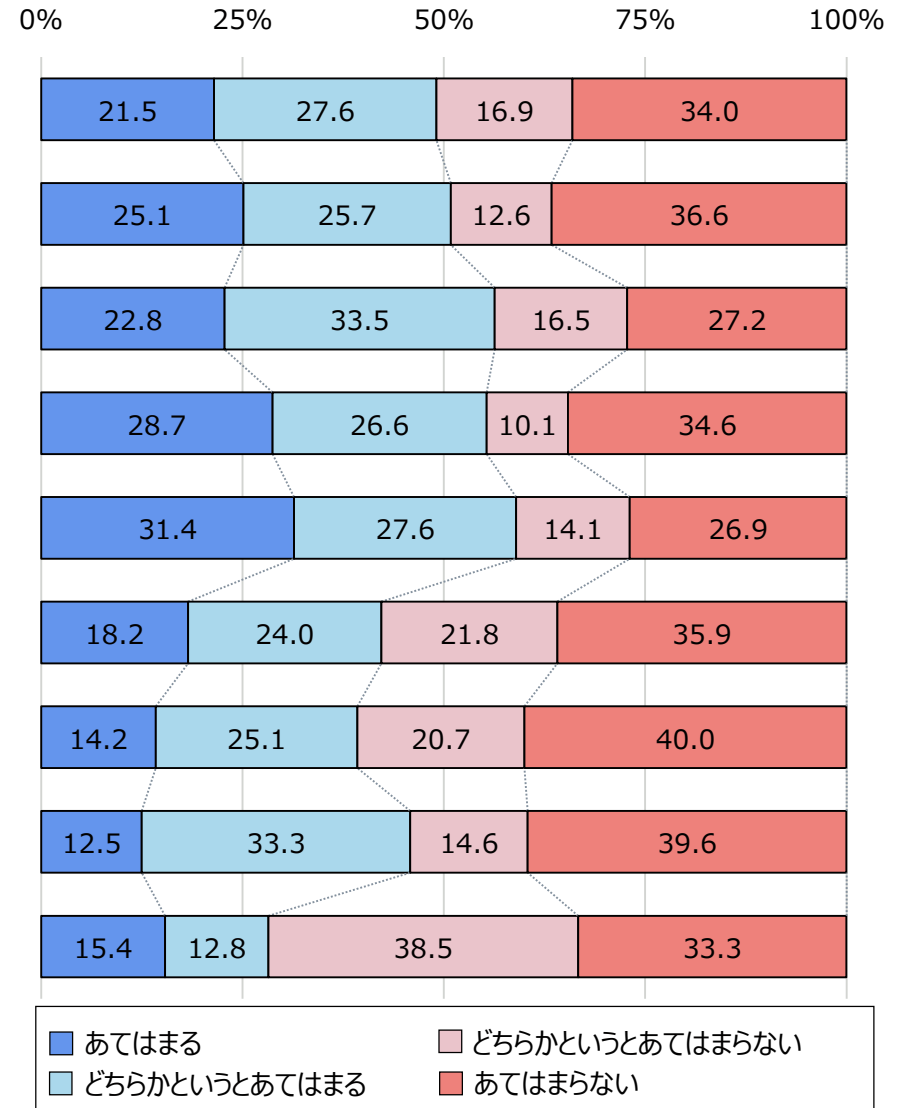
●「男性/女性だから」という意識について、年代による違いは見られなかった。

(2) 「男性/女性だから」という意識について（役職別の比較）

4. 「男性だから」「女性だから」と思うことがある



5. 性別を理由に、思ったことを言えなかったことがある

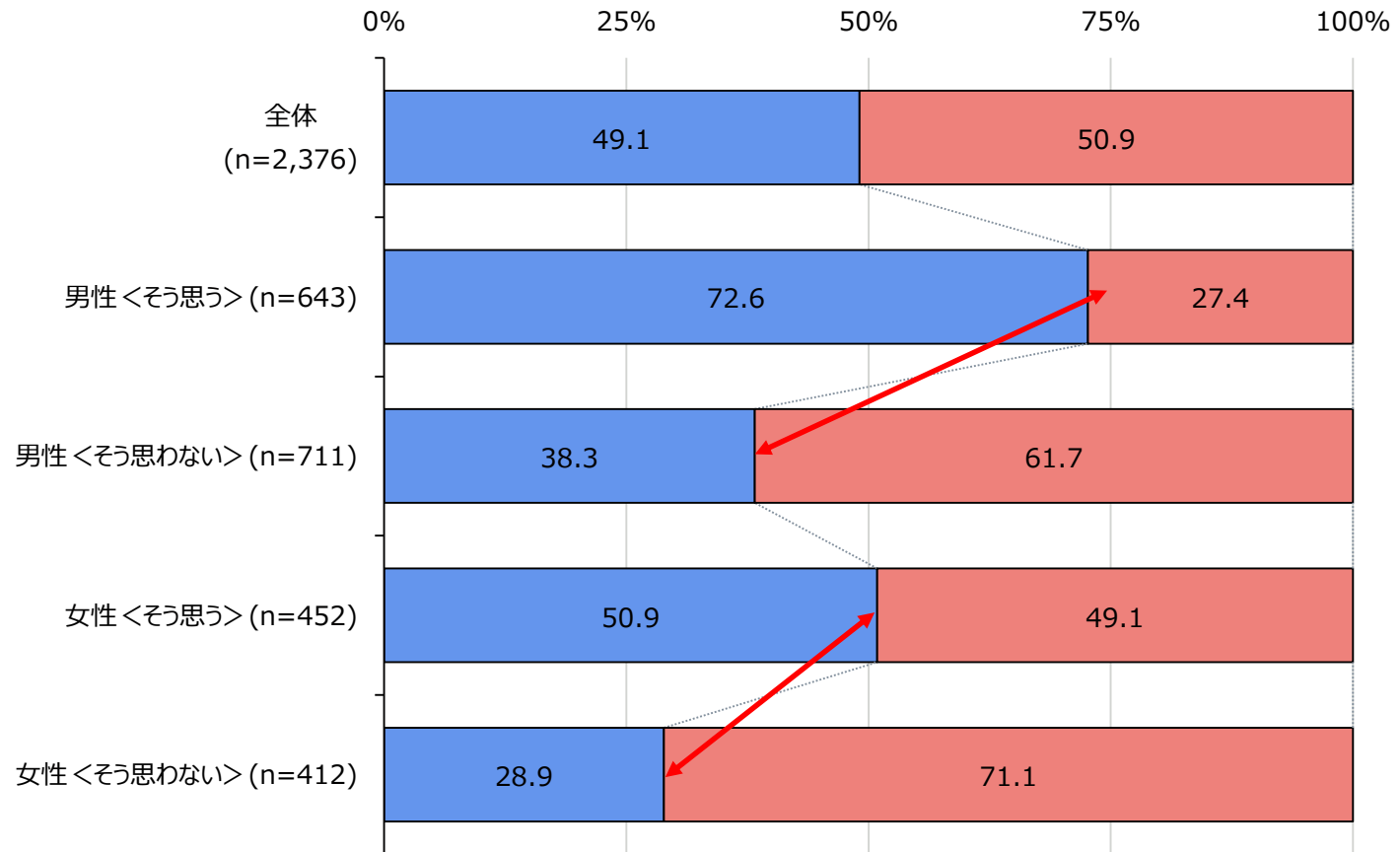


●「男性/女性だから」という意識について、役職による違いは見られなかった。

(2) 「男性/女性だから」という意識について（「男性/女性だから」という意識の影響）

4. 「男性だから」「女性だから」と思うことがある

5. 性別を理由に、思ったことを言えなかったことがある

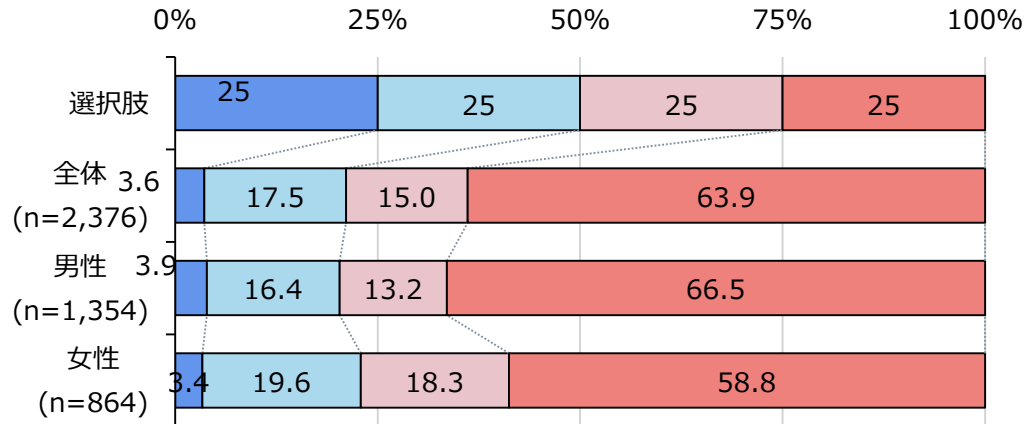


■ <あてはまる> = あてはまる + どちらかというにあてはまる
■ <あてはまらない> = どちらかというにあてはまらない + あてはまらない

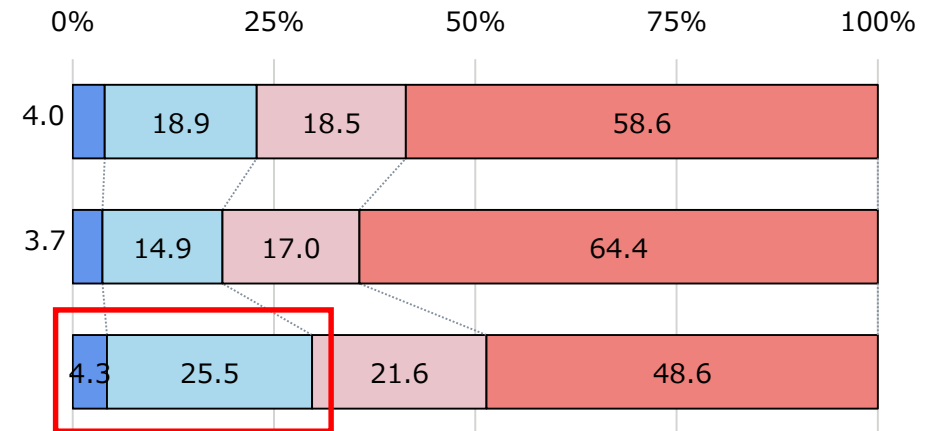
●「男性/女性だから」と思う人の方が、「性別を理由に、思ったことが言えなかった」傾向にある。

(3) 自身のキャリアについて

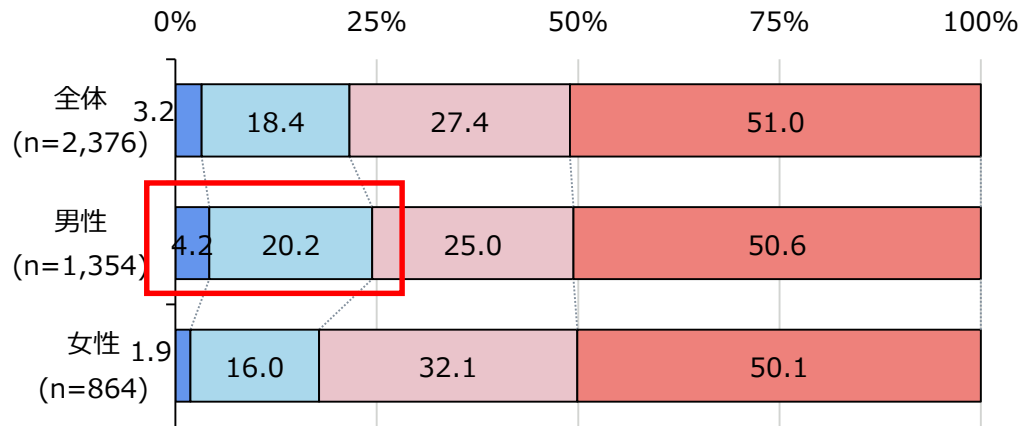
1. 男性の方が管理職に向いていると思う



2. キャリア選択の際に、「男性だから」「女性だから」と、性別で選ぶようにすることがある



3. プライベートより仕事を優先したほうが良いと思う



- そう思う/あてはまる
- どちらかというと思う/どちらかというにあてはまる
- どちらかというと思わない/どちらかというにあてはまらない
- そう思わない/あてはまらない

● 女性の方が、キャリア選択時に性別で選ぶようにする傾向にある。

● 男性の方が、「プライベートよりも仕事を優先したほうが良い」と思う傾向にある。

(3) 自身のキャリアについて（年代別の比較）

1. 男性の方が管理職に向いていると思う

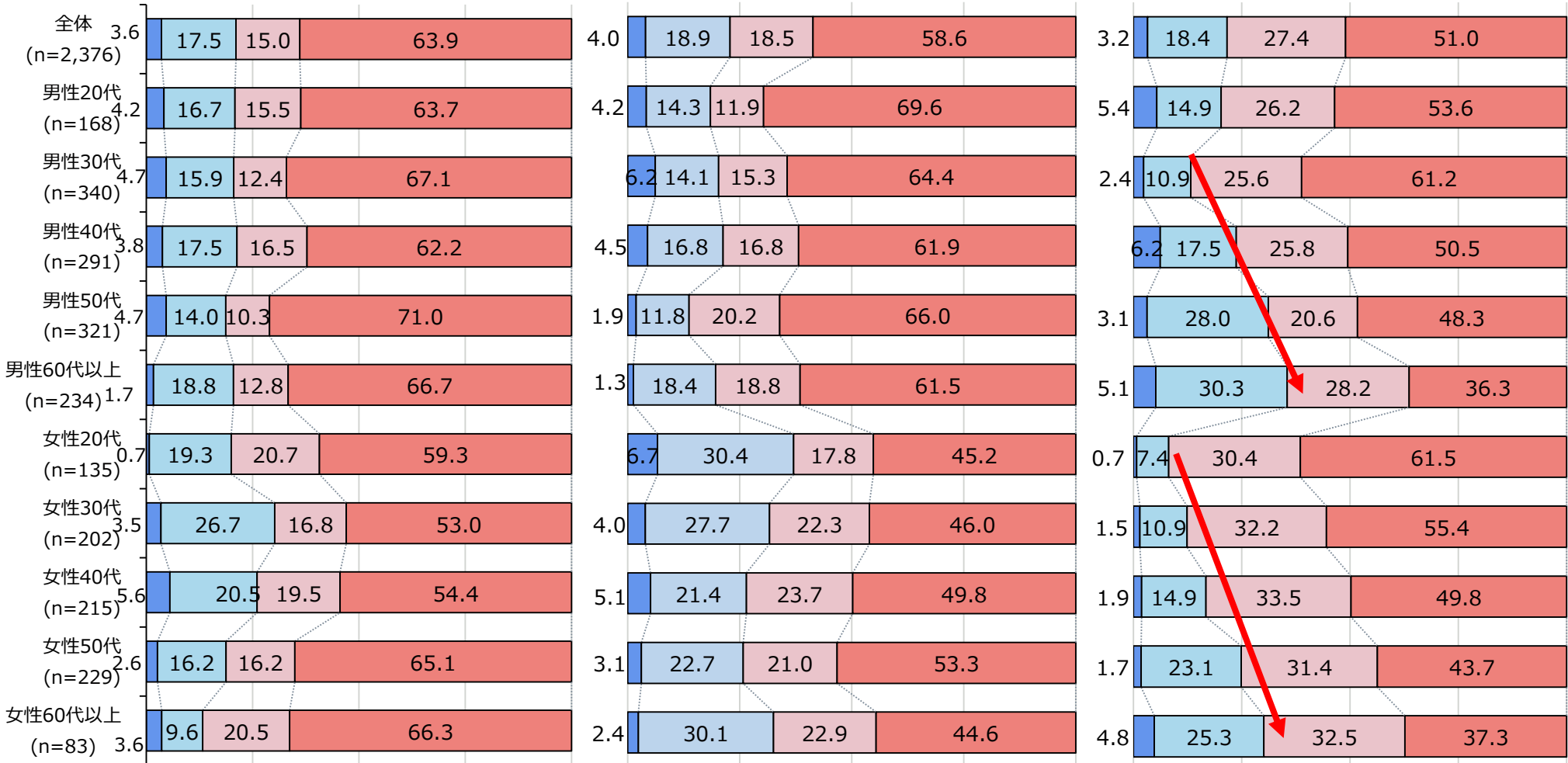
0% 25% 50% 75% 100%

2. キャリア選択の際に、「男性だから」「女性だから」と、性別で選ぶとすることがある

0% 25% 50% 75% 100%

3. プライベートより仕事を優先したほうが良いと思う

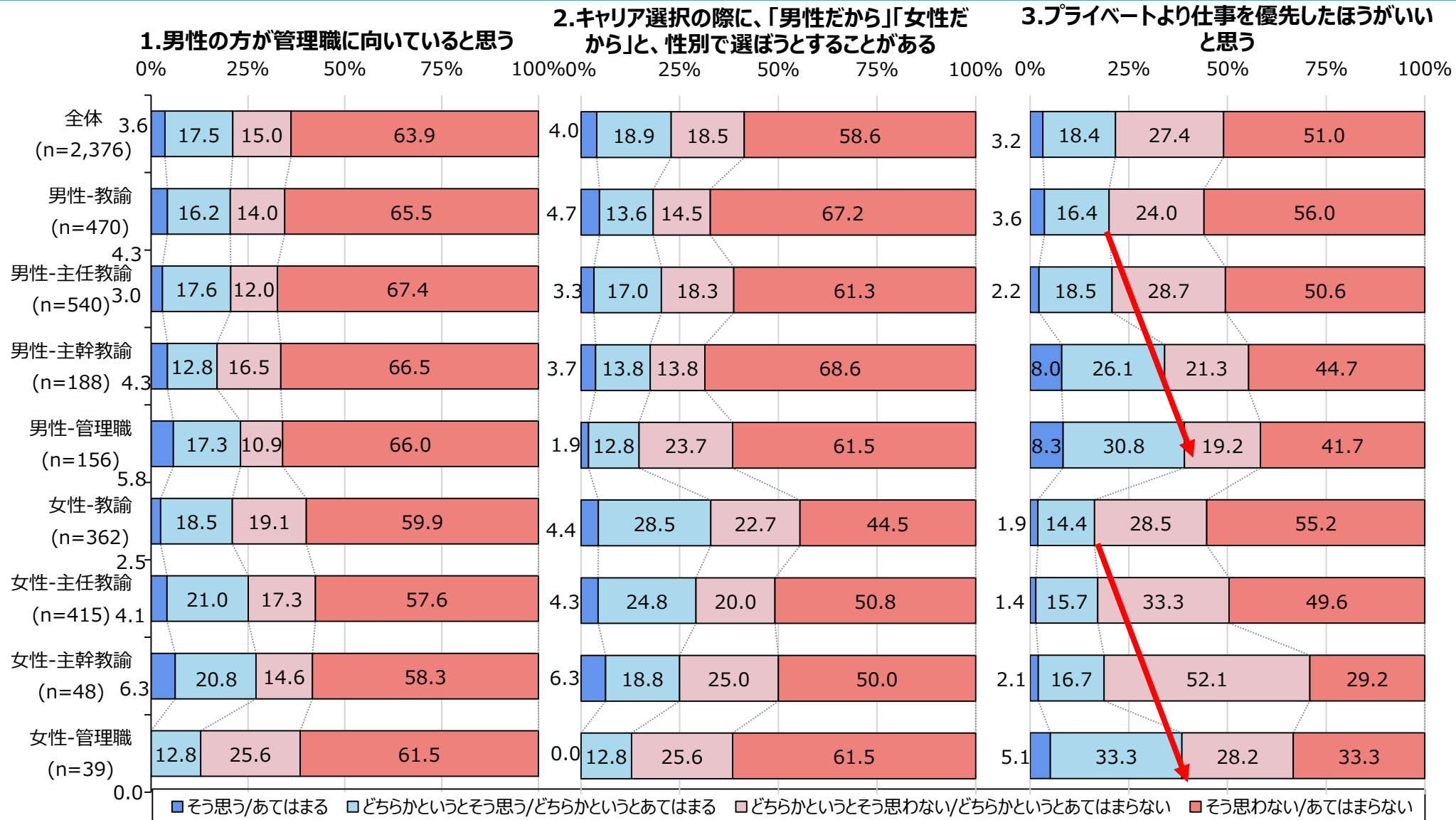
0% 25% 50% 75% 100%



■ そう思う/あてはまる □ どちらかというと思う/どちらかというにあてはまる □ どちらかというと思わない/どちらかというにあてはまらない ■ そう思わない/あてはまらない

● 男女ともに、年齢が上がるごとに、「プライベートよりも仕事を優先したほうが良い」と思う傾向にある。

(3) 自身のキャリアについて（役職別の比較）



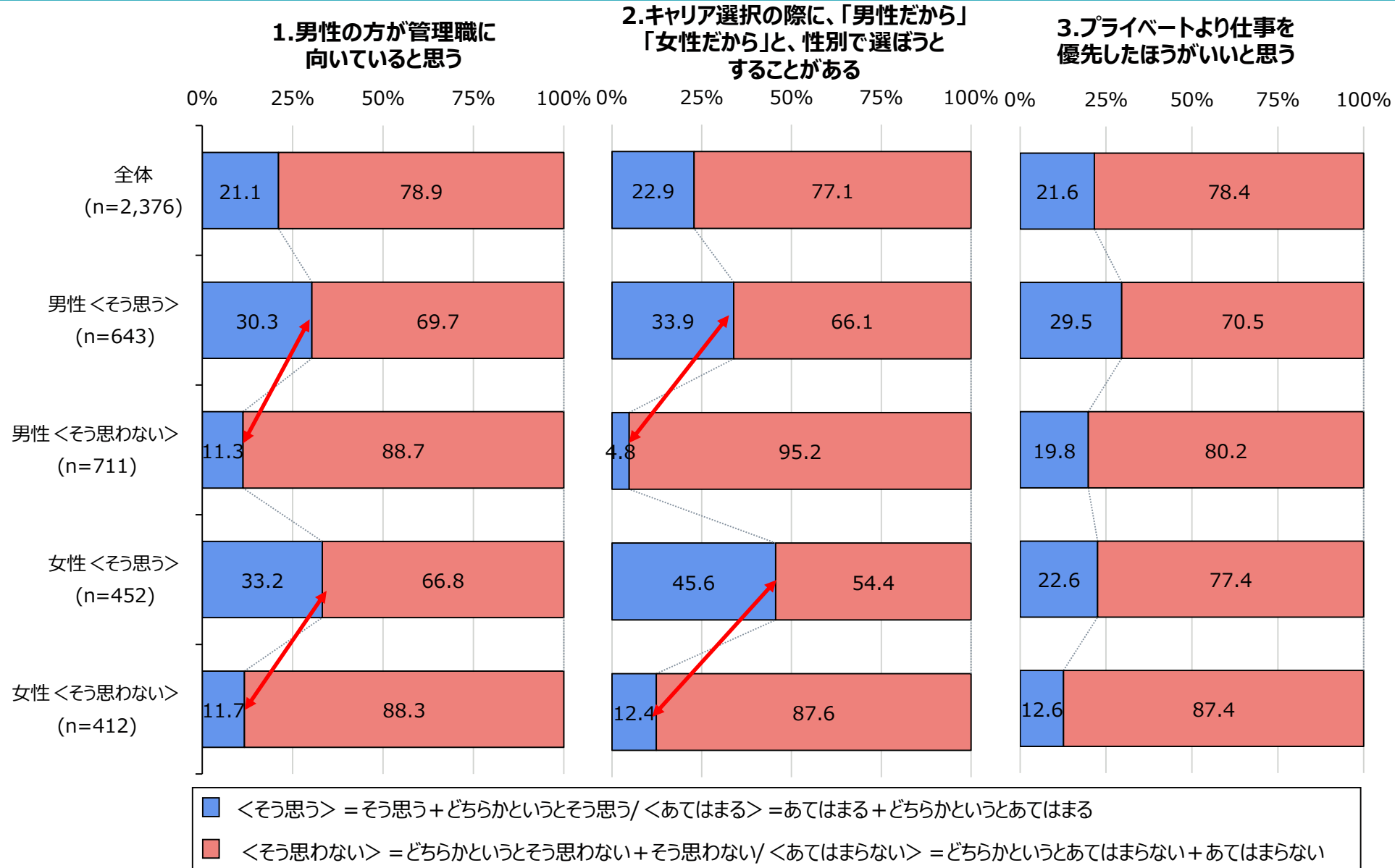
● 男女ともに、役職が上がるごとに、「プライベートよりも仕事を優先したほうがいい」と思う傾向にある。

● 特に、管理職は男女ともに4割近くが「そう思う」と回答した。

※ <そう思う> = 「そう思う」+「どちらかというと思う」

(3) 自身のキャリアについて（「男性/女性だから」という意識の影響）

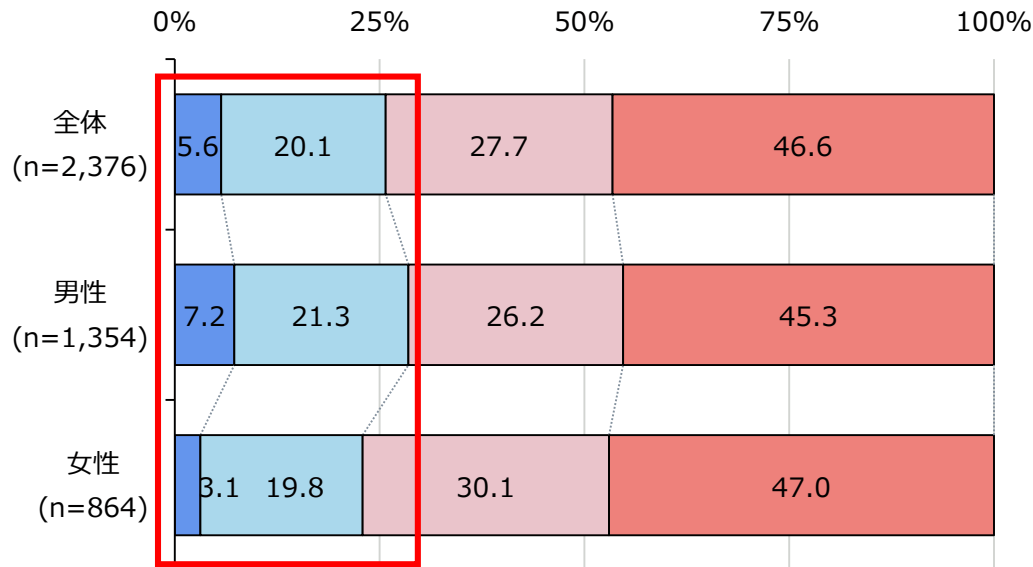
4. 「男性だから」「女性だから」と思うことがある



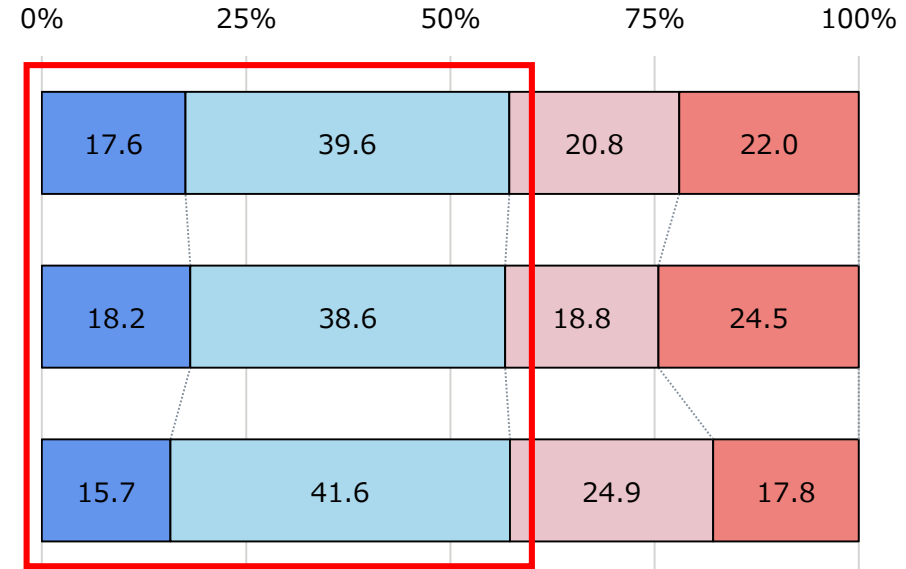
●「男性/女性だから」と思う人の方が、管理職の向き不向きや、キャリア選択で性別を意識する傾向にある。

(4) 校務など教員の職務に関することについて

6. 性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う



7. 性別で仕事の役割が分けられていることがある



■ そう思う/あてはまる ■ どちらかというと思わない/どちらかというにあてはまらない
■ どちらかというと思おう/どちらかというにあてはまる ■ そう思わない/あてはまらない

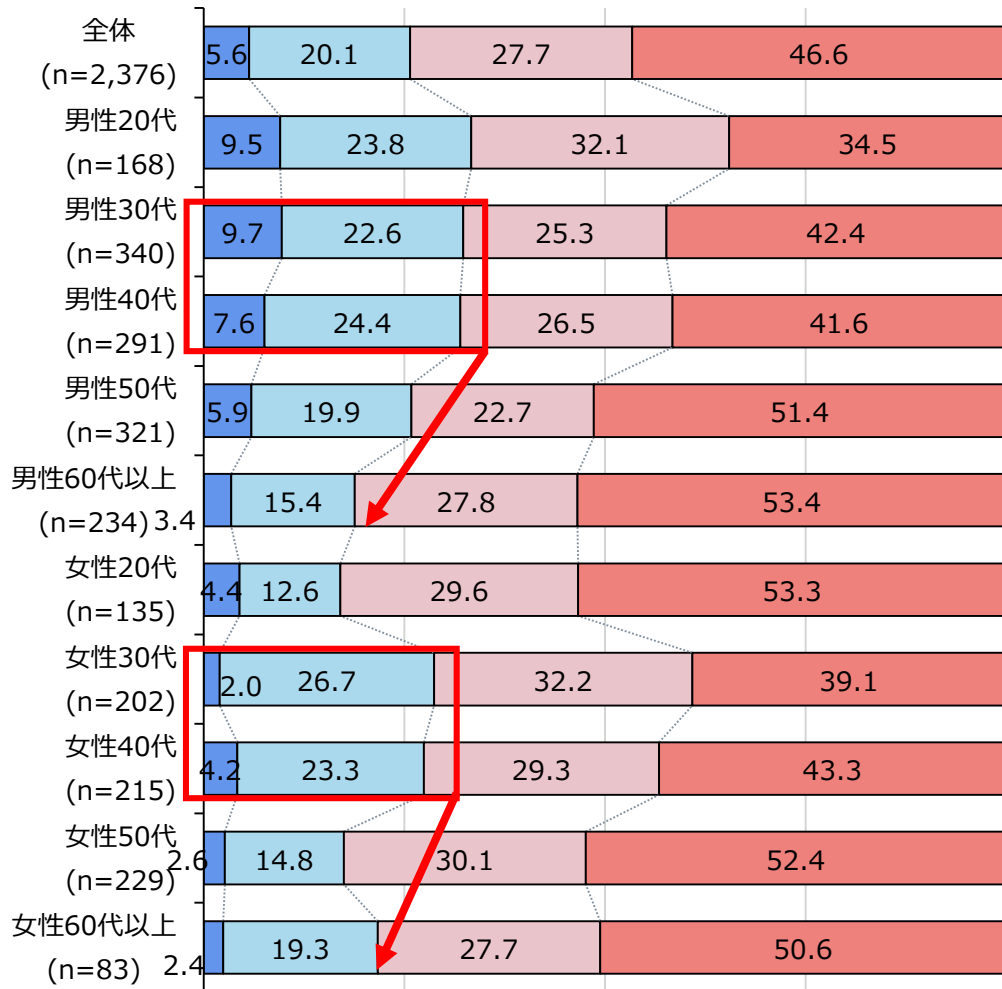
●「性別により仕事の役割を分けたほうがいい」は男女ともに3割以下にとどまるが、実際に「性別で仕事の役割が分けられていることがある」は約6割が「あてはまる」と回答した。

※ <あてはまる> = 「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」

(4) 校務など教員の職務に関することについて（年代別の比較）

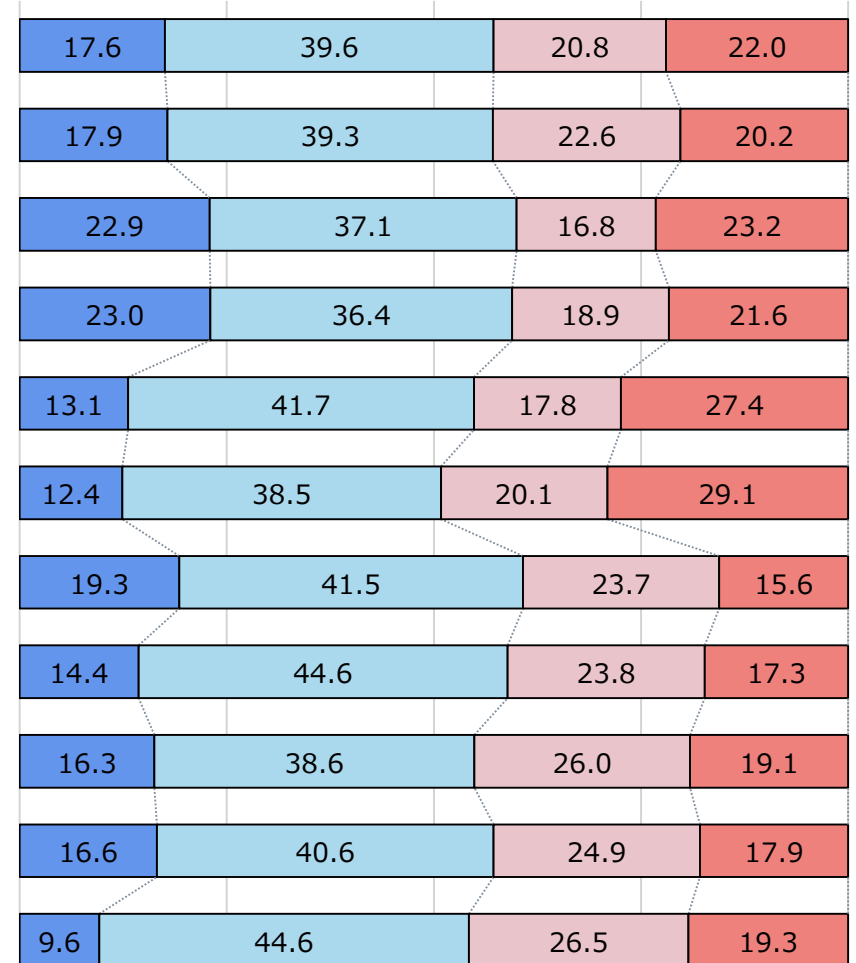
6.性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う

0% 25% 50% 75% 100%



7.性別で仕事の役割が分けられていることがある

0% 25% 50% 75% 100%



■ そう思う/あてはまる

■ どちらかというと思う/どちらかというにあてはまる

■ どちらかというと思わない/どちらかというにあてはまらない

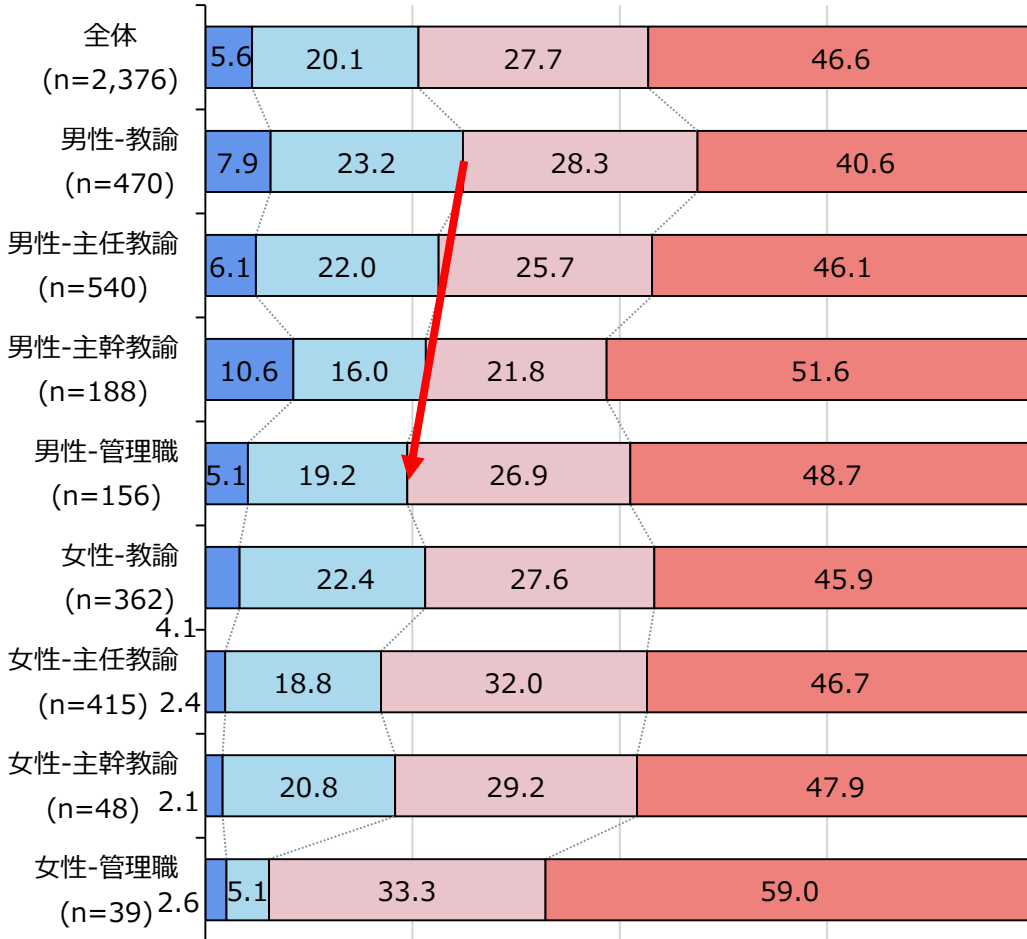
■ そう思わない/あてはまらない

●男女ともに、「性別により仕事の役割を分けたほうがいい」と思う割合は30・40代で高く、50代以上で低い。

(4) 校務など教員の職務に関することについて（役職別の比較）

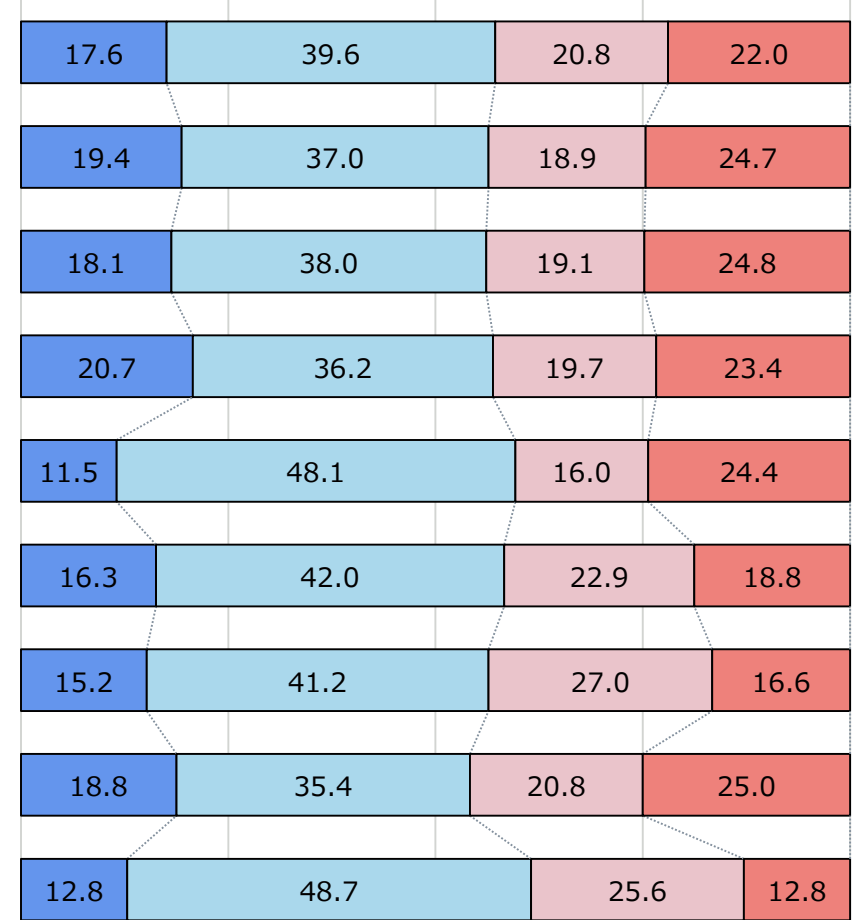
6. 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う

0% 25% 50% 75% 100%



7. 性別で仕事の役割が分けられていることがある

0% 25% 50% 75% 100%

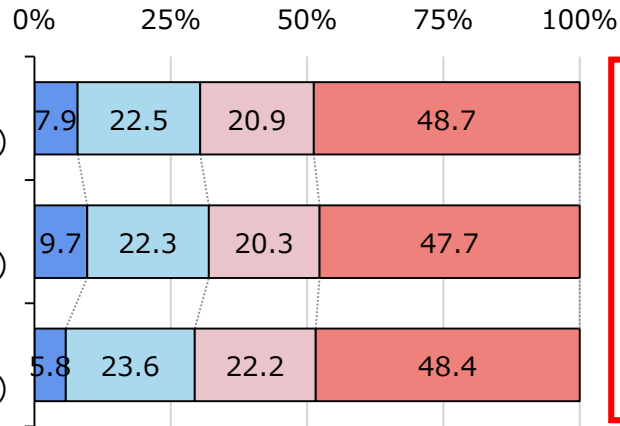


■ そう思う/あてはまる ■ どちらかというと思う/どちらかというにあてはまる
■ どちらかというと思う/どちらかというにあてはまらない ■ そう思わない/あてはまらない

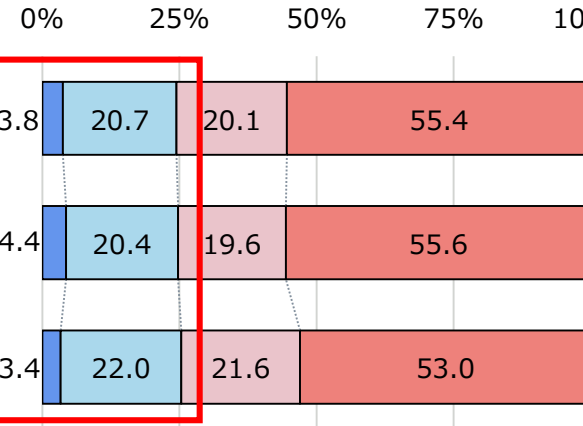
● 男性は、役職が高くなるほど「性別により仕事の役割を分けたほうが良い」と思う割合が減少した。

(5) 生徒の進路・職業選択に関することについて

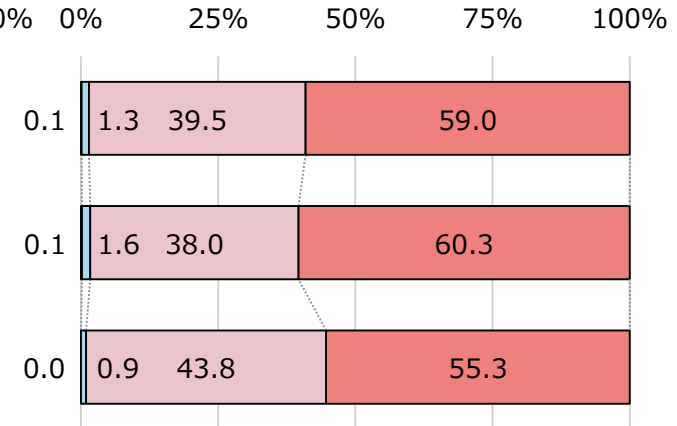
8. 性別で教科の得意、不得意があると思う



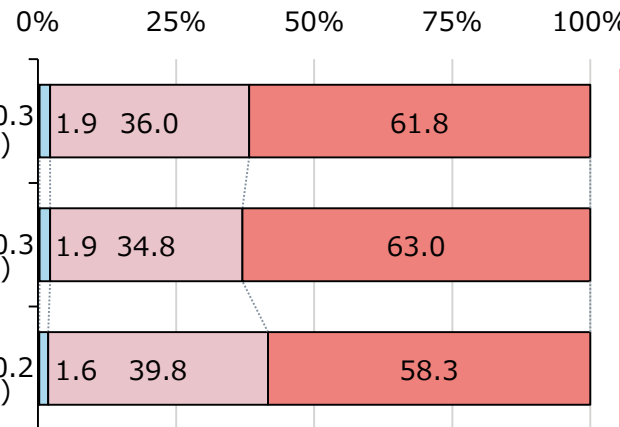
9. 理系科目は男性の方が得意だと思う



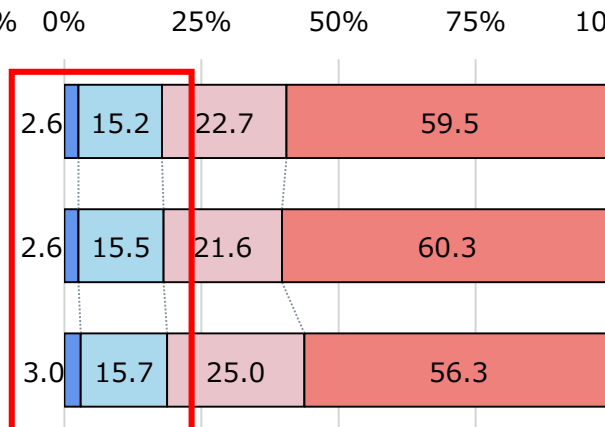
10. 理系科目は女性の方が得意だと思う



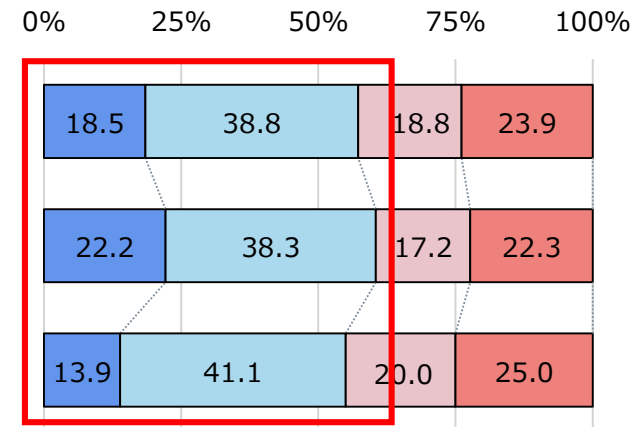
11. 文系科目は男性の方が得意だと思う



12. 文系科目は女性の方が得意だと思う



13. 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

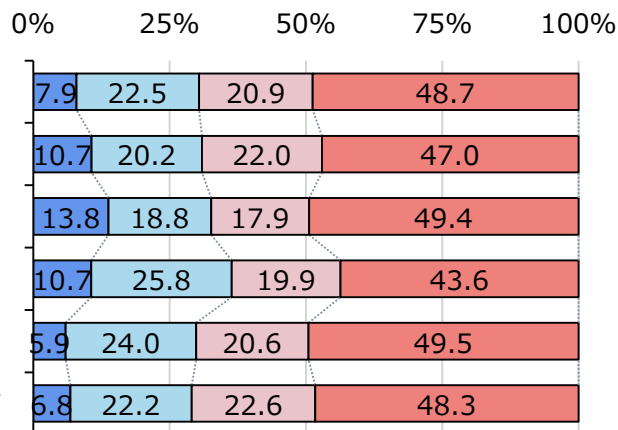


■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

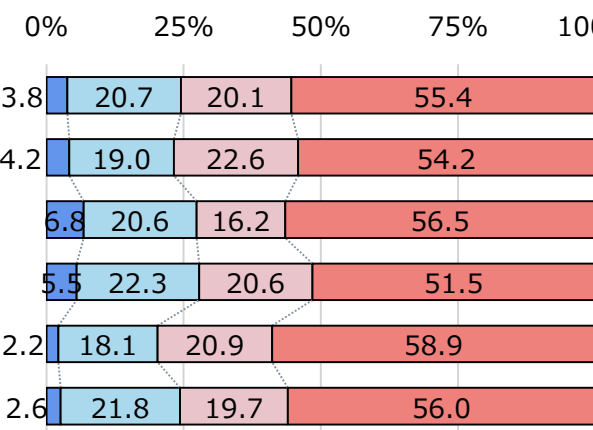
- 男女ともに、「理系は男性/文系は女性が得意だと思う」は約 2 割に留まっている。
- 一方で、「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」は約 6 割となった。

(5) 生徒の進路・職業選択に関することについて（年代別の比較）

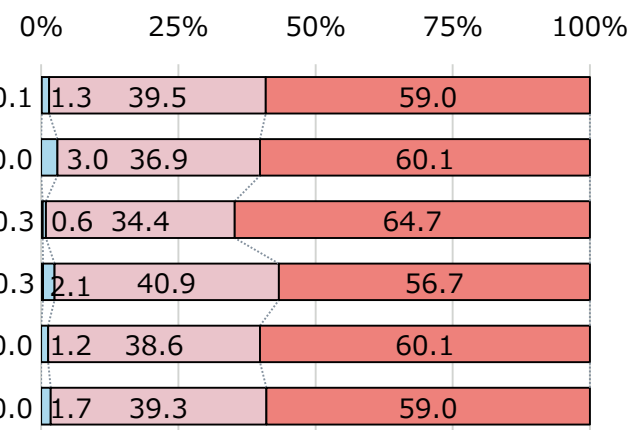
8. 性別で教科の得意、不得意があると思う



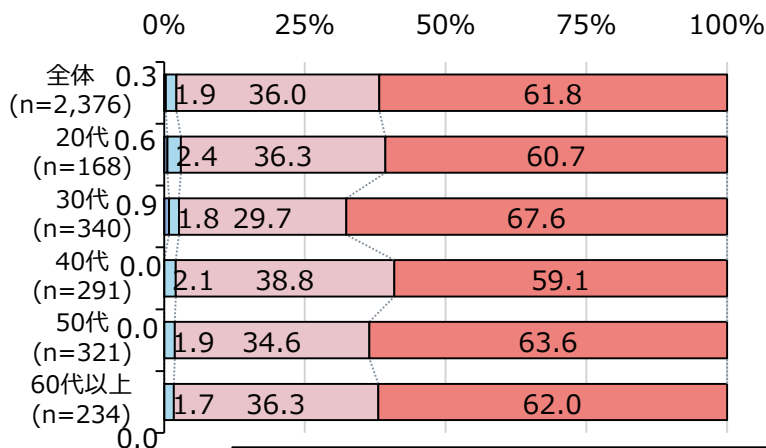
9. 理系科目は男性の方が得意だと思う



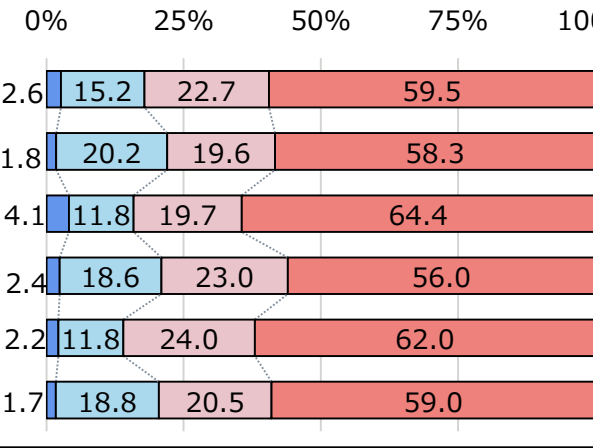
10. 理系科目は女性の方が得意だと思う



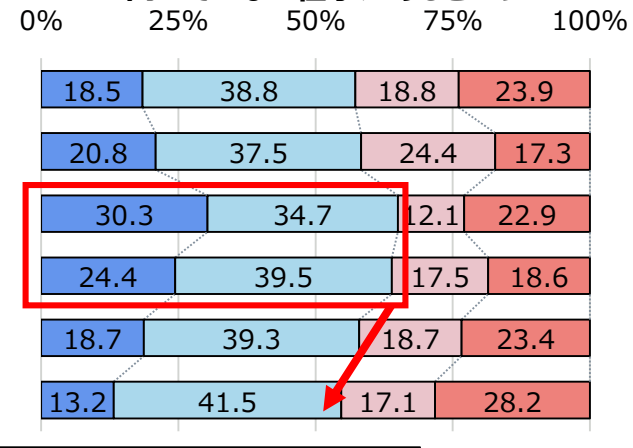
11. 文系科目は男性の方が得意だと思う



12. 文系科目は女性の方が得意だと思う



13. 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

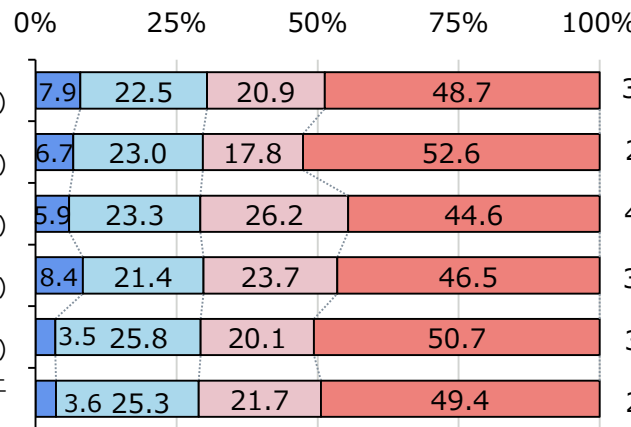


■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ■ そう思わない

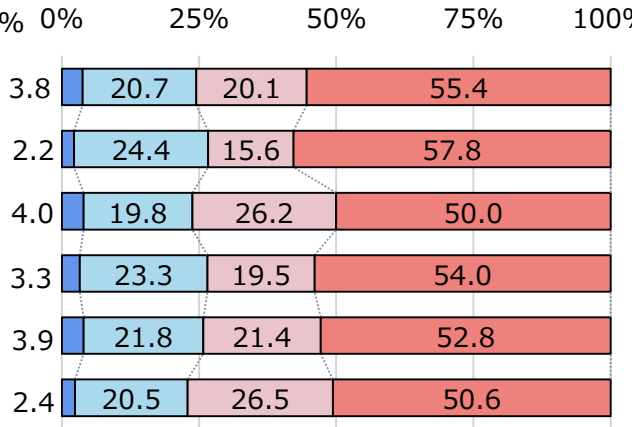
● 「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う割合は40代以下は高く、50代以上で低くなる傾向にある。

(5) 生徒の進路・職業選択に関することについて（年代別の比較）

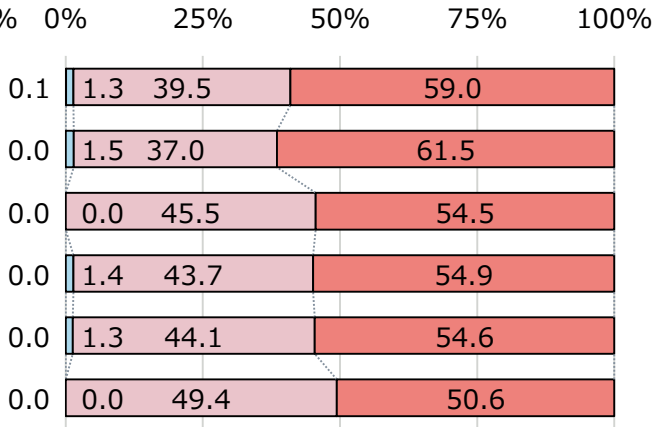
8. 性別で教科の得意、不得意があると思う



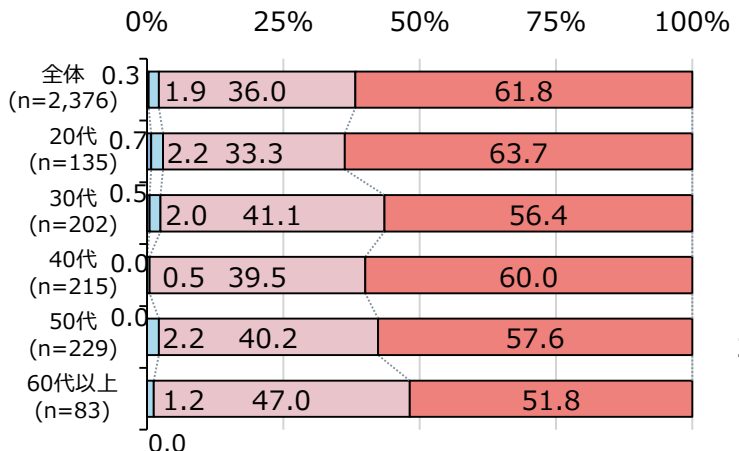
9. 理系科目は男性の方が得意だと思う



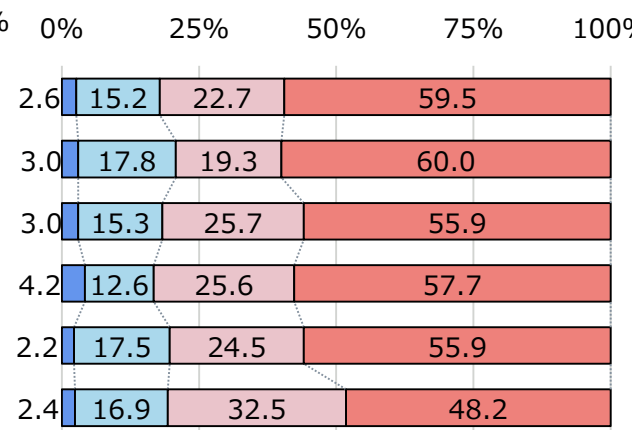
10. 理系科目は女性の方が得意だと思う



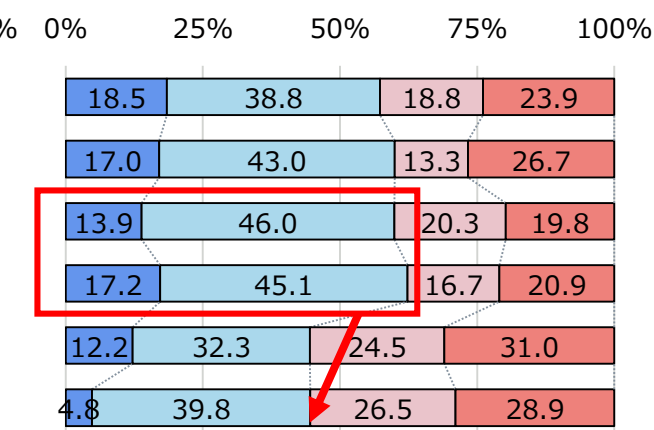
11. 文系科目は男性の方が得意だと思う



12. 文系科目は女性の方が得意だと思う



13. 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

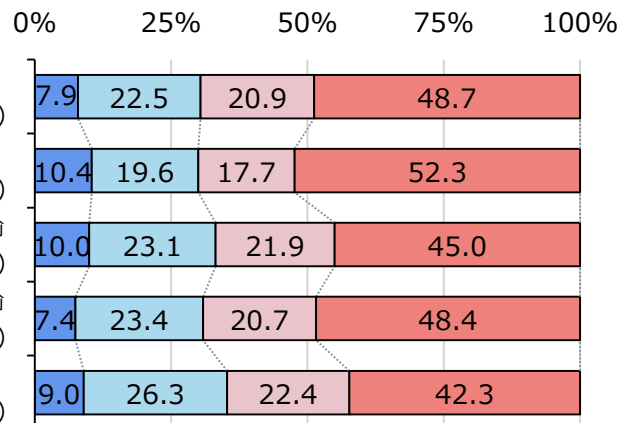


■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ■ そう思わない

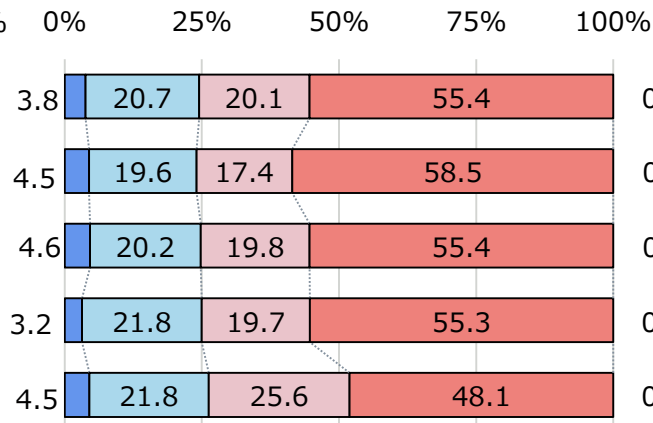
● 「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う割合は40代以下は高く、50代以上で低くなる傾向にある。

(5) 生徒の進路・職業選択に関することについて（役職別の比較）

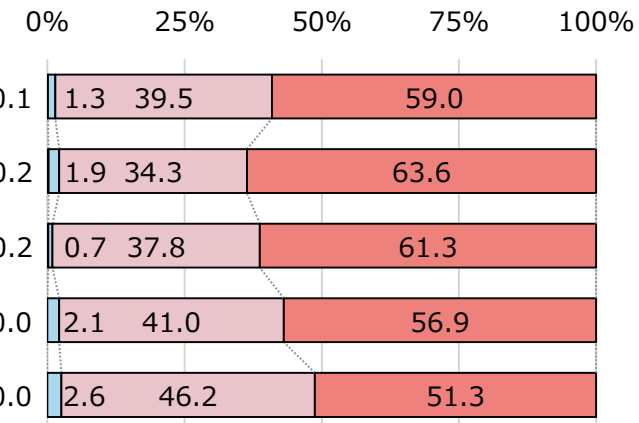
8. 性別で教科の得意、不得意があると思う



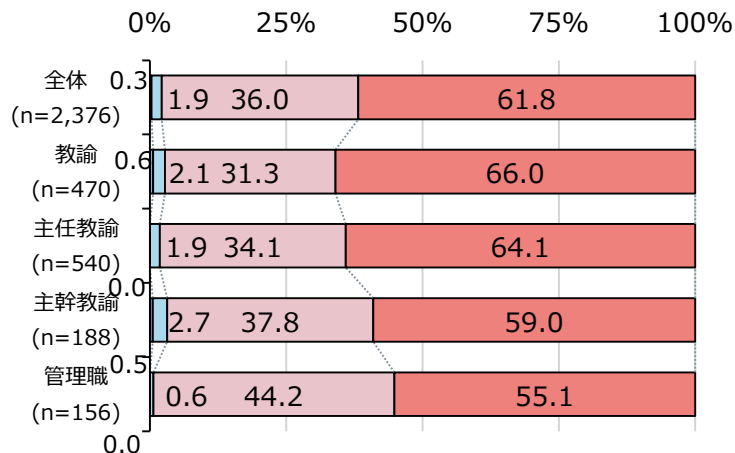
9. 理系科目は男性の方が得意だと思う



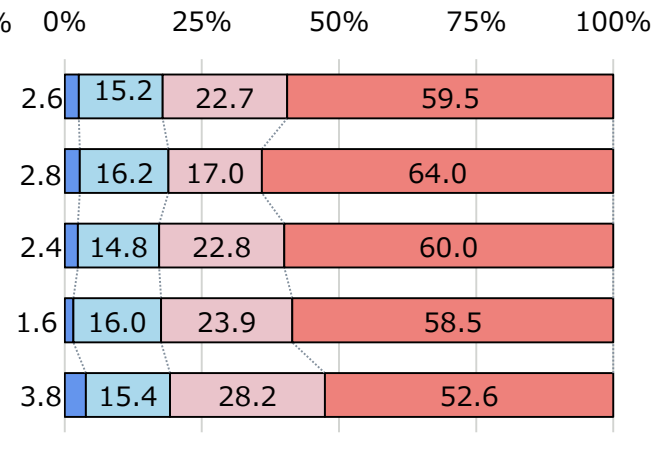
10. 理系科目は女性の方が得意だと思う



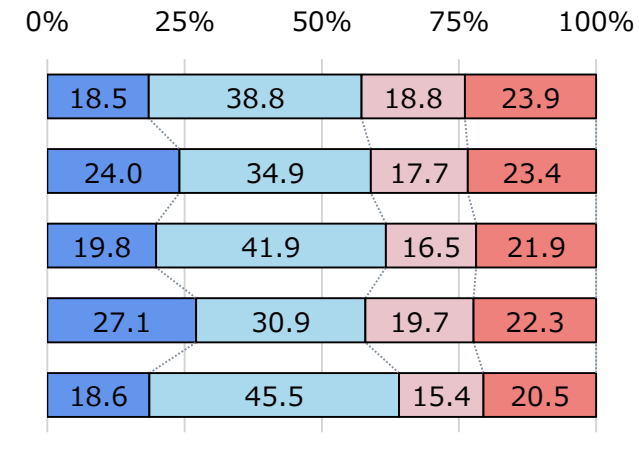
11. 文系科目は男性の方が得意だと思う



12. 文系科目は女性の方が得意だと思う



13. 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

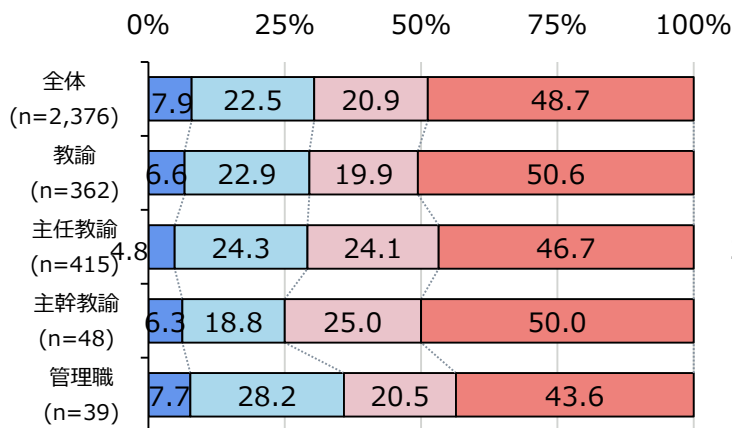


■ そう思う □ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ■ そう思わない

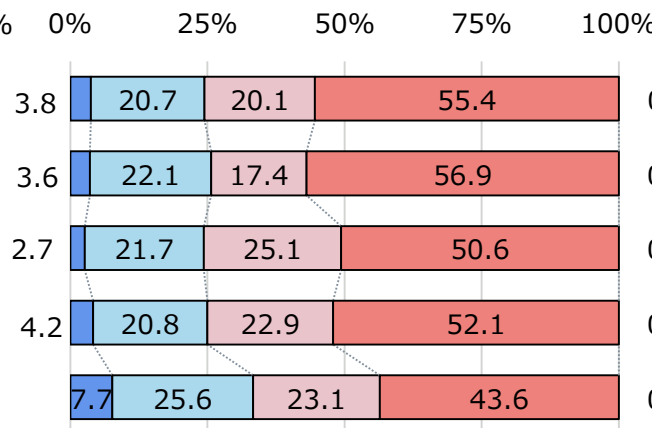
●「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」は、役職による違いは見られなかった。

(5) 生徒の進路・職業選択に関することについて（役職別の比較）

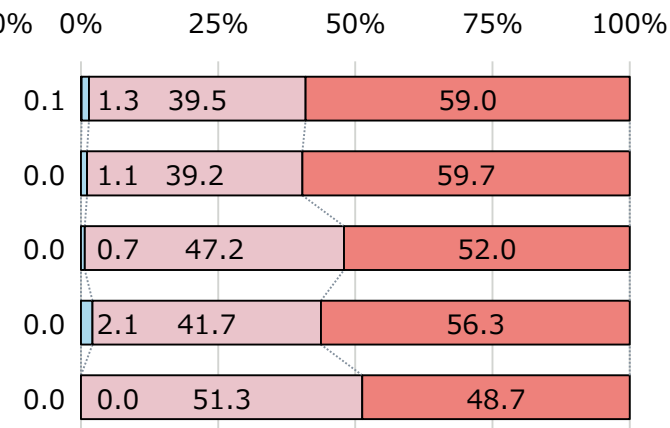
8. 性別で教科の得意、不得意があると思う



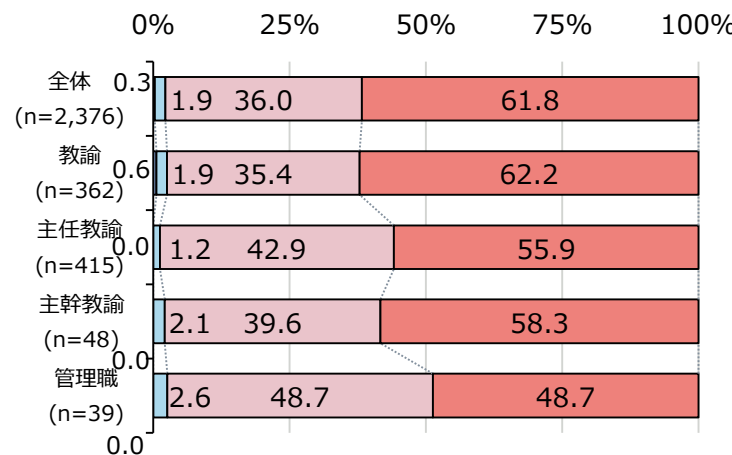
9. 理系科目は男性の方が得意だと思う



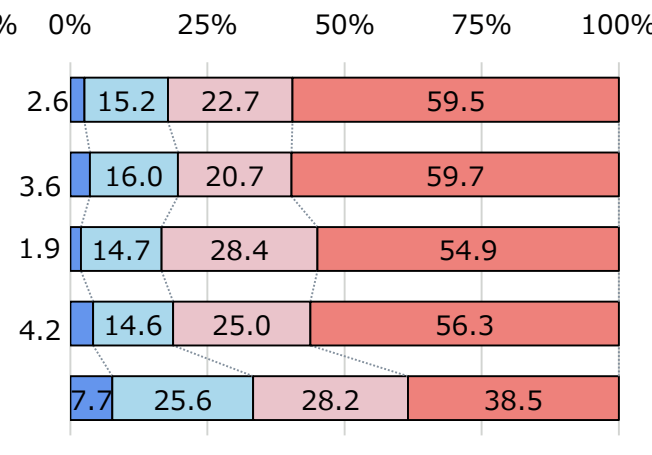
10. 理系科目は女性の方が得意だと思う



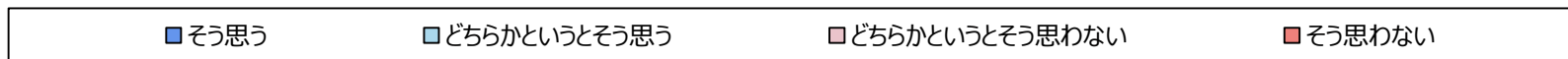
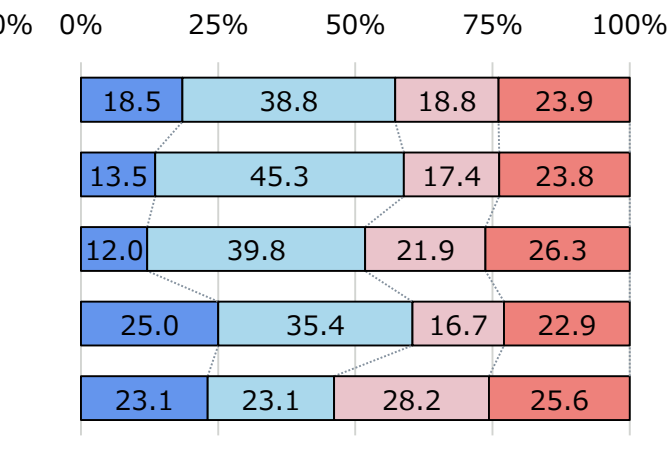
11. 文系科目は男性の方が得意だと思う



12. 文系科目は女性の方が得意だと思う

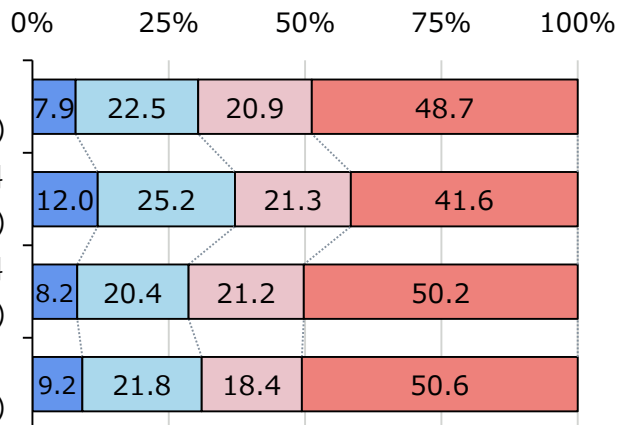


13. 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

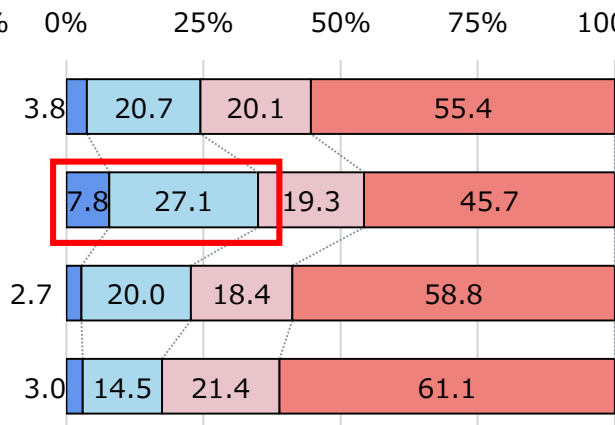


●「性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う」は、役職による違いは見られなかった。

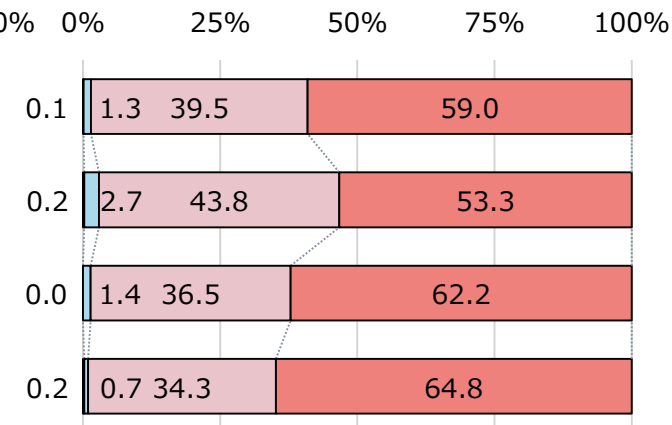
8.性別で教科の得意、不得意があると思う



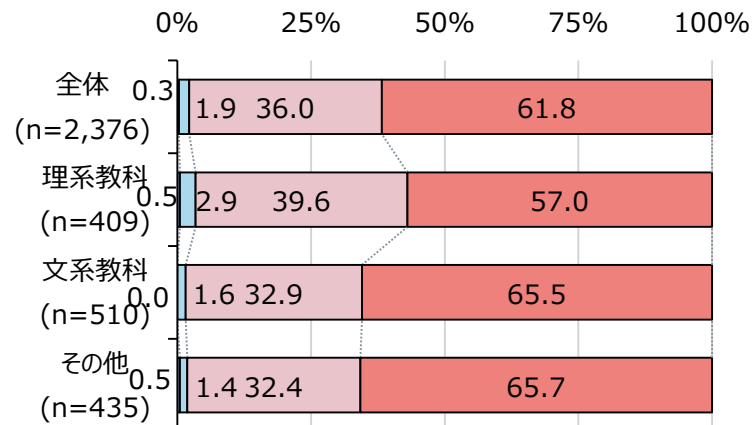
9.理系科目は男性の方が得意だと思う



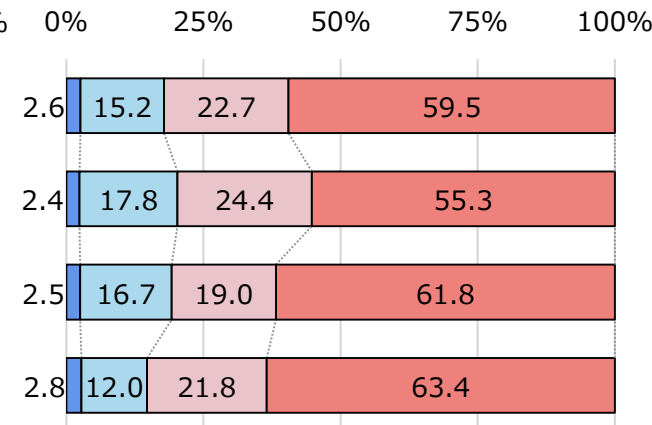
10.理系科目は女性の方が得意だと思う



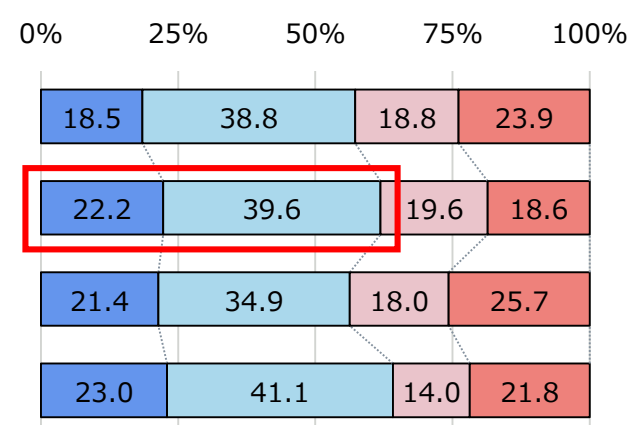
11.文系科目は男性の方が得意だと思う



12.文系科目は女性の方が得意だと思う



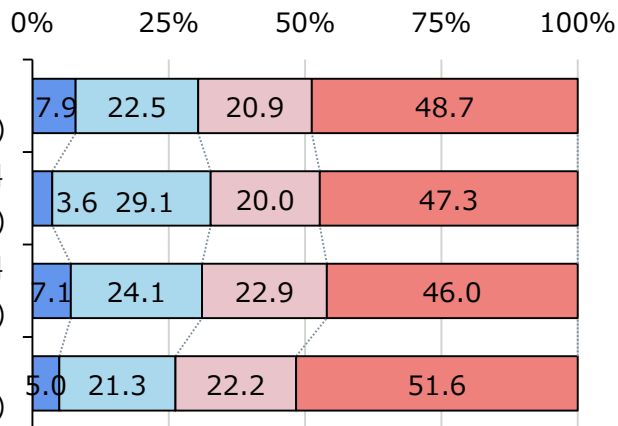
13.性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う



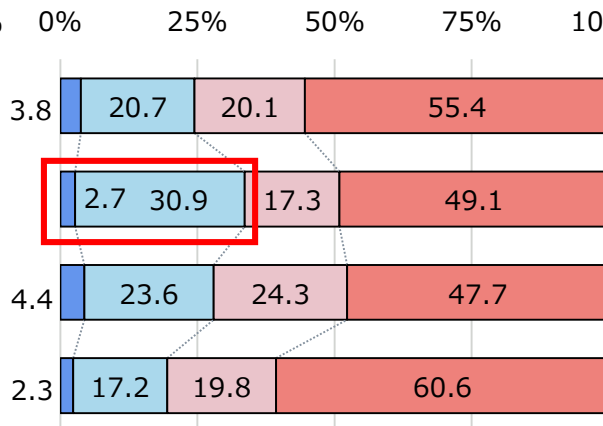
■ そう思う ■ どちらかというと思う □ どちらかというと思わない ■ そう思わない

● 理系教科の教員は「理系科目は男性の方が得意」と思う傾向、「性別で仕事の向き不向きがある」と思う傾向にある。

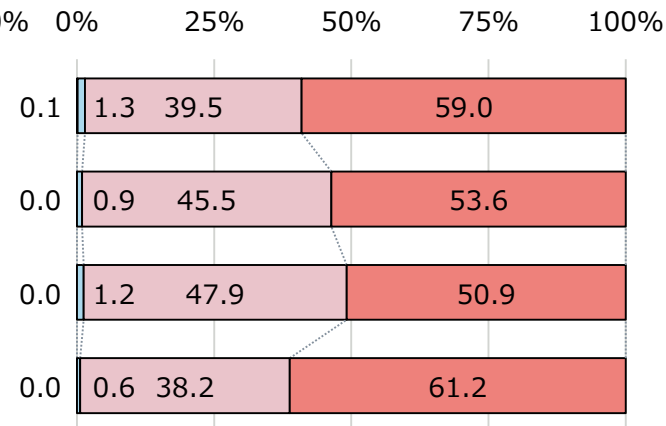
8.性別で教科の得意、不得意があると思う



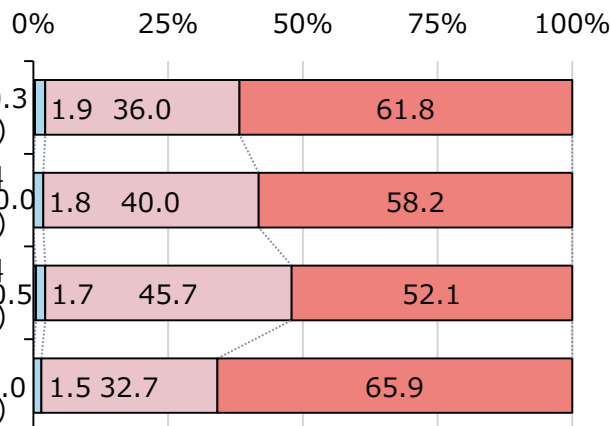
9.理系科目は男性の方が得意だと思う



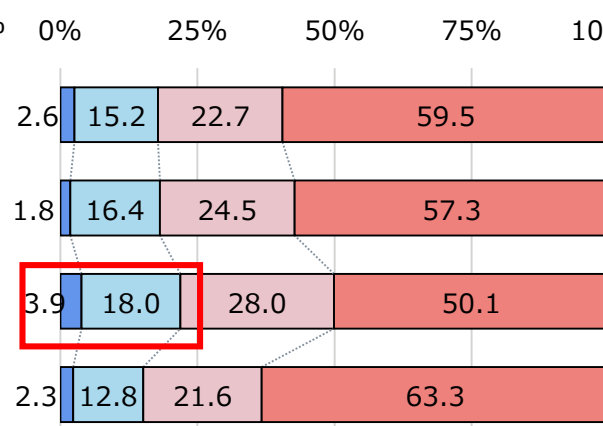
10.理系科目は女性の方が得意だと思う



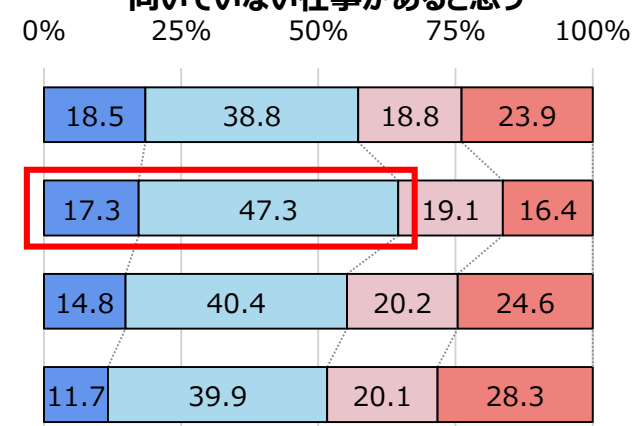
11.文系科目は男性の方が得意だと思う



12.文系科目は女性の方が得意だと思う



13.性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

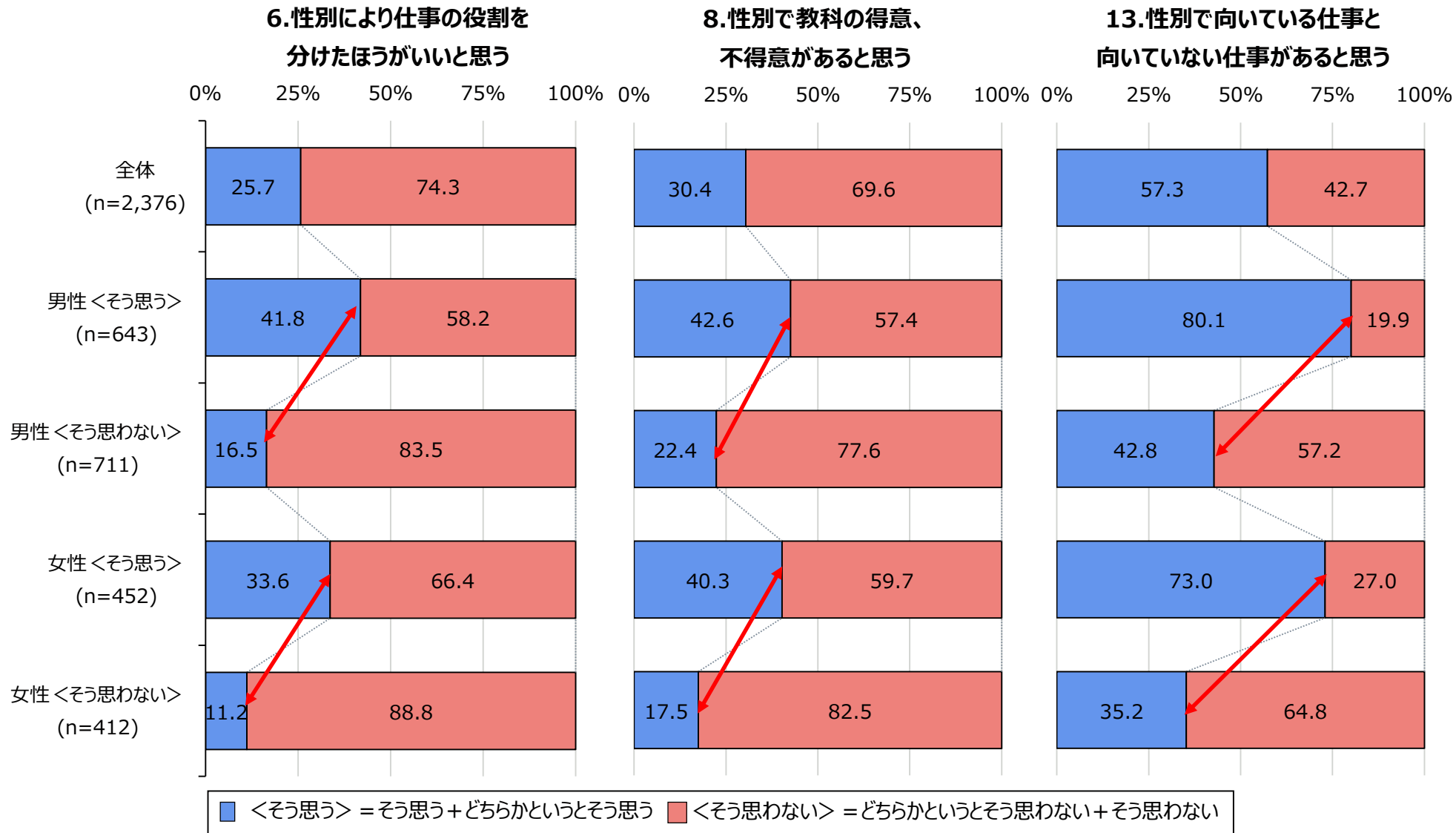


■ そう思う ■ どちらかというと思う ■ どちらかというと思わない ■ そう思わない

- 理系教科の教員は「理系科目は男性の方が得意」と思う傾向、「性別で仕事の向き不向きがある」と思う傾向にある。
- 文系教科の教員は「文系科目は女性の方が得意」と思う傾向にある。

(5) 生徒の進路・職業選択に関することについて（「男性/女性だから」という意識の影響）

4. 「男性だから」「女性だから」と思う人がめ



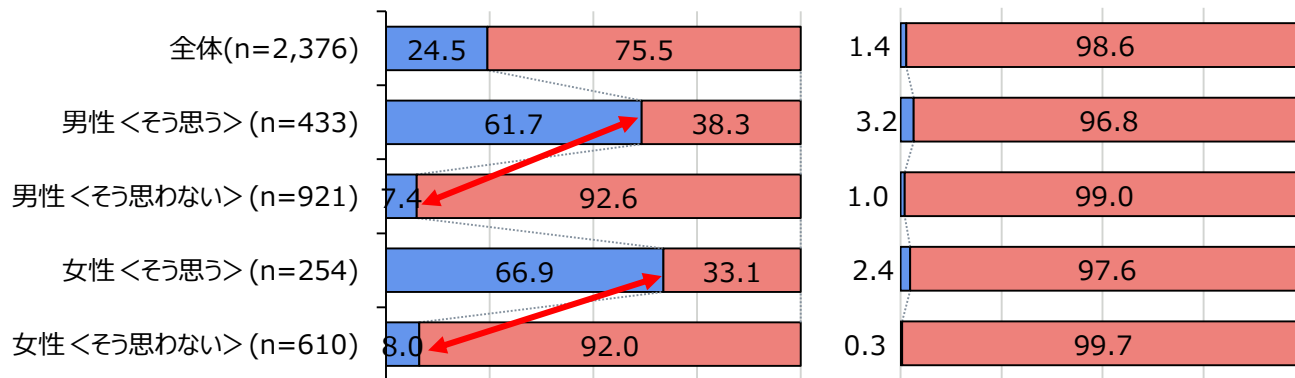
●「男性/女性だから」と思う人の方が、「教科の得意/不得意」・「仕事の向き/不向き」で性別を意識する傾向にある。

(5) 生徒の進路・職業選択に関することについて (「性別で教科の得意/不得意がある」という意識の影響)

8. 性別で教科の得意、不得意があると思う

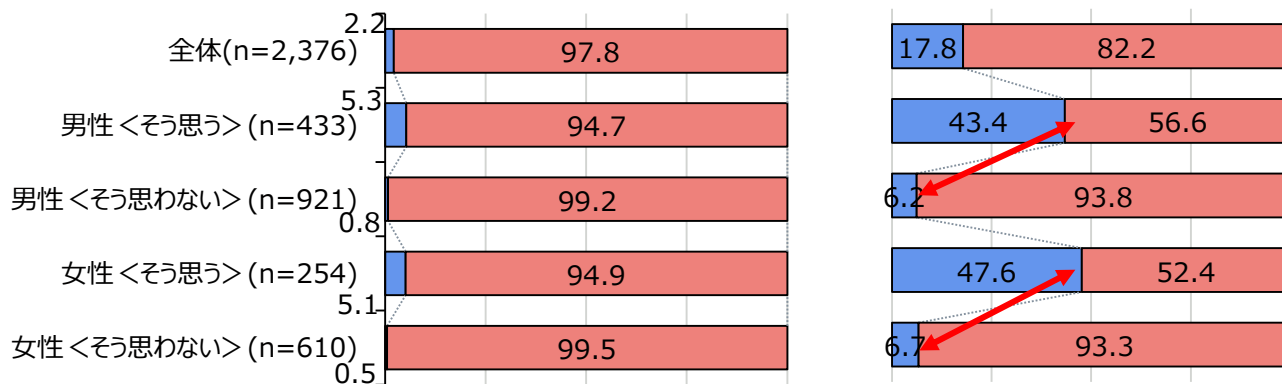
9.理系科目は男性の方が得意だと思う 10.理系科目は女性の方が得意だと思う

0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100%



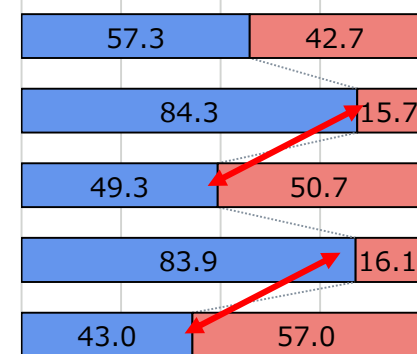
11.文系科目は男性の方が得意だと思う 12.文系科目は女性の方が得意だと思う

0% 25% 50% 75% 100% 0% 25% 50% 75% 100%



13.性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

0% 25% 50% 75% 100%



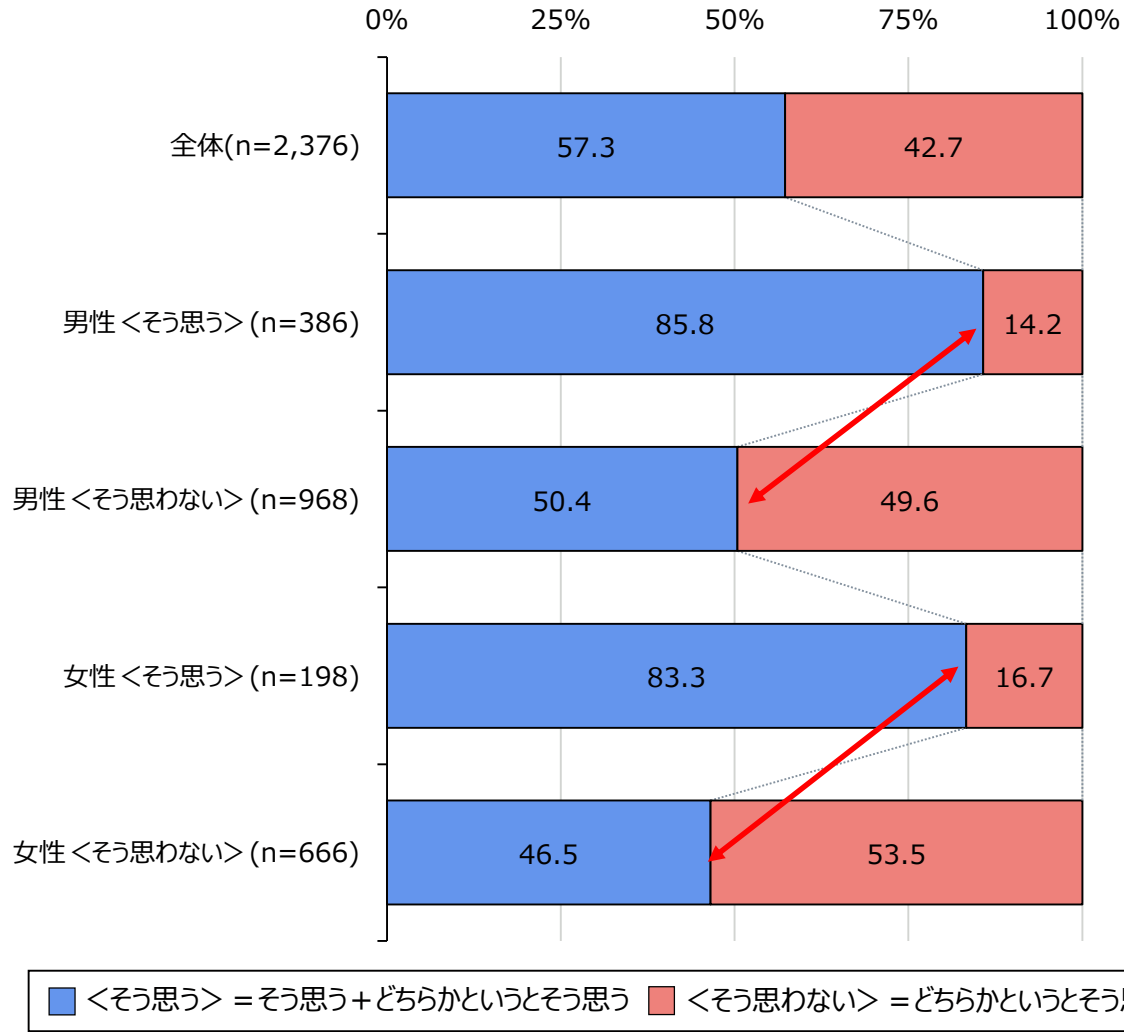
■ <そう思う> = そう思う + どちらかというと思う
■ <そう思わない> = どちらかというと思わない + そう思わない

●男女ともに、「性別で教科の得意/不得意がある」と思う人の方が、「理系科目は男性/文系科目は女性の方が得意」「性別で向いている仕事と向いていない仕事がある」と思う傾向にある。

(「性別により仕事の役割を分けた方がいい」という意識の影響)

13.性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

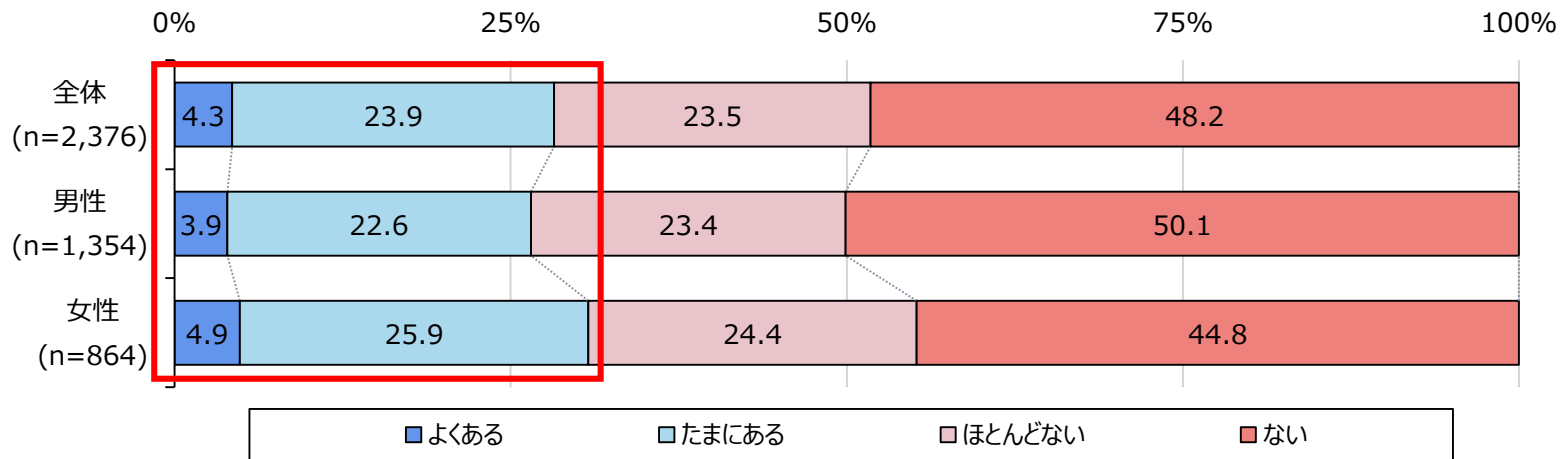
6.性別により仕事の役割を分けたほうがいいと思う



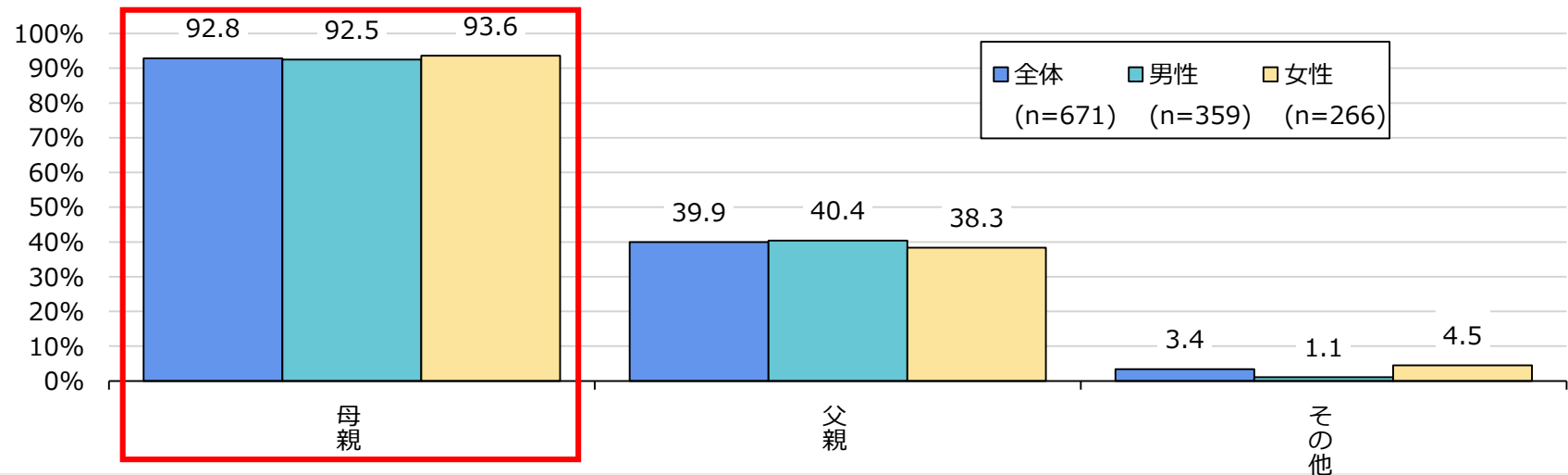
●自身の校務で「性別により仕事の役割を分けた方がいい」と思う人の方が、「性別で仕事の向き不向きがある」と思う傾向にある。

(6) 保護者に関することについて

14. (直近1年間で)「性別」で生徒の進路を考えている発言が保護者よりあった



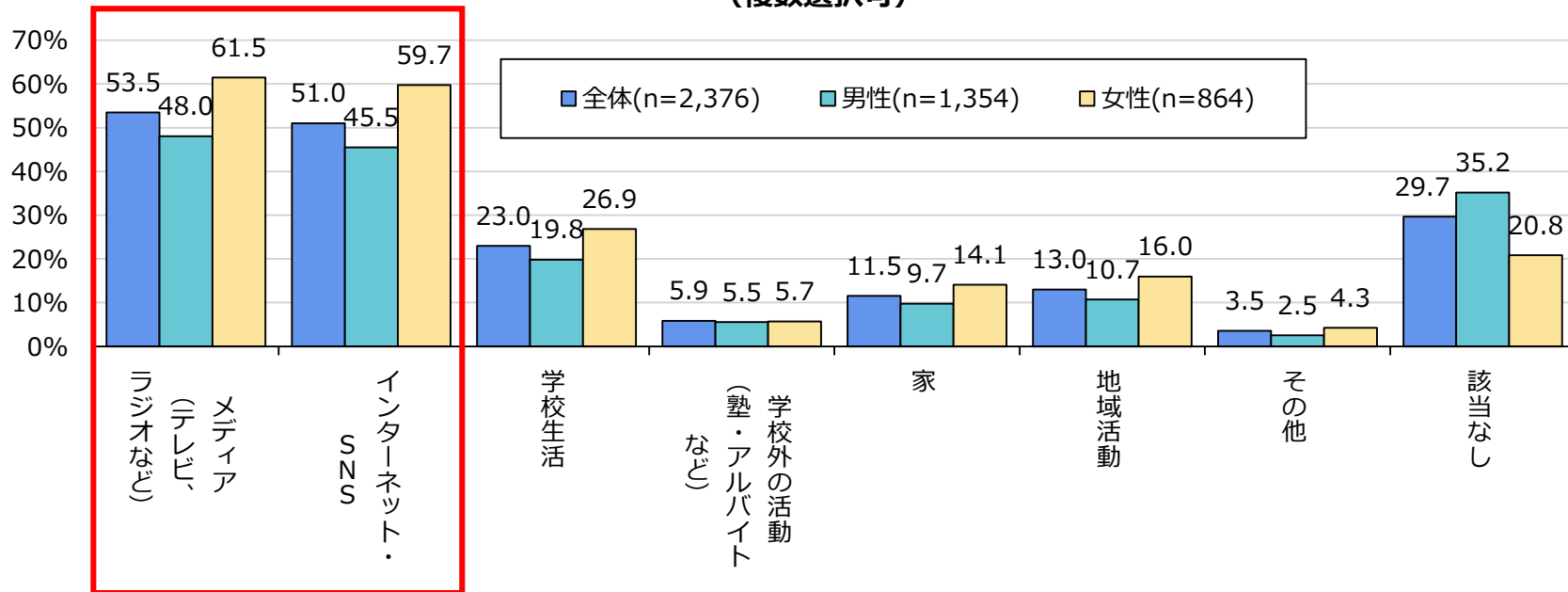
15. (前問で「よくある」「たまにある」と回答した方) 上記発言をした保護者はどなたでしたか (複数選択可)



- 4人に1人の教員が「「性別」で生徒の進路を考えている発言が保護者よりあった」と回答した。
- その発言の約9割が母親からであり、父親の約4割を大幅に上回った。

(7) 周囲からの影響による「男性/女性だから」という意識の形成について

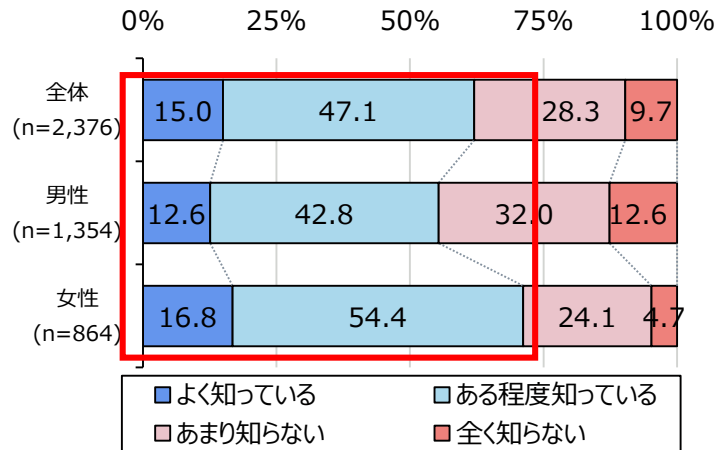
16. (直近1年間で) 次の中から「男性らしい」「女性らしい」という情報発信を感じたことがあるものを選んでください
(複数選択可)



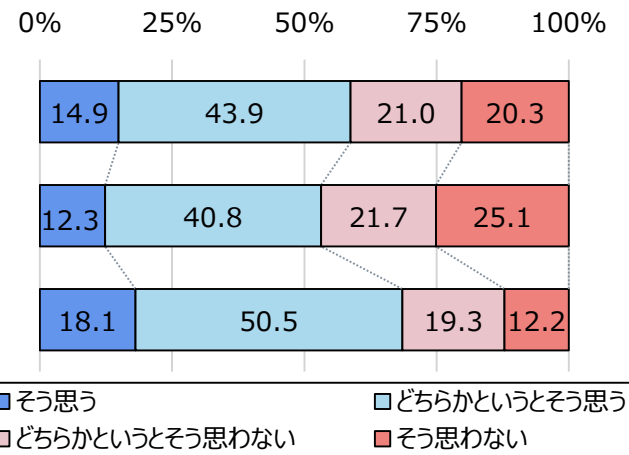
- 男女ともにメディア、インターネット等で「男性/女性らしい」という情報発信があると回答した。
- 特に、女性の方が強く感じとっている傾向にある。

(8) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について

17. 無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について知っていますか

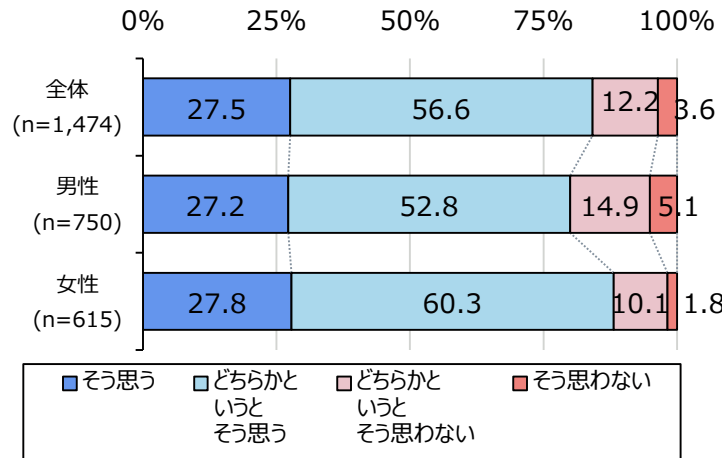


21. (自己啓発として) 無意識の思い込みについて、研修などがあれば受講したいと思う

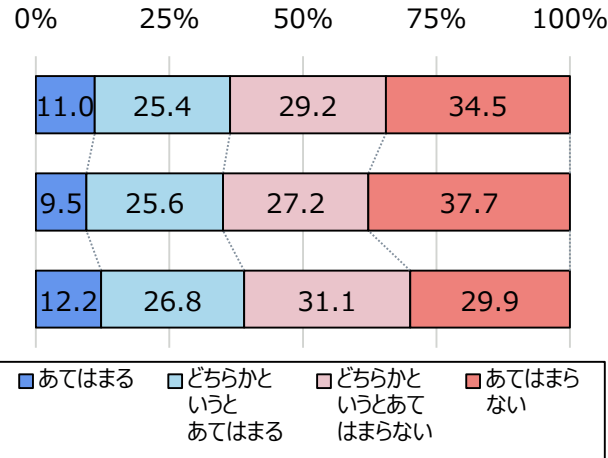


17.で「よく知っている」「ある程度知っている」と回答した方のみ

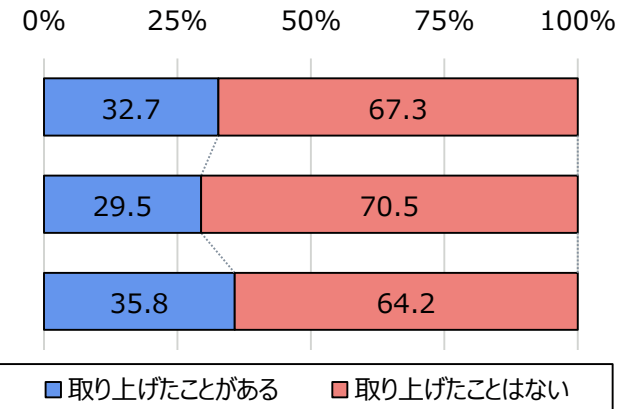
18. 学校での指導等において無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を意識している



19. 教員間で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について話をしたことがある



20. 生徒への指導で無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を取り上げたことがある



●半数以上の教員が無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を知っていると回答した。

(8) 無意識の思い込みの認知等と性別に関する意識の関係について

無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の認知度と、自身の性別に対する意識や言動との関係を分析

質問17.「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について知っていますか」の回答結果が、以下の各設問項目の回答に影響があるかを分析

17.無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について知っていますか と他の設問との相関関係

調査項目
1. 男性の方が管理職に向いていると思う
2. キャリア選択の際に、「男性だから」「女性だから」と、性別で選ぶとすることがある
3. プライベートより仕事を優先したほうが良いと思う
4. 「男性だから」「女性だから」と思うことがある
5. 性別を理由に、思ったことを言えなかったことがある
6. 性別により仕事の役割を分けたほうが良いと思う
8. 性別で教科の得意、不得意があると思う
9. 理系科目は男性の方が得意だと思う
10. 理系科目は女性の方が得意だと思う
11. 文系科目は男性の方が得意だと思う
12. 文系科目は女性の方が得意だと思う
13. 性別で向いている仕事と向いていない仕事があると思う

●無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）について知っていることと意識や言動とは明確な相関関係は見られなかった。

(9) 分析結果まとめ

【分析にあたっての仮説】

調査結果の分析にあたっては、生徒調査結果の仮説④に加え、教員の「性別による無意識の思い込み」が生徒の進路等に対する考え方に影響を与えていることを仮説として設定し分析を行った。

仮説及び分析結果

仮説④ 「性別による思い込み」は、周囲の大人からの影響に限らず、マスメディアなどからの情報、友人、同僚などの言動による影響が見られる。

男女とも多様な媒体から「男性らしい」「女性らしい」という情報発信を感じており、**特にメディアやインターネット、SNSの割合は高校生よりも高く、高校生に比べ教員の方がメディアやインターネット・SNSから影響を受けている可能性がある**ことがわかった〈P54〉

仮説⑤ 教員自身の「性別による思い込み」は、生徒の進路や将来の仕事に関する「性別による思い込み」に影響する。

自身が「男性/女性だから」と思う人ほど、教科の得意不得意・仕事の向き不向きに性別が関係していると思っていることがわかった。**教員自身の思い込みが、生徒の進路や将来の仕事に関する意識に影響している可能性がある**ことがわかった。〈P50〉